平成２８年度

年 次 報 告 書

公益財団法人　ヤマト福祉財団

目　　次

1．平成 28 年度事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
平成 28 年度中に実施した助成事業
Ⅰ．障がい者に対する奨学金の支給
Ⅱ．ジャンプアップ助成金
Ⅲ．ステップアップ助成金
Ⅳ．障がい者福祉助成金
平成 28 年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム実施報告
平成 28 年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告
楠元塾、５万円必達塾、亀井塾、熊田塾、新堂塾活動報告
ステップアップセミナー、フォローアップ研修
全 A ネットへの緊急助成について
自然栽培パーティー第 1 回全国フォーラム
経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」報告
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』進捗状況
『障がい者のクロネコ DM 便配達事業』参入施設一覧
2016 年度「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表
震災支援事業の取り組み
熊本地震緊急助成
東日本大震災・産業基盤復興再生募金最終報告
2．平成 28 年度収支決算報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
賃借対照表
正味財産増減計算書
正味財産増減計算書内訳表
財務諸表に対する注記
財産目録
附属明細書
平成 28 年度事業報告　附属明細書
収支決算書
勘定明細表
監査報告書
3．財団主催の諸会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
4．平成 28 年度寄付金寄贈者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
賛助会員数一覧
5．役員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
6．平成 29 年度事業計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
同　　収支予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

１．平成 28 年度事業報告書

平成28年度事業報告書　（自・平成28年４月1日 ～ 至・平成29年３月31日）

■ **庶務事項**

（1）財団設立年月日　平成5年9月10日

（2）基本財産（平成29年3月31日現在）
投資有価証券
ヤマトホールディングス株式会社（株式）
3,575,900株　8,340,786,750円

（3）役員等（平成29年3月31日現在）

①理事長	1名
②理事	7名
③監事	2名
④評議員	8名
⑤福祉助成金選考委員	5名
⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員	5名

（4）賛助会員（平成29年3月31日現在）
個人会員　71,528人

（5）事務局

①常務理事	1名
②事務局長	1名
③職員	2名

■ **はじめに**

4月14日に発生した熊本地震では、益城町・西原村を中心に障がい者施設にも被害が出ました。ヤマト福祉財団では、ヤマトホールディングス(株)の宅急便40周年記念配当を震災支援助成金として障がい者施設の復旧や被災障がい者の支援活動への助成を行いました。

「経済的自立力を備えた新しい福祉」を掲げた「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」は、講座や事例報告、シンポジウムを交えて開催し、盛岡、福岡、東京、大阪の４ヵ所で開催しました。また、今期で4年目に入った「夢へのかけ橋」実践塾は、弁当・配食サービス塾が修了し、封入・封緘サービス塾が新たに3期生を迎えたため、４塾28名が障がい者の経済的自立力向上のため実践を行っています。

昨年度から栽培指導者を派遣して取り組んだ無農薬・無肥料の自然栽培の検証プロジェクトは、「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」を発足させ、活動を水平展開しています。3月末現在、53カ所の福祉施設が加入しています。

福祉助成金は、給料増額支援助成金と、会議・研修・出版などの福祉助成金の2種類を設定して助成を完了しました。

また、ヤマト運輸（株）の協力を得て実施している「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、全国313事業所で1,647名が従事し、社会福祉法人ヤマト自立センターは、平成29年3月までに事業開始から累計144名の一般就労実績となっています。

（公１）助成事業

①奨学金　　平成28年3月1日から4月22日まで応募書類請求期間、同年5月6日から5月25日を申請期間とし55名の応募がありました。選考委員会で11名を追加選考して、40名の奨学生に奨学金を提供しています。本年の大きな成果としては、両下肢機能障がいがありながら医師を目指していた奨学生が見事国家試験に合格し、平成29年4月より医師となることです。同じ障がいのある人にとっては受診時の苦労を忘れさせる朗報となりました。

（所属校別の一覧は、P.6を参照）

②助成金　　今年度も、昨年に引き続き助成金事業を障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額助成金」と一般的な福祉助成金の２つに分け、「障がい者給料増額助成金」の中に、ジャンプアップ助成金（上限500万円）・ステップアップ助成金（上限100万円）の2種の助成金を設定しました。

平成27年10月1日から11月30日までを公募期間として、231件の応募があり、平成28年3月28日に選考委員会を実施、同年3月から6月にかけて各支部毎にヤマト運輸（株）の協力を得ながら贈呈式を行いました。

助　成　部　門	応募	決定	決定金額
①ジャンプアップ助成金（上限500万円）	36件	7件	35,000千円
②ステップアップ助成金（上限100万円）	89件	14件	24,190千円
小　　計		21件	59,190千円
③福祉助成金（会議・出版・文化・スポーツ）	108件	7件	5,130千円
合　　計	231件	28件	64,320千円

（公２）研修・育成事業

①セミナー事業「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」

対象者を施設職員から障がい者の働く場に関心のある方とし、日帰り形式の研修を実施した。全国４ヵ所で708名が参加し、これまでのセミナー受講者と合わせ累計9,597名となりました。

開催地	会場	開催日	参加人数
前年までの累計			8,889
盛岡	いわて県民情報交流センター	7月 1日	157
福岡	エルガーラホール	7月15日	142
大阪	大阪国際会議場	7月22日	195
東京	全社協・灘尾ホール	7月29日	214
合　　計			708
本年累計			9,597

②雇用・促進事業

「障がい者によるクロネコDM便配達事業」は、全国313事業所で1,647人の障がい者が配達を行っています。また、社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田クロノゲートの就労移行支援事業では、今期11名累計144名が一般就労しました。平成23年に立ち上げた就業・生活支援事業では今期は53名の登録者に対して就労支援・就労先での定着支援・金銭管理や一人暮らしなどの生活支援を行い、実習52名、就業者34名の実績をあげました。また、就労につながった方々との結びつきを図るため第9回スワン工舎卒業者の集いを開催しました。

③育成プロジェクト

小倉昌男賞受賞者によるプロジェクトとして平成22年より始まった「受賞者リーダープロジェクト」は、「夢へのかけ橋実践塾」として武田 元氏（第3回受賞者）亀井 勝氏（第7回受賞者）新堂 薫氏（第9回受賞者）楠元洋子氏（第13回受賞者）熊田芳江氏（第14回受賞者）を塾長として3月末現在、28名が参加して半年に一度の間隔で実践塾を開催し、ＰＤＣＡサイクルを回しています。また、塾生が申請して活用する事業改革モデル化資金については、塾長による書類審査を経て決裁し、事業改革モデルづくりを行っています。また、佐伯康人氏（第15回受賞者）を指導者に迎えた水稲自然栽培検証プロジェクトは、昨年の成果を踏まえ、佐伯氏とプロジェクトの参加施設が中心となり一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会を設立しました。5月20日には愛知県豊田市で初の自然栽培パーティ全国フォーラムを開催し、会員施設を募りました。3月12日現在53施設が会員登録して自然栽培を水稲から野菜・果物など幅広く対象を広げ、障がい者の働く場の拡大に邁進しています。

（公3）表彰事業　障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、本年もヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。7月1日から9月15日まで公募を行い、10月18日の選考委員会で、大阪府大阪市の奥脇　学氏と岡山県岡山市の竹内昌彦氏に受賞が決定しました。また、贈呈式は12月9日に一般社団法人日本工業倶楽部にて、各界の方々やヤマトグループ役員、ヤマトグループ企業労働組合連合会役員をお迎えし開催いたしました。

（公4）広報・啓発等事業

①広報事業　財団ニュースを第50号から第53号まで年４回発行し「コラボメール便」としてヤマトグループ健康保険組合と共同で社員自宅まで配布しました。また、一般購読希望者809名と福祉施設作業所4,459ヵ所に無料配布を行いました。助成先や奨学生のレポートに加えて、パワーアップフォーラム、ヤマト福祉財団小倉昌男賞など財団主催の行事、実践塾やクロネコＤＭ便配達の報告を行っています。

②事業モデル別実践事例サイトの運用

小倉昌男賞や助成金の事例、実践塾の成果を資料化して福祉施設の経営者が施設の利用者増や工賃向上に役立つビジネスモデルを参照できる「経済的自立力達成事業所紹介サイト　夢へのかけ橋」をインターネット上に公開しています。このサイトでは、障害基礎年金と合わせて、年収112万円の貧困線を超えることのできる工賃３万円を超えた事業所を経済的自立力達成事業所として紹介しています。

③啓発事業　障がい者本人によるクロネコDM便特別報告会を山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町の２ヵ所にて地元でお世話になっている方々を招待し、ミニ報告会を開催しました。

（公5）復興・再生支援事業

「東日本大震災生活・産業基盤復興再生募金」が助成した「福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業」が最後の植樹式を11月11日に開催しました。これをもって、平成24年に「東日本大震災　復興支援選考委員会」で選考された31事業は、全て完了しました。

また、ヤマトホールディングス（株）の宅急便40周年記念配当金を原資として、4月14日に発生した熊本地震で被災した、障がい者施設の復旧や障がい者の支援活動への助成を行いました。

■賛助会員の状況　当財団の母体であるヤマトホールディングス（株）とそのグループ会社で組織する賛助会員数は71,528人となっています。

平成28年度中に実施した助成事業

Ⅰ．障がい者に対する奨学金の支給

■ 障がい者大学生 40名

	大学名	学年	氏名
1	奈良県立医科大学	6年生	塩谷早紀子
2	富山大学	5年生	高井　凜
3	愛知県立大学	4年生	平尾　梢
4	東京国際大学	4年生	南舘　和希
5	筑波技術大学	4年生	杉　夏彦
6	広島大学	4年生	谷岡　憲太
7	鳥取大学	4年生	西海　朱理
8	和光大学	4年生	松本　葵
9	鹿児島大学	4年生	吉田　麻乃
10	長野大学	4年生	細野　真依
11	熊本学園大学	4年生	中野　睦子
12	大坂府立大学	4年生	木戸　奏江
13	桜美林大学	4年生	油木　愛美
14	恵泉女学園大学	3年生	荻野　彩音
15	弘前大学	3年生	成田　佳樹
16	龍谷大学	3年生	名取　絵里
17	立命館アジア太平洋大学	3年生	川口　真実
18	久留米大学	3年生	藤崎　大暉
19	国際基督教大学	3年生	糸野　海生
20	日本社会事業大学	3年生	櫻井　未来
21	ルーテル学院大学	3年生	中村ひとみ
22	花園大学	3年生	宇津木三徳
23	関西福祉大学	3年生	藤原　一成
24	大阪教育大学	3年生	山森　一希
25	専修大学	3年生	吉田　伸吾
26	大東文化大学	3年生	阿部有里香
27	長崎大学	3年生	鬼丸　禎史
28	慶応義塾大学	2年生	後藤　佑季
29	筑波技術大学	2年生	東丸　円香
30	日本社会事業大学	2年生	阿部　里南
31	筑波技術大学	2年生	青山　舜
32	東洋大学	2年生	山﨑　雄世
33	城西国際大学	2年生	藤田　裕大
34	東京大学	2年生	植田　健人
35	立教大学	2年生	網本万里奈
36	慶応義塾大学	1年生	池田ブライアン雅貴
37	京都大学	1年生	油田　優衣
38	九州大学	1年生	坂井　法仁
39	聖隷クリストファー大学	1年生	長谷　果林
40	大東文化大学	1年生	八尾　陽夏

Ⅱ.　ジャンプアップ助成金

	助成先	助成対象事業の内容および助成額
1	**青森県八戸市** 障害福祉サービス事業所 田面木（たものき）の家 ◇ 就労継続B型 	●パン工房の増築工事およびパン製造デッキオーブン、作業台の購入資金 ●助成金　5,000,000円 「田面木の家」の事業の柱は、パン・クッキーの製造です。パンの製造工程には細かい作業や繰り返しの必要な作業などがあり、利用者さんの能力に合わせやすい業務です。2014年度は月額平均2万4000円の給料を達成。スーパーからの納品依頼も増えているため本助成で工房増築工事とデッキオーブン購入を実施。作業台も3つ追加で製作しました。
2	**茨城県つくば市** ごきげんファーム ◇ 就労継続A・B型 	●ビニールハウス（水設備含む）、ハウス用トラクター、1．5tトラック購入資金 ●助成金　5,000,000円 2011年から農福連携に取り組んでいる「ごきげんファーム」。特徴は、少量多品種の有機栽培です。耕作放棄地5haを利用し、100品種以上を生産、ネット販売を中心にさばいています。課題は季節による作業量の変動。作業量が大きく下がる10-11月期を解決するため、ビニールハウスを導入し、トラクター、トラックによる作業効率化を推進しました。
3	**山梨県甲府市** 就労支援事業所かしのみラボ ◇ 就労継続B型 	●運搬車両、果実乾燥機、プレハブ冷蔵庫等導入設置費用 ●助成金　5,000,000円 2012年のパワーアップフォーラムで『脱下請』を痛感し、すぐに地元素材を生かしたドライフルーツの開発に着手した「かしのみラボ」。2014年度には当財団の助成で大型食品乾燥機を導入。2016年には自社工場が完成。本助成では大型運搬車両を購入。また果実乾燥機やプレハブ冷蔵庫も導入し、ドライフルーツ事業の効率化と生産量増大を実現しました。

	助成先	助成対象事業の内容および助成額

4

東京都渋谷区

福祉作業所 おかし屋 ぱれっと

◇ 就労継続B型

●店舗外装、内装工事費、その他棚テーブル等の造作費
●助成金　5,000,000円

渋谷区恵比寿で31年間一貫して障がい者の社会参加と自立を目的に活動してきた「おかし屋ぱれっと」。運営母体の「認定NPO法人ぱれっと」の自前ビル建設にともない「おかし屋ぱれっと」もそのビルに店舗を構えました。プロデザイナーによるデザインでイートインスペースも備え、地域住民の方がくつろげる落ち着いた空間づくりができました。

5

富山県富山市

就労支援事業所 ハーベスト

◇ 就労継続A型

●海藻アルギットにらの製品化に係るシステム機器購入整備資金
●助成金　5,000,000円

富山県がブランド野菜として売り出し中の「海藻アルギットにら」。県推奨品目に指定され通常より高い卸値で取引されます。「ハーベスト」はこのブランド野菜に着目し、障がい者参加の“集約型農業”確立を目指します。にら洗浄そぐり機や計量器、結束ライン、包装機などの機器を整備し、従来の手作業と比較して作業効率を格段に向上させました。

6

愛知県 名古屋市南区

ワークセンター フレンズ星崎

◇ 就労継続B型

●自動重量検査装置の整備資金
●助成金　5,000,000円

かつては菓子箱折りなどの内職を中心としていた「ワークセンターフレンズ星崎」。2010年財団主催の塾に参加してからそれらをすべて断り、ダイレクトメール代行発送業のみに業務を転換。本助成により自動重量検査装置を導入。「計量」「封かん」の工程に必要だった5人の利用者が1人で可能に。1日で1万5000冊のDMも処理できるようになりました。

7

愛知県愛西市

MotherKitchen

◇ 就労継続A型

●大量調理器の購入資金
●助成金　5,000,000円

食を通じて、障がい者の経済的自立を目指す「MotherKitchen」は、愛知県西部と三重県内を含む隣接市町を配達エリアとする配食事業を展開。将来的には1200食の弁当配食を目指して愛西市と名古屋市の中間地点に新規施設を開設。本助成で大量調理器を導入して生産性の向上を図りました。新稼働から毎日50食増え、3拠点合計で650食の弁当製造を行っています。

Ⅲ.　ステップアップ助成金

助成先

01 北海道岩見沢市

と・わーくベーカリー

助成対象事業の内容および助成額

●製造設備購入資金
●助成金
2,000,000円

02 福島県西白河郡

こころん

●冷凍冷蔵ショーケースと陳列棚等の設置資金
●助成金
2,000,000円

助成先

03 埼玉県三郷市

コンパス

助成対象事業の内容および助成額

●パン製造用ミキサー 購入資金
●助成金
960,000円

04 千葉県君津市

コッペ

●スチームコンベクションオーブン、フリーザー購入資金
●助成金
1,800,000円

助成先

05 東京都板橋区

ＪＨＣ秋桜

助成対象事業の内容および助成額

●業務用食器洗浄機および周辺什器の購入と取り付けに伴う工事資金
●助成金
2,000,000円

06 東京都中野区

コロニー中野

●ガスオーブン・コネ器の設置による、売上（生産量アップ）をｕｐするための購入資金
●助成金
2,000,000円

助成先

07 新潟県阿賀野市

あおぞらソラシード

助成対象事業の内容および助成額

●作業場改修、圧縮機一式、攪拌機購入資金
●助成金
2,000,000円

08 新潟県新潟市中央区

スワンカフェ＆ベーカリー新潟店

●配達・訪問販売用車両購入資金
●助成金
1,000,000円

助成先

09 滋賀県東近江市

八身共同印刷

助成対象事業の内容および助成額

●水耕栽培用栽培棚（ベッド）の設置資金
●助成金
2,000,000円

10 京都府綾部市

いこいの村・たからの里

●改修による厨房の増設資金
●助成金
2,000,000円

助成先

11 和歌山県紀の川市

ソーシャルファームもぎたて

助成対象事業の内容および助成額

●農業機器の購入資金
●助成金
2,000,000円

12 大分県日田市

障がい福祉サービス事業
ぴぃたぁパン

●コートミキサー購入資金
●助成金
1,100,000円

助成先

13 宮崎県日南市

ひなこみち

助成対象事業の内容および助成額

●冷蔵・冷凍ショーケース、および水冷式フラワーケース購入資金
●助成金
2,000,000円

Ⅳ.　障がい者福祉助成金

助成先

01 北海道札幌市中央区

NPO法人
北海道若年認知症の人と家族の会

助成対象事業の内容および助成額

●若年認知症の人の日々の暮らしを支えるために－家族ができる日常生活のケアの手引き（仮称）作成－
●助成金
560,000円

02 東京都豊島区

としま若者応援ネットワーク

●発達障害者向け講演会「豊島区」
●助成金
70,000円

助成先

03 東京都豊島区

ふくやまっこ家族の会

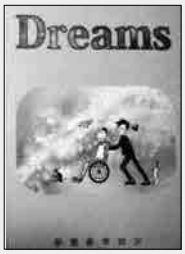
助成対象事業の内容および助成額

●キャスパーアプローチ宿泊研修会
●助成金
1,000,000円

04 東京都新宿区

学習会サロン制作委員会

●重度重複障害者自作文集学習会サロンブック「Ｄｒｅａｍｓ」制作事業
●助成金
620,000円



助成先

05 東京都新宿区

社会福祉法人日本盲人会連合

助成対象事業の内容および助成額

●視覚障害者の自立と社会参加を支援するためのリーフレットの作成
●助成金
880,000円

06 沖縄県宮古島市

宮古島地域精神医療保健福祉研究会

●「離島の『働く』を考えるセミナーｉｎ宮古島」報告書
●助成金
1,000,000円

平成28年度 障がい者の働く場
パワーアップフォーラム実施報告

1. 実施体制

より幅広い参加者を迎え、各地の実践報告を行う場としてのパワーアップフォーラム。「経済的自立力を備えた新しい福祉を目指して」をテーマに、2016年度は全国4ヵ所で開催しました。

新しい試みとして、各会場ごとのテーマを設定。岩手県初開催の盛岡会場では、『6次産業化や農福連携』、福岡会場は『地域密着型の仕事づくり』、大阪会場は『重い障がいのある人の働く場づくり』、東京会場では『A型事業所の未来』について取り上げました。

また、各会場で働く障がい者も登壇し、「今、思っていること」を発表していただきました。

2. プログラム内容

会場	盛岡会場 アイーナ （いわて県民情報交流センター）	福岡会場 エルガーラホール	大阪会場 大阪国際会議場	東京会場 全社協　灘尾ホール
開催日	7月1日	7月15日	7月22日	7月29日
サブテーマ	地域と連動した 6次産業化の 取り組み	地域密着型の 仕事づくり	重い障がいの ある人の 働く場づくり	就労継続支援 A型事業所の未来
講演1	クロネコヤマトの「満足創造経営」 （公財）ヤマト福祉財団 理事長　瀬戸 薫			
講演2	時流講座　障がいのある人のディーセントワーク 日本障害フォーラム幹事会議長 ／ きょうされん 専務理事　藤井 克徳			
講演3	地域の企業との協働から （社福）はらから福祉会 理事長　武田 元	キャンパスの会の 最終目標 （社福）キャンパスの会 理事長　楠元 洋子	知的障がい者の 働く場づくり （社福）武蔵野千川福祉会 常務理事　新堂 薫	就労継続支援A型 事業所の目指すもの （一社）ディーセントワールド 代表理事　天野 貴彦
講演4	果樹園再生とスーパーマーケット 経営で地域とつながる （NPO）ピアファーム 理事長　林 博文	ひびき福祉会の 仕事づくり （社福）ひびき福祉会 理事長　亀井 勝	精神障がい者の 仕事と暮らし （社福）はる 常務理事　西谷 久美子	就労困難な立場の 人たちとともに働く （有）ドアーズ 代表取締役　柴田 智宏
講演5	地元企業との商品開発 （社福）こころん 常務理事　熊田 芳江	大牟田地区の 障がい者福祉 （社福）キリスト者奉仕会 大牟田恵愛園 施設長　叶 義文	選べる仕事場：京都府 与謝野町での取り組み （社福）よさのうみ福祉会 理事長　青木 一博	（社福）進和学園 （しんわルネッサンス） の就労支援の取り組み （社福）進和学園 統括施設長　久保寺 一男
ビデオ上映	「地域で働き、暮らすこと」 毎年恒例の実践レポートビデオ　働きがいのある仕事と暮らしをレポートします。			
当事者の声	何のために働く場に通っているのか、その思いを共有するために 各会場2人の当事者に登壇をお願いしています。			
シンポジウム	「経済的自立力を備えた経営」 障がいのある人に寄り添った働く場とは、どのような環境や仕事が求められているのでしょうか。 本人や地域の期待など各会場の講演者が会場のみなさんとともに考えます。			

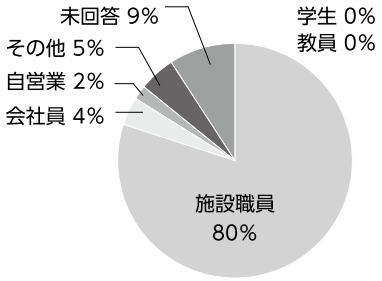
3. 実施日・場所・人数

開催日	開催地	会　場	参加人数
7月　1日	盛岡	いわて県民情報交流センター	157名
7月15日	福岡	エルガーラホール	142名
7月22日	大阪	大阪国際会議場	195名
7月29日	東京	全社協　灘尾ホール	214名
合　計			708名

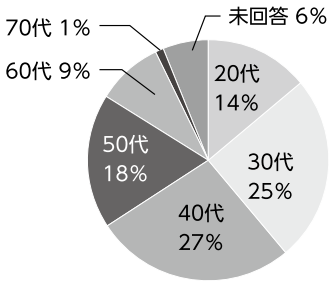
4. 平成28年度　障がい者の働く場パワーアップフォーラム　参加者の傾向

※アンケート回答者 423名

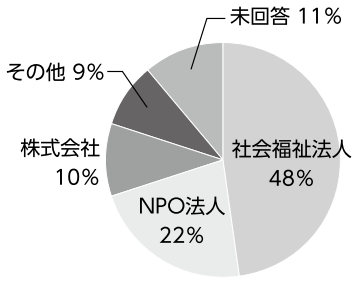
職業



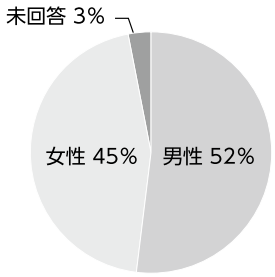
年齢



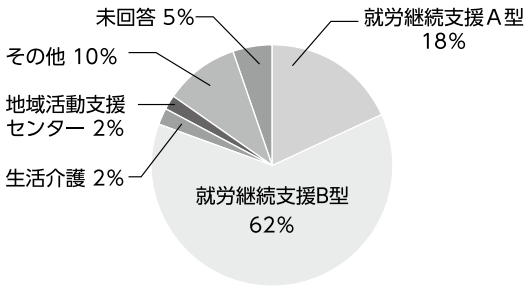
所属



性別

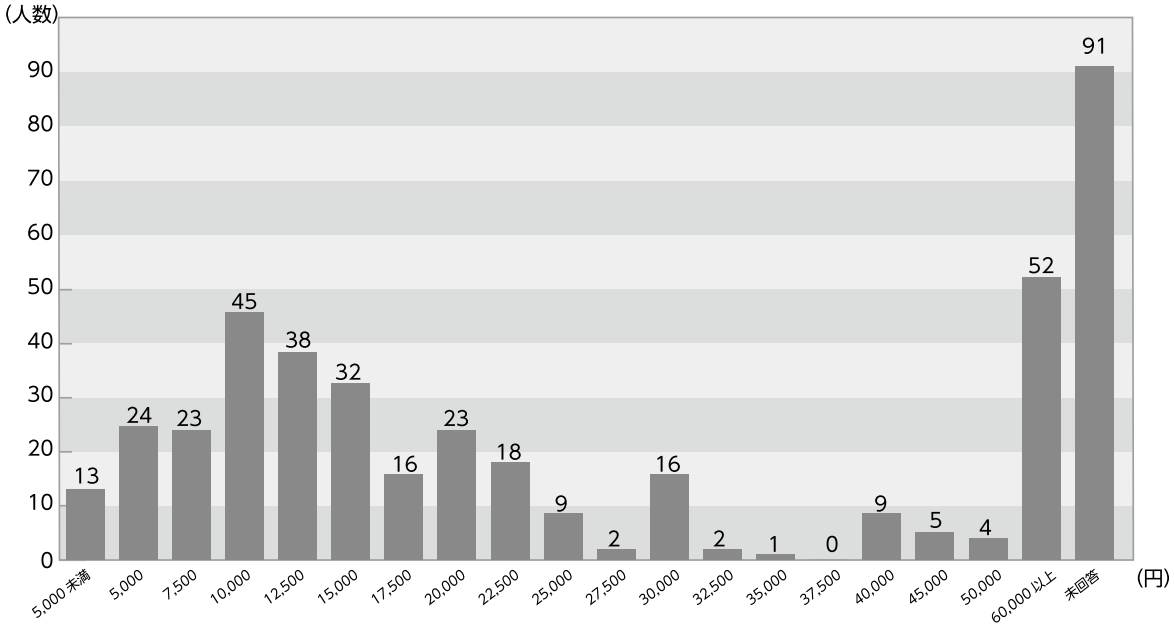


事業区分



参加施設の平均給料の分布

計 423名　※未回答：91名



平成28年度「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

1. 夢へのかけ橋 実践塾とは

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設を塾生とし、給料増額の目的を達成するための研修会です。塾生は「1年後3万円、2年後5万円」の給料増額を目指し、事業改革に取り組んでいます。

「楠元塾」は、平成26年のパワーアップフォーラムで募集した9塾生が、平成26年9月から平成28年9月までの2年間の活動を修了しました。平成27年のパワーアップフォーラムで募集した「亀井塾（第2期）」の3塾生、「熊田塾」の9塾生、武田塾長による「5万円必達塾」の5塾生は、平成27年9月～平成29年9月の2年間を活動します。また、「新堂塾（第3期）」は、平成28年6月に開催したステップアップセミナーなどで募集した11塾生が、平成28年9月～平成30年9月の2年間を活動します。

塾生には、クラウドサービスによる「収支管理システム」を提供しています。塾生はこのシステムを活用することで、毎日・月ごとの売上を把握。新たな目標の設定や改善策の検討・実行などに役立てています。また、塾生が起こす事業をモデル化して水平展開するための資金（「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金※）を用意。この資金は、塾生が立てた事業プランから、効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、また事業改革を進めるために必要な道具や働く環境を整え、実行結果を塾で検証しています。

※平成28年度は、（NPO）Creerに移動販売用の冷蔵・冷凍軽自動車配送車購入資金150万円を、（NPO）さくらんぼのお家に調理場改修工事・新厨房機器導入資金など300万円を助成しました。

2. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学・勉強会、塾長による塾生施設の視察などを開催し、塾生一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できるように取り組みました。また複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、給料増額の目標達成につながる効果を狙いました。

- **販路拡大や商品開発など営業に関する新規事業や改善について事業プランを作成。**
- **２年間を通じて合同研修をはじめ、各塾ごとに研修会や勉強会を開催し、自分の目標の進捗や他参加者の進捗などを確認。**
- **先行している施設より現場の課題などを説明。**
- **グループディスカッション・合同パネルディスカッションなども取り入れる。**
- **２年間、PDCAサイクル手法を実行して成果を出す。**

3.　夢へのかけ橋 実践塾　全体のスケジュール

楠元塾（第１期）	亀井塾（第２期）	熊田塾（第１期）	新堂塾（第３期）	５万円必達塾（第１期）
	● 原価計算勉強会（平成28年4月5日） ● 塾長視察／青い鳥（平成28年4月11日）	● 塾生施設見学・勉強会／菜の花・赤城の家（平成28年4月28日） ● 第３回熊田塾／自然栽培フォーラム（平成28年5月19～21日）	● ステップアップセミナー／京都（平成28年6月11日）	● 第２回研修会／伊那食品工業・かしのみラボ・かしのみNeo（平成28年4月15・16日）
● 塾生施設見学・勉強会／ピーターパン（平成28年7月4・5日）	● 第３回亀井塾／あけぼの作業所・晴れ晴れ（平成28年6月15・16日） ● 塾長視察／かしのみNeo（平成28年7月7・8日）			
合同研修会（平成28年９月２・３日） ●楠元塾修了式／最終発表・まとめ	●第４回亀井塾／中間報告	●第４回熊田塾／中間報告	●第１回新堂塾／新堂塾開講式	
		● 塾生施設見学・勉強会／愛光園（平成28年9月9・10日）	● 第２回新堂塾／チャレンジャー・ワークイン関前・武蔵境ワーキングセンター（平成28年10月7・8日）	● 第３回研修会／ゆずりは（平成28年10月21・22日）
		● 第５回熊田塾／早月農園（平成28年12月22・23日）		
	● 第５回亀井塾／第2回お菓子分科会（平成29年2月25日）		● 第３回新堂塾／はばたきの丘（平成29年3月3・4日）	● 第４回研修会／うぃる工房（平成29年3月24・25日）

※ 新堂塾修了者に向けて：フォローアップ研修運営委員会（平成28年11月11日）
第２回フォローアップ研修会（平成29年２月３・４日）

楠元塾
（第１期）

平成26年9月「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指す楠元塾を開講しました。塾長となった（社福）キャンバスの会楠元理事長は、“自分たちのつくりたいものではなく、お客様が求めるメニューづくり。また、利用者さんのことを考えた働く環境づくりを進めていきましょう”と塾生に呼びかけています。さらに、成功者のノウハウを学び、取り入れることが、実績を上げる近道になると実践的な指導を行っています。

●塾　長：（社福）キャンバスの会　理事長　楠元 洋子 氏

○略歴

2007年に（社福）キャンバスの会を立ち上げ、「障がいの重さに関係なく、一人でも多くの利用者さんに働く場とお給料を」のテーマで弁当・配食サービス事業を開始。現在1日2000食以上を販売。その他にもリネン事業、レストランの運営など、幅広く障がいのある方の働く場を創出している。また、2017年には重症心身障がい者と家族のために医療的ケアもできる福祉施設『はながしま診療所』を開設した。第13回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2012年度）。

塾長の名言

「どんな壁も利用者さんのためなら乗り越えられる」

「利用者さんの出勤時間、仕事の進め方、担当する仕事を変える…新しいことを取り入れるときは、葛藤があると思います。でも利用者さんの能力を引き出し、給料を上げるのが、支援する私たちの仕事。そのスタンスがしっかりしていればきっとやり遂げられます」。

楠元塾塾生：10 施設（平成 28 年９月修了時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【今後の方向性】
（NPO）夢・サポート	就労継続支援Ａ型事業所 夢・さぽーと	就労継続Ａ型・就労移行	弁当製造・配達、味噌・にんにく味噌製造、農家の収穫手伝い	弁当・配食サービス事業の拡大
（NPO）どんぐりパン	どんぐりパン	就労継続Ｂ型・生活介護	弁当製造・配達、オールスクラッチによるパン製造、菓子製造、カフェ事業、公園清掃ほか	弁当・配食サービス事業の拡大
（社福）おおさきさくら福祉会	指定障害福祉サービス事業所すずかけの里	就労継続Ｂ型・就労移行	弁当・餃子・シュウマイ・コロッケ・温泉卵・菓子製造	弁当・配食サービス事業の拡大、焼き鳥串刺し作業内製化
（NPO）ピーターパンネットワーク	共働作業所ピーターパン	就労継続Ｂ型	弁当製造・配達、バイオディーゼル燃料事業、施設外就労ほか	弁当・配食サービス事業の拡大
（NPO）シャロームの会	アトリエぶどうの木・オリーブの樹	生活訓練・就労移行・就労継続Ａ・Ｂ型	喫茶・ランチ・レストラン事業、お惣菜製造	弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ
（NPO）さくらんぼのお家	さくらんぼのお家	就労継続Ａ・Ｂ型	弁当製造・配達、パン・菓子製造	弁当・配食サービス事業の拡大
（NPO）岡山県精神障害者家族会連合会	ふぁみりお	就労継続Ｂ型	弁当製造販売	弁当製造販売の拡大
（社福）扶老会	障害者福祉サービス事業所サムラ	就労継続Ｂ型・就労移行	レストラン事業、パン・弁当製造販売	弁当製造販売事業の拡大と効率化
（NPO）Creer	Creer	就労継続Ｂ型	日替わりランチ・ビュッフェ、日替わり弁当・焼き菓子製造販売	安心安全のおいしい地産の手づくり弁当の製造･販売
（社福）結い	ワークハウス･わくわく！	就労継続B型・就労移行	宅配弁当サービス（１日100食）	病院内に売店をオープン、宅配弁当事業と連携し高齢者を対象とした日用品の配達を計画

楠元塾活動報告

塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成28年７月４・５日
● 場 所：(NPO)ピーターパンネットワーク(福島県大沼郡)

７月４・５日、福島県で９名の利用者さんと弁当・配食サービスを行う塾生（NPO）ピーターパンネットワークの『共働作業所ピーターパン』を訪ね、見学勉強会を開催しました。

初日は、各塾生が現在の売上などの進捗を報告。ピーターパンは、１日100～150食の弁当を製造・販売していますが、目標の３万7500円にはまだ届いていません。また、利用者さんの大半が盛付け作業の担当で、調理、食材カットなどの人数が少なく生産を伸ばせないことが悩みです。楠元塾長は「利用者さんを育てるためにも調理、指導を担当する職員数を見直し、伸び盛りの事業に力を入れることが大切」とアドバイス。また、作業工程や動線をわかりやすく変えて、回転数を上げる工夫を促しました。

翌日は、作業現場を見学したあと試食会・勉強会へ。塾生たちが「ピーターパンのチラシメニューを見て、ぜひ一度、試食してみたかった」と話すふわとろオムレツは高評価を得ました。

現場をチェックした楠元塾長は、清潔で安全な職場づくりの徹底を強調。掃除担当者を決めること、食品庫の整理整頓、食材の衛生的な保管、ユニフォームの統一などを指摘しました。他の塾生からは、箱にお弁当を詰めて配達する際、荷くずれしないようにお弁当を安定させる「枕」を、新聞紙ではなく見た目のよい物に変えてはといった意見も。最後に楠元塾長は「大事なのは利用者さんの力をどう伸ばすか。安全を第一に考えて進んでほしい」と伝えました。

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
7月4日	■ 塾生の進捗状況報告 ■ 懇親会
7月5日	■ 共働作業所ピーターパン作業見学 ■ 試食会・勉強会

合同研修会・修了式

● 日 時：平成28年９月２・３日
● 場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

９月２・３日、楠元塾10人の塾生が晴海グランドホテルで修了式を迎えました。目標の販売数、売上、給料を達成できた者、一歩届かなかった者などさまざまですが、全員が自信を持って２年間の成果を発表しました。

最初に発表したのは、入塾まで弁当・配食サービスが未経験だった塾生です。「新事業を立ち上げるまで約１年かかりましたが、今年８月には１日120食、６名の利用者さんに７万円を超える給料を支給できました」。他にも「１日１桁の弁当しか販売できず言い訳ばかりで“だったら塾をやめなさい”と楠元塾長に叱咤されたこともありました。現在は１日133個、１万円だった月額平均給料も３万9000円にまで増額できています」。「給料が増えるとともに利用者さんのやる気も高まり、８月はお盆休み返上で頑張りました」。「盛り付けはもちろん容器もお弁当の目的に合わせて変え、売上を伸ばしています」と報告。

瀬戸理事長は「なにかに困っているお客様の声は、新しい商品をつくる貴重なアイデアになります。一人ひとりの声を大切に、これからも頑張ってください」とエールを贈りました。

翌日の分科会では、別れを惜しむ間もなく、次の課題を議論することに。「病院から毎回80食の弁当のオファーがきたが、こなせるのか不安」と弱気になった塾生に対し、他の塾生がメリットとデメリットを的確に分析しアドバイスしていました。楠元塾の塾生たちは、２年間で弁当・配食サービスのプロとしての視点・思考を磨き、たのもしく成長しています。

「今後もPDCA報告は毎月行い、メールなどで共有し合いましょう。１年に一度は、こうして集まりたいですね」と塾生自らが提案。楠元塾長は「これかも次の目標を設定し、その達成に向かって進み続けてください。どんな壁にぶつかっても利用者さんのために動くというスタンスさえぶれなければ、必ず乗り越えていけます」と最後まで前向きに塾生を激励し続けていました。

■ 合同研修会・修了式の内容

<table>
<tr><th>日　程</th><th colspan="4">プログラム</th></tr>
<tr><td rowspan="3">９月２日</td><td colspan="4">■ 瀬戸理事長講話</td></tr>
<tr><td colspan="2">■ 楠元塾　塾生最終発表
■ 楠元塾長講評・総括</td><td colspan="2" rowspan="2">■ 新堂塾オリエンテーション
■ 塾生紹介
■ 新堂塾長講話
■ 菅野教授講話</td></tr>
<tr><td colspan="2">■ 亀井・熊田塾生中間報告
■ 亀井・熊田塾長講評質疑応答</td></tr>
<tr><td colspan="4">■ 表彰式</td></tr>
<tr><td rowspan="3">９月３日</td><td colspan="4">■ 菅野教授特別講座</td></tr>
<tr><td>■ 楠元塾まとめ</td><td>■ 亀井塾分科会</td><td>■ 熊田塾分科会</td><td>■ 新堂塾分科会</td></tr>
<tr><td colspan="4">■ 塾長講評
■ 解散</td></tr>
</table>

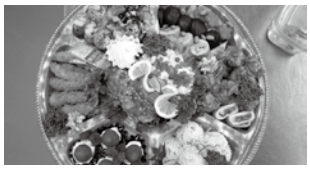
※P28亀井塾、P31熊田塾、P35新堂塾の合同研修会の内容は上記のとおり

■ 楠元塾生たちの2年間の取り組みポイント

● PDCAサイクルでつねに改善・向上

■ 自分がつくりたいものではなく お客様の求めるメニューを

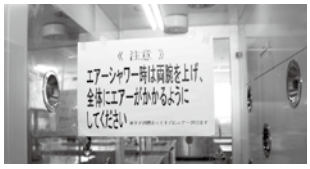
■ 弁当は見た目が大事、彩りや季節感を工夫



■ 弁当は毎日写真に撮り 今後のメニューづくりに活かす

■ 棚卸しを行い 無駄な在庫を持たない

■ 安全・安心がモットー、衛生管理をつねに徹底



「合同研修会」
瀬戸理事長と菅野教授の講演に、経営者・支援者としてのあり方を学ぶ

9月2・3日は、合同研修会として亀井塾、熊田塾、そして開講式を迎えた新堂塾の新塾生も参加しました。瀬戸理事長は「壁にぶつかった時こそ企業の真価を試される」とヤマト運輸（株）の過去の事業改革の事例をもとに講演。消費者の求めるサービスを実現する経営者としての考え方などを自らの体験も交えて話しました。東京学芸大学の菅野 敦教授は「利用者さんの職業能力を高めるために、福祉施設の職員の支援はどうあるべきか」について講演。利用者さんにとってよりよい仕事、働きやすい環境とはなにか。さらに利用者さんの職業能力を高めるアプローチの具体的なポイントをわかりやすく整理しました。

給料増額を達成するための事業改革と利用者さんの能力を伸ばす支援。その両輪が動いてこそ利用者さんの社会的自立を実現できることを、塾生たちは改めて自覚しました。

■ 楠元塾各塾生の2年間の変化

最優秀賞受賞

(NPO)Creer 『Creer』
弁当・配食サービス事業

喜多條 雅子さん

1日の弁当販売数が入塾時の約2倍となる318個に、月額平均給料は3万5000円から5万円を超えました。「次の目標は10万円」と自らハードルを上げて事業改革に挑み続ける決意を固めています。

塾長賞

(NPO)さくらんぼのお家
『さくらんぼのお家』
弁当・配食サービス事業

飯田 香代子さん

2年間で最も大きな変化を遂げた塾生です。1日の弁当販売数わずか3個から133個に、1万円に届いていなかった月額平均給料はあと少しで4万円というところにまできました。「本当に夢のかけ橋がかかりました」と感激しています。

■ Creer

項　目	入塾時の状況（平成26年10月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	1,929,150	1,946,980	2,500,000
1日あたりの個数(個)	157	222	318
利用者人数(人)	15	11	13
平均給料(円)	34,946	34,867	50,100

■ さくらんぼのお家

項　目	入塾時の状況（平成26年10月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	45,650	667,280	1,314,420
1日あたりの個数(個)	3	67	133
利用者人数(人)	7	7	10
平均給料(円)	10,208	28,571	39,000

■ 就労継続支援 A 型事業所　夢・さぽーと

項　目	入塾時の状況（平成26年10月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	―	437,200	1,025,050
1日あたりの個数(個)	―	70	120
利用者人数(人)	―	3	6
平均給料(円)	―	41,523	73,462

※入塾時は、弁当･配食サービス事業を行っていなかったため実績がありません。

■ どんぐりパン

項　目	入塾時の状況（平成26年10月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	85,800	263,500	826,528
1日あたりの個数(個)	10	26	48
利用者人数(人)	0	0	7
平均給料(円)	0	0	9,443

※ B 型・生介混合の平均給料予定は 1 日当たりの売り上げ 80 個の場合 16560 円／月だが、時給設定が異なるため B 型・生介で異なることになる。

■ すずかけの里

項　目	入塾時の状況（平成26年10月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	522,460	919,150	971,440
1日あたりの個数(個)	45	92	69
利用者人数(人)	6	6	8
平均給料(円)	25,733	27,712	27,762

■ 共働作業所　ピーターパン

項　目	入塾時の状況（平成26年10月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	661,470	857,950	1,550,000
1日あたりの個数(個)	65	93	150
利用者人数(人)	8	7	10
平均給料(円)	26,097	32,901	49,730

■ ふぁみりお

項　目	入塾時の状況（平成26年10月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	311,450	387,400	400,000
1日あたりの個数(個)	33	48	59
利用者人数(人)	7	9	9
平均給料(円)	17,797	17,217	17,777

■ 障害者福祉サービス事業所　サムラ

項　目	入塾時の状況（平成26年11月）	1年間の中間報告（平成27年8月）	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	861,690	1,275,736	1,463,426
1日あたりの個数(個)	89	102	113
利用者人数(人)	7	10	9
平均給料(円)	25,917	29,036	36,605

■ ワークハウス・わくわく！

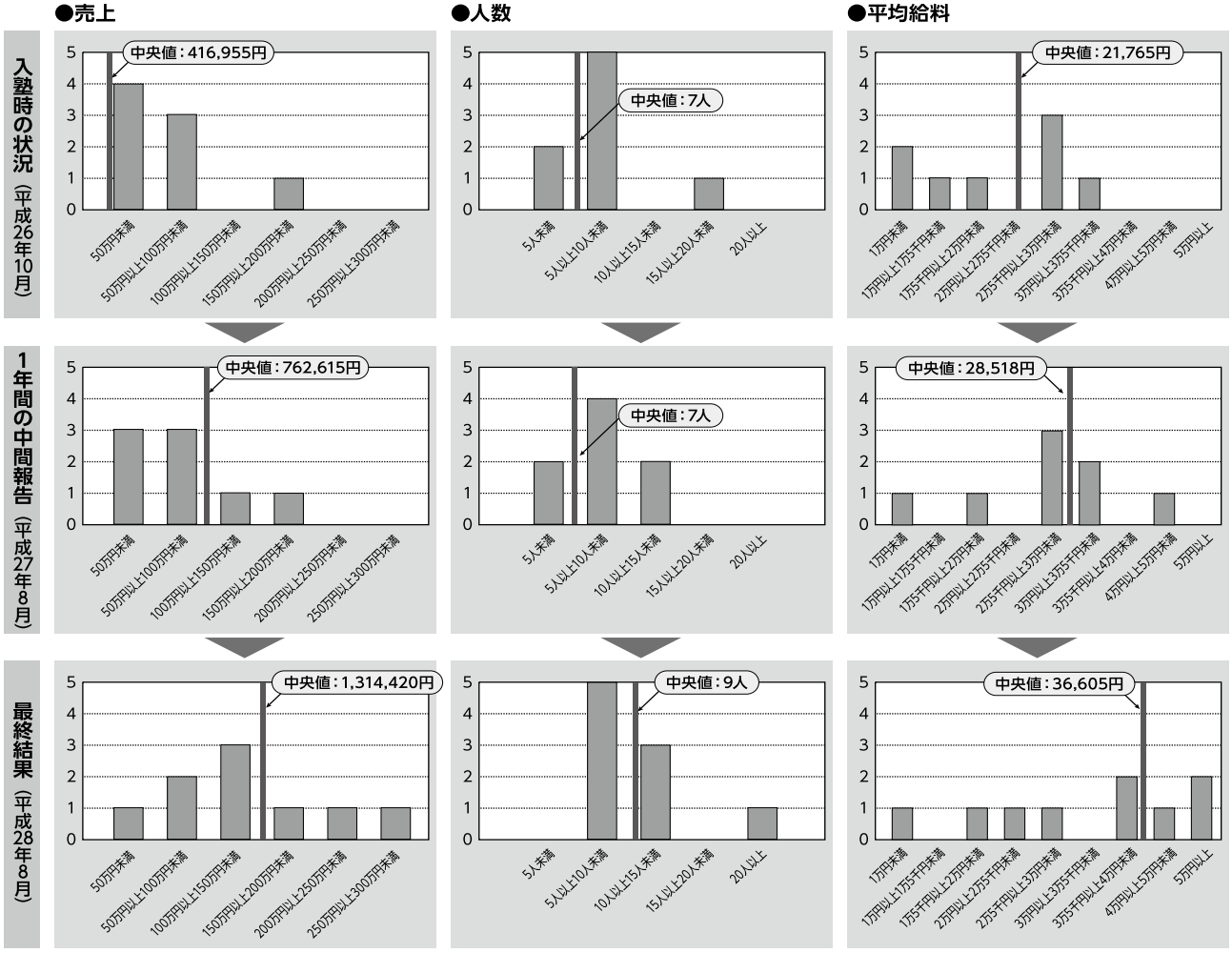
項　目	平成26年10月の状況	平成27年8月の状況	最終結果（平成28年8月）
売 上(円)	2,019,261	1,787,668	2,205,759
1日あたりの個数(個)	123	111	134
利用者人数(人)	19	16	24
平均給料(円)	19,784	22,664	22,162

※平成 27 年 9 月からの途中参加です。

■ アトリエぶどうの木・オリーブの樹

※ 平成 28 年 11 月より弁当・配食サービスの新事業所を開所しましたが、まだ稼働途中のため、詳細成果データは出ていません。

■ 楠元塾全体での2年間の推移



「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金

■ 平成28年度、楠元塾の二つの塾生施設に支援しました

「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金は、塾生が起こす事業をモデル化し水平展開するためのものです。この資金は、塾生が立てた事業プランから効果が高いと認められるものに対し、新規事業を起こすため、また事業改革を進めるために必要な道具や働く環境を整え、実行結果を塾で検証します。

(NPO) Creer
『Creer』

●助成内容：移動販売用の冷蔵・冷凍軽自動車配送車購入資金150万円を助成。

●目　　的：配膳室内の動線の整理などにより、生産性は増大してきました。冷蔵・冷凍機能を持つ配送・販売車を導入し、遠隔地の配送後は現地で昼休みの対面販売を行い、さらなる売上拡大を目指します。

(NPO) さくらんぼのお家
『さくらんぼのお家』

●助成内容：調理場改修工事・新厨房機器導入資金など300万円を助成。

●目　　的：営業活動の強化で新規顧客を獲得できましたが、利用者さんの昼食を賄う程度の厨房設備では対応が困難に。調理場を改修し新たな厨房機器も導入。衛生管理と大量の調理を可能にします。

5万円必達塾（第1期）

夢へのかけ橋実践塾修了者から「2年間で必ず5万円の給料を実現する」と決意した5施設が、実践塾で学んだ経験を活かし、自ら課題を持って参加しています。塾長は「もっと仕事がしたい、給料を上げてほしいと思っても、利用者さんは口に出しません。その声なき思いに応え、最後までやり通すことが職員の使命」との持論を持つ武田塾長です。

●塾　長：（社福）はらから福祉会　理事長　武田　元 氏

○略歴

1966年より宮城県公立学校教員として31年間勤務。1979年に「はらから会」を立ち上げる。2004～2010年度まできょうされん宮城支部長。2010年9月～2013年3月『障がい者の暮らし変革塾（第1期武田塾）』塾長。2014年9月～2016年9月『夢へのかけ橋実践塾　武田塾』塾長。第3回ヤマト福祉財団賞受賞（2002年度）。

塾長の名言

「原材料に経費をかけ、付加価値を付けて販売するのが我々の仕事」

「原材料に経費を使って付加価値（商品）をつくること。その付加価値を大きくするのは販売力であり、そこに我々の支援力が問われます。いまうまくいっても安定して続くとは限らない。つねに先を見据え、新しい付加価値を創造し続けてください」。

5万円必達塾：5施設（平成27年10月スタート時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（社福）はらから福祉会	はたまき・手づくりの里	就労継続B型	和菓子の製造・販売	自主製品と仕入れ商品の販売強化（移動販売、ネット販売、ふるさと納税のお礼品）など
（NPO）吉野コスモス会	うぃる工房	就労継続B型	冷凍寿司・惣菜の製造・販売、野菜加工	生産性の向上、取引先拡大、おせちなどの宅配先・販売先の開拓など
（NPO）コンパスの会	コンパス	就労継続B型	パンの製造・販売	パン製造力、販売力の強化など
（社福）ゆずりは会	ゆずりは	就労継続B型	農業、農作物の受託作業（タマネギの皮むき）、ウォーターサーバーメンテナンス	農地の拡大などで農業を柱にする
（NPO）かしのみ	就労支援事業所かしのみ	就労継続B型	ドライフルーツの製造・販売	委託・受託事業の拡大、自主製品の開発など

5万円必達塾活動報告

第2回研修会

● 日 時：平成28年４月15・16日
● 場 所：(NPO)かしのみ(山梨県甲府市)／ 伊那食品工業(株)(長野県伊那市)

第２回研修会の初日は、山梨県甲府市の塾生（NPO）かしのみの『かしのみラボ、かしのみNeo』を訪ね、4月1日にオープンしたドライフルーツ工場を見学しました。その後、長野県伊那市にある寒天のトップメーカー伊那食品工業（株）へ。同社は、創業から48年間、増収増益を達成してきた企業です。「企業に大切なのは、知恵のある人間づくり。100の力を持つ機械は100の力しか出せないが人間は違う。モチベーション次第で100が120にもなります」とふれあいサービス事業部の丸山勝治取締役事業部長。塾生たちは、利用者さんへの指導方法のよい参考になると、熱心にメモを取っていました。

翌日は、かしのみラボで塾生たちが事業改革の進捗状況を報告。かしのみラボは「乾燥機メーカーの協力を得て技術も向上しています。取り扱い商品の種類を増やし、自らも商品を開発していきたい」と計画を伝えました。武田塾長は「ターゲットを明確にして、売れる・利益の高い商品への絞り込みが大切」とアドバイス。他の塾生にも「塾がはじまってそろそろ1年です。いまの方法で本当に5万円を到達できるのか、再度検討してみましょう。自分たちの組織を、事業を見つめ直し、プラス点とマイナス点を冷静に把握した上で計画を立て直すこと。それが今後の成否を分けます」と激励しました。

■ 第２回研修会の内容

日　程	プログラム
4月15日	■ かしのみラボ・かしのみNeo見学 ■ 伊那食品工業（株）見学
4月16日	■ かしのみラボにて話し合い・情報交換

第3回研修会

● 日 時：平成28年10月21・22日
● 場 所：(社福)ゆずりは会(群馬県前橋市)

第３回研修会は、群馬県前橋市にある（社福）ゆずりは会の事業所『ゆずりは』で開催しました。初日は、年々拡大している野菜を栽培する農地、またタマネギの皮むきなどの受託作業現場を見学。ゆずりは会の関根理事長より、ゆずりはを含めた他の事業所で展開する就労支援や給料増額への取り組みなども伺いました。ゆずりはの課題は、農作物の繁忙期が重ならないように、生産計画を立てて栽培する野菜の種類を考えること。多くの利用者さんが参加できるように、農地拡大と農作物の出荷先を広げることも必要です。武田塾長は「いま農業の６次化が叫ばれていますが、農業生産者の視点だけではなく地元で製造業などを営む方などと力を合わせ取り組んでいくことも必要です。自らつくった野菜を加工し販売できればこんなにいいことはないはず」と話しました。

第３回研修会は、２年間の折り返し地点として、初日にこれまでの活動のまとめを行い、２日目には、これからの1年でどう改善していくかを報告し合

いました。武田塾長は「大切なのは、だれが、どこで、なにを、どうするのか…５Ｗ２Ｈをどう捉えていくかです。こうしたいと考えたら、すぐに周りに伝え行動に移してください。それぞれが抱える課題もＰＤＣＡサイクルで全職員が足並みを揃えていけば、必ず解決できるはずです」と残り１年の奮起を促しました。

■ 第３回研修会の内容

日　程	プログラム
10月21日	■ ゆずりは見学 ■ ゆずりは会関根理事長講話／質疑応答 ■ １年間のまとめ
10月22日	■ これから１年間の計画について

第４回研修会

● 日 時：平成29年３月24・25日
● 場 所：(NPO)吉野コスモス会(奈良県吉野郡)

３月24・25日、奈良県の塾生（NPO）吉野コスモス会で第４回研修会を開催しました。初日は柿の葉寿司やお惣菜を製造する『うぃる工房』とクッキーなどの製造を行う『壱陽館』の現場を見学。吉野コスモス会の竹林理事長は「1万円の給料で良いはずがありません。職員の都合で事業改革の歩みを止めるなどもってのほか。使命感を持って取り組んでいます」と述べました。武田塾長は「素晴らしい考えだと思います。次は給料増額につなげるために就労への課題設定と解決案を明確にしていくことです」とアドバイス。うぃる工房の塾生・永仮さんは「私は他業界から転職してきましたが、いま福祉の仕事が楽しくて仕方ありません。かつての営業職の経験でＰＤＣＡサイクルの重要性を理解していますので、今後なにをすべきかを他職員とともに考え、具体的に進めていきます」と話しました。

２日目は、各塾生が残り半年でいかに目標を達成していくかを報告しました。うぃる工房は「地元とのつながりを強め、行楽地にたこ焼き店を出店予定。要望のあるたこ焼きの冷凍品も開発中です」と発表。他の塾生は「6次産業化を進めて売上拡大と利用者さんの新しい仕事をつくり出し、全利用者さんに5万円の給料を」「ＨＡＣＣＰ導入に向けて職員の研修をはじめています」など計画を発表しました。

武田塾長は「目の前の課題に惑わされず、時には中期的な計画を立てることも必要。成果の出ない事業は変革すべきです。私のはらから福祉会も食肉加工、ピザ屋と新事業に取組んでいます。目指すは時給500円です。1日5時間で20日間働けば5万円になります。我々の仕事は、他人がつくってくれた原材料と経費をもとに新しい価値を生み出すことにあります。この付加価値が利用者さんの給料になるわけですから、どう大きくできるかで、我々の支援力が問われます。給料５万円も一つの通過点にすぎません。障がいの有無に関係なく一人の人間として生きていく上で“働く”ことをどう位置づけるか。そこを根底にして利用者さんへの支援のあり方を描き出してほしい。それが私たちの目指す本当のゴールです」と塾生たちを激励しました。

■ 第４回研修会の内容

日　程	プログラム
3月24日	■ うぃる工房・壱陽館見学 ■ 吉野コスモス会 竹林理事長講話／質疑応答・意見交換
3月25日	■ ５万円達成に向けての具体的な取り組み

5万円必達塾 塾生の変化　**（社福）ゆずりは会『ゆずりは』**　農業、農作物の受託作業（タマネギの皮むき）、ウォーターサーバーメンテナンス委託事業など

●目　標　利用者さん26名全員に平均月額給料5万円を。

●課　題　生産の柱であるタマネギと、他の枝豆、ホウレンソウ、ブロッコリー、白菜などの栽培・収穫の繁忙期が重ならないように生産計画を立てるなど。

●改善点
- より多くの利用者さんが参加できる農業と6次産業化を事業の柱に。
- タマネギの予冷庫を導入し、単価が高い時期に枝豆作業に取りかかる。
- 他の野菜は栽培方法を改良。作付け面積と契約先・出荷先の拡大。
- ウォーターサーバーメンテナンス委託事業を取りやめる。

●成　果
- **平成28年4月：**
  売上738,628円／
  平均月額給料42,000円
  (時給-円・利用者26名)
- **平成29年3月：**
  売上2,371,873円／
  平均月額給料45,086円
  (時給354円・利用者26名)

5万円必達塾 塾生の変化　**（NPO）かしのみ『就労支援事業所かしのみ』**　ドライフルーツの製造・販売など

●目　標　利用者さん13名全員に時給500円・平均月額給料5万円を。

●課　題　委託・受託事業の拡大、自主製品の開発など。

●改善点
- 乾燥機製造会社にも協力してもらい商品の完成度（味・仕上がり）を高める。
- 仕入れ計画・加工計画を1年計画で立て毎月見直しを行う。
- 委託先・取扱商品の幅を広げる。販路を拡大する。
- 技術を高め、地元の食材を活かした新商品を開発。
- ＨＡＣＣＰ導入に向け、職員の研修を実施。

●成　果
- **平成28年4月：**
  売上881,199円／
  平均月額給料36,737円
  (時給484円・利用者11名)
- **平成29年3月：**
  売上901,710円／
  平均月額給料39,689円
  (時給506円・利用者12名)

■5万円必達塾・平成29年度中間報告

単位：円（売上金額、平均給料）　単位：人（支払い人数）

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
みずきの里丸森 (旧)はたまき・手づくりの里	売上金額	3,188,466	2,696,068	3,125,167	3,215,989	2,951,747	2,781,505	3,340,133	3,175,515	3,574,767	1,759,139	2,462,139	5,535,067
	支払人数	39	38	37	36	36	36	36	36	34	34	34	36
	平均給料(一人当たり)	34,025	30,776	42,517	35,128	30,783	34,051	33,594	33,078	51,743	23,790	31,004	73,658
	全日程給料	55,705	55,880	55,743	55,611	53,083	55,611	55,611	55,611	50,882	48,338	50,882	58,321
	時　給	506	508	507	506	506	506	506	506	509	509	509	507
うぃる工房	売上金額	972,156	1,099,479	1,101,944	1,206,437	1,639,363	1,216,413	1,126,971	919,082	6,313,866	1,557,928	831,982	1,415,500
	支払人数	32	31	29	32	29	31	30	31	29	31	31	29
	平均給料(一人当たり)	23,096	19,137	21,861	19,796	21,189	17,695	21,424	20,979	19,253	18,161	18,118	30,941
	全日程給料	40,500	38,475	43,697	39,797	40,500	39,774	42,525	40,500	40,500	38,475	38,475	46,575
	時　給	445	442	441	442	450	442	450	450	450	450	450	599
コンパス	売上金額	720,360	757,659	1,000,542	876,480	519,914	730,287	867,790	918,558	666,711	742,360	709,683	893,341
	支払人数	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14
	平均給料(一人当たり)	18,000	25,000	30,000	27,000	13,000	24,000	23,000	27,000	15,000	18,085	19,571	27,225
	全日程給料	18,000	25,000	30,000	32,400	14,550	24,000	23,625	27,500	15,077	19,500	21,000	29,000
	時　給				270	150	192	210	250	163	200	200	242
ゆずりは	売上金額	738,628	730,211	5,462,699	4,869,657	3,751,248	1,957,431	892,773	882,555	1,133,690	2,349,705	1,953,313	2,371,873
	支払人数	26	26	26	26	26	24	24	24	24	24	24	26
	平均給料(一人当たり)	42,000	42,000	42,000	45,000	45,000	44,289	45,000	45,000	44,965	44,930	45,018	45,086
	全日程給料	42,000	42,000	42,000	45,000	45,000	47,885	48,521	48,521	48,521	48,617	48,617	46,819
	時　給				372	355	396	401	401	401	421	421	354
かしのみ	売上金額	881,199	668,988	883,943	911,934	1,113,082	1,370,388	1,329,534	1,176,383	1,045,958	844,991	1,127,197	901,710
	支払人数	11	13	16	14	14	15	15	15	13	12	12	12
	平均給料(一人当たり)	36,737	30,240	28,908	35,348	37,803	34,637	34,958	27,612	32,119	31,075	29,766	39,689
	全日程給料	53,270	45,490	52,312	50,714	49,407	48,540	49,413	47,093	46,354	47,517	46,825	55,660
	時　給	484	479	476	507	494	485	494	471	464	475	468	506

※全日程給料･･･平均時給×所定作業時間数

亀井塾（第２期）

「“賃金規定に則り、決められた金額の給料を支払える施設へ”。そのためには原価から収入・支出、利益計算までをきちんと行い、数値目標を決定すべき」と塾長の（社福）ひびき福祉会の亀井理事長。塾生は、マーケティングをベースに接客・集客活動と連動した販路拡大や顧客開拓、商品開発の具体的な計画・実践を目指しています。

●塾　長：（社福）ひびき福祉会　理事長　亀井　勝 氏

○略歴

1977年ひびき共同作業所を開設。1984年に社会福祉法人の認可を得て常任理事、施設長へ。大阪府社会福祉協議会セルプ部会部会長、ハイ・ワークひびき施設長、全国社会福祉協議会全国社会就労センター事業推進委員長などを務め、定年退職後は全役職を辞任し（社福）ひびき福祉会理事長に。2014年９月～2016年９月『夢へのかけ橋実践塾　亀井塾』塾長。第７回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2006年度）。

塾長の名言

「利用者さんを、一緒に働く仲間として見る」

「利用者さんを福祉の対象者として見るのではなく“一緒に働く仲間”として、全職員、施設のトップの視点を変えていく。労働者なら当然、仕事の対価となる決まった給料を支払うべき。そこから施設全体で給料増額への取り組みもはじまります」。

亀井塾：４施設（平成 27 年 10 月スタート時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（社福）こころの窓	青い鳥	就労継続Ｂ型・生活介護	製菓事業・給食業務・下請け作業	製菓事業
（NPO）ヒールアップハウス	晴れ晴れ	就労継続Ｂ型	製パン・製菓事業・クラフト事業・クロネコ DM 便・ポスティング事業	焼き菓子の種類増加・ギフト商品お土産品の販売
（社福）いたるセンター	あけぼの作業所	就労継続Ｂ型・生活介護・就労移行	食品加工・公園清掃・受注作業・石けん・手芸品	食品加工事業
（NPO）かしのみ	就労支援事業所かしのみ	就労継続Ｂ型	下請け・ドライフルーツの加工	果物の加工・菓子製造

亀井塾活動報告

原価計算勉強会

● 日 時：平成28年４月５日
● 場 所：ヤマト銀座ビル 会議室（東京都中央区）

「漠然と数字を掲げているだけでは、目標達成はできない。商品の原価を正しく知ることで利益も明らかになり、目指す給料に必要な売上額、販売数も明確に計算できる」と４月５日に原価計算勉強会を開催しました。光熱費から材料費、人件費まできちんと数字を把握して給料支給額を計算。使用しているオーブンやミキサーなどの高額な調理機器は、減価償却費として月々計算に入れ、製品寿命がつきたときに買い替えができる準備も整えるなど、具体的に指導しました。

塾長視察

● 日 時：平成28年４月11日
● 場 所：（社福）こころの窓（大阪府堺市）

４月11日、大阪府堺市にある塾生施設（社福）こころの窓の事業所『青い鳥』を視察。青い鳥では、ガトーショコラ、フィナンシェ、シフォンケーキなどの焼き菓子をつくっています。「商品も豊富でなかなか美味しく仕上がっているが、使用している調理器具もスペースも大量に受注生産するには弱すぎます。取引先の拡大を目指す前に、まずは生産体制を整えること」と亀井塾長。塾生が提出した商品ごとの材料費と販売価格表をチェックし、利益を上げるための原価計算について指導しました。

■ 塾長視察の内容

日　程	プログラム
4月11日	■ 青い鳥現地視察／原価計算について

第３回研修会

● 日 時：平成28年６月15・16日
● 場 所：（社福）いたるセンター（東京都杉並区）／（NPO）ヒールアップハウス（埼玉県川口市）／晴海グランドホテル（東京都中央区）

6月15・16日の第３回研修会では、晴海グランドホテルを起点に二つの塾生施設を見学。初日は、グループホームなどへの配食やタイカレー缶詰を製造する杉並区の塾生施設の（社福）いたるセンター『あけぼの作業所』へ。「タイカレーは、缶詰とは思えない美味しさ。デザインもお洒落。配食の仕事よりも外部から収入を得るタイカレーに力を入れるべき。キッチンカーを所有しているのだから、缶詰と同じデザインでラッピングして移動販売をはじめてはどうか」と亀井塾長が助言しました。

翌日は、川口市の塾生（NPO）ヒールアップハウス『晴れ晴れ』へ。商品の目玉は、川口銘菓として地元も期待するベーゴマクッキー。亀井塾長は「商品は良いのに、この設備では売上を伸ばす数をつくれない。今後は、原価計算勉強会で学んだ知識を活かし、いくつ販売すれば目標の売上・給料に到達できるかを正しく把握して生産体制を見直してほしい」と伝えました。

■ 第３回研修会の内容

日　程	プログラム
6月15日	■ あけぼの作業所見学 ■ 塾長視察の感想／塾長講話（晴海グランドホテル）
6月16日	■ 今期事業計画発表／ ■ まとめ（晴海グランドホテル） ■ 晴れ晴れ見学 ■ 塾長考察

塾長視察

● 日 時：平成28年７月７・８日
● 場 所：（NPO）かしのみ（山梨県甲府市）

7月7日には、山梨県甲府市の塾生施設（NPO）かしのみの『かしのみNeo』を視察。かしのみNeoは、ドライフルーツを使ったオリジナル商品の開発・製造・販売を中心に事業を行っています。クラッシュゼリーやリンゴのコンポート、アップルパイなどを試食した亀井塾長は「品質は合格！」と評価。「あとは材料費、人件費、包材費などの経費を明確にし、利益率をどう上げていくかです。取引先・販売先を拡大した際、1日の生産量を超える注文が来た時にどう対応するかも考慮しておくことも大事」と課題を出しました。

■ 塾長視察の内容

日　程	プログラム
7月7・8日	■ かしのみNeo現地視察／塾長考察

合同研修会（第４回研修会）

※合同研修会（第４回研修会）の
プログラム・内容は、P18-19を参照ください。

● 日 時：平成28年９月２・３日
● 場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

９月２・３日、晴海グランドホテルで楠元塾、熊田塾、新堂塾と合同研修会を開催。初日は修了式を迎え２年間の成果発表を行う楠元塾の塾生に続き、亀井塾の塾生も１年間の中間報告を行いました。

翌日の分科会では、１年間を振り返りながら、目標の売上・給料額に達していない要因を見直すことに。「よい商品をつくり、いざＯＥＭやＯＤＭの話があっても、みなさんの製造現場を見せたらビジネスチャンスは逃げてしまいます。みなさんは、もっと大きなレトルト釜やミキサーを購入したい、厨房を拡大したいと話していますが、それには施設トップを説得するため、商品をいくつ製造すれば、売上はいくらと根拠を数字で示すことが大事です」と亀井塾長。「あとは、より旨味のある取引先や販売先を探し続けること。新しい魅力的な商品を考え続けること。いまの商品に満足していたら、技術のある企業にすぐ真似されて追い越されてしまいます」と塾生の背中を後押ししました。

第５回研修会／第２回お菓子分科会

● 日 時：平成29年２月25日
● 場 所：（社福）ひびき福祉会（大阪府東大阪市）

亀井塾長の施設・（社福）ひびき福祉会で第５回研修会と亀井塾１期生も参加し第２回 クッキー・お菓子分科会を開きました。パティシエが、塾生たちに素材の特性について講義。塾生はパイ生地を使った焼き菓子などを実際に製作しながら、プロの技法を体験的に学びました。研修会には自分たちの商品も持参。パティシエより「焼きがまだあまいのでは」「これだけの素材・品質なら価格を上げては」など、具体的なアドバイスを受けました。

■ 第５回研修会／第２回お菓子分科会の内容

日　程	プログラム
２月25日	■ 亀井塾長・山田施設長挨拶 ■ 講習（材料について） ■ 実習（パイ生地づくりなど） ■ 試食・品評・質疑応答

亀井塾塾生の変化　（NPO）ヒールアップハウス『晴れ晴れ』　● 製パン・製菓事業など

●目　標　利用者さん13名に平均月額給料3万円を。
●課　題　販路拡大と生産性向上、材料費の見直しなど。
●改善点
・ベーゴマクッキーを川口銘菓のギフト商品として百貨店へ参入開始。
・県産小麦を使ったマドレーヌ、シフォンケーキなどの新商品開発。
・パンの外部販売先を２ヵ所から８ヵ所へ。ネット販売も開始。
・時給350円に固定、さらなるベースアップを図る。

●成　果
・**平成28年４月**：売上1,127,373円／平均月額給料25,206円（利用者16名）
・**平成29年３月**：売上1,274,827円／平均月額給料33,080円（利用者15名）

■亀井塾・平成29年度中間報告

単位：円（売上金額、平均給料）　単位：人（支払い人数）

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
青い鳥	売上金額	201,390	238,324	284,485	350,306	246,431	330,770	280,729	464,390	277,328	234,750	260,645	344,870
	支払人数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	平均給料（一人当たり）	21,014	16,214	34,685	18,900	15,914	19,671	14,471	17,300	43,557	14,557	19,500	18,314
晴れ晴れ	売上金額	1,127,373	946,327	801,793	863,420	1,118,119	725,399	1,097,760	1,174,928	1,363,442	877,836	974,964	1,274,827
	支払人数	16	16	17	16	14	16	14	16	16	14	14	15
	平均給料（一人当たり）	25,206	23,946	27,713	25,196	27,235	25,195	31,511	31,496	33,071	25,214	31,500	33,080
あけぼの作業所	売上金額	661,574	623,147	824,287	775,520	644,501	684,802	982,453	922,243	825,836	739,647	781,894	829,248
	支払人数	15	15	14	14	15	13	15	15	15	14	14	14
	平均給料（一人当たり）	13,751	13,272	16,444	15,328	13,775	13,286	19,526	19,432	17,553	17,763	18,025	18,637
就労支援事業所かしのみ	売上金額	287,172	268,345	101,033	305,331	227,821	517,465	873,387	489,044	170,190	114,790	103,684	190,072
	支払人数	16	16	16	16	16	16	14	14	7	8	7	8
	平均給料（一人当たり）	14,811	13,859	15,572	14,675	24,050	14,830	34,522	20,614	17,212	12,125	19,921	18,120

熊田塾（第１期）

農業を柱に商・工と連携して地域に根付いたさまざまな事業アイデアを創出する（社福）こころんの熊田常務理事・施設長が塾長です。塾生たちは、人と人とのつながりを活かし、農福連携に新しい可能性を広げていく塾長のノウハウを学ぶとともに、PDCAサイクルにより計画・実行・評価・改善を繰り返すことで、目標とする売上、利用者さんの給料増額達成を目指します。

●塾　長：（社福）こころん 常務理事・施設長　熊田 芳江 氏

○略歴

2002年にNPO法人を設立。東日本大震災後は、地元復興のため本格的に農業へ進出。2011年「地域住民と協力し、障がいのある方の働く場を創出する」ため（社福）こころんを立ち上げる。安心・安全な農作物を生産し、地元企業と６次産業化を目指す新商品も開発。地元の野菜や加工品を直売カフェ「こころや」で販売して地域活性化に貢献。第14回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2013年度）。

塾長の名言

「地元の問題を一緒に考えることで、絆も事業も広がる」

「自分たちのことばかりを相談し、頼るばかりではなく、地域社会が抱える人手不足、後継者不在、食育などに自分たちもなにかできないかを考え、発信・行動してください。そこから地域の方との絆は深まり、事業の幅も自然と広がっていきます」。

熊田塾：９施設（平成 27 年 10 月スタート時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（NPO）青ねこくらぶ	青ねこ広場	就労継続Ｂ型	再生自転車販売・不要自転車の引き取りや修理	不要自転車再生事業・農作物移動販売・自転車出張修理・音楽喫茶店
（社福）八身福祉会	八身共同印刷	就労継続Ｂ型・就労移行	下請け作業・印刷事業・水耕栽培事業・施設外就労	水耕栽培・露地栽培・廃棄野菜の６次産業化
（社福）有田つくし福祉会	早月農園	就労継続Ｂ型	野菜・ミカン・梅・山椒などの栽培	規格外品を活用した商品開発
（社福）ひびき福祉会	ワークセンターひびき	就労継続Ｂ型・生活介護・就労移行	店舗販売・印刷・ウエスの製造販売・食品加工・クロネコ DM 便・清掃	全国の障がい者事業所の商品、野菜などの店舗販売
（NPO）なでらの森	ぽぷら	就労継続Ａ型	農作物の乾燥・製粉事業・自主製品販売	６次産業化・地場産品の創出など
（社福）ゆずりは会	菜の花	就労継続Ｂ型・就労移行	農業・パソコン解体・販売軽作業・委託作業	農福連携・６次産業化
（社福）赤城の家	赤城の家	就労継続Ｂ型・生活介護・就労移行	工業・農業・加工・木工・縫製	農業
（社福）恵泉会	愛光園	就労継続Ｂ型	電子部品組立て・箱折り・食品加工	遊休農地の活用・規格外の果物の加工・水耕栽培
（社福）宮共生会	ショップ＆カフェみつば	就労継続Ａ型	委託販売など	６次産業化

熊田塾活動報告

塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成28年４月28日
● 場 所：（社福）ゆずりは会（群馬県前橋市）／（社福）赤城の家（群馬県桐生市）

４月28日に群馬県の塾生施設２ヵ所を訪ねました。最初に訪れたのは、（社福）ゆずりは会の事業所『菜の花』です。ここは、田畑合わせて12ha、20名の利用者さんと８名の職員が白菜、ブロッコリー、タマネギ、ホウレンソウ、枝豆などを栽培しています。熊田塾長は、お米の乾燥、籾すりなどを行える機械をJAライスセンターから買い取り、近隣の農家と共同使用している点にも注目。「地域の方と機械を共有し、そのかわりに農業指導をしてもらう。こうした地域との連携は大切です」と評価しました。塾生は、自然栽培パーティ（詳しくはP40-41参照）にも参加し、水稲自然栽培も開始しています。「自然栽培の大変さは、私も有機栽培を行っているのでよくわかります。利用者さんの給料を慣行栽培で確保し、さらに自然栽培で売上を伸ばす、その両輪で行い、バランスよく進めてください」とアドバイスしました。

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
４月28日	■（社福）ゆずりは会・菜の花見学 ■（社福）赤城の家・赤城の家見学

次に訪れた（社福）赤城の家の事業所『赤城の家』は、深谷ネギの栽培が主力です。赤城山の中腹にある事業所はネギの栽培に適した環境にありますが、麓の地元の農家は温暖化の影響で気温が高くなり、ネギの生産が難しくなりつつあります。「ネギの栽培は、10～15人の利用者さんが職員とともに行っています。近隣のネギの出荷組合の組合長に指導いただき、合理的に生産できるようになりました。いま力を入れているのは、サトイモと落花生です」と塾生が報告。特に落花生は、焙煎機を自作し1年を通して出荷できる体制を整え、仕事が減る冬場も売上・給料支給を安定させる計画です。

第３回研修会・自然栽培パーティ第１回全国フォーラム

● 日 時：平成28年５月19・20・21日
● 場 所：安城市民交流センター（愛知県安城市）／豊田市福祉センター（愛知県豊田市）

第３回研修会は、5月19～21日の３日間で行われ、塾生は5月20日に愛知県豊田市で開催された『自然栽培パーティ第１回全国フォーラム』と翌日の田植え会にも参加しました。

研修会は5月19日に愛知県の安城市民交流センターで開催。塾生の近況報告を聞いた熊田塾長は「塾生施設を視察してきましたが、共通の課題は、栽培した農産物や加工品などを、どこで、どのような形で販売するかです。いま塾の中では、『早月農園』で育てたミカンを『なでらの森』の乾燥機でドライフルーツにし『ワークセンターひびき』で販売

するといった連携も生まれています。塾生同士で互いの特徴を理解し合い連携することで、どのようなメリットを生み出すことができるのか、じっくりと考えてください」と講評しました。研修会では、二つのグループに分かれ、一つの施設を例に改善点を分析し合うグループワークも実施。事業所のリーダーとして他の職員を説得するための表現力や意見をまとめる力などを養いました。

2日目は、愛知県の安城市民交流センターで開催された自然栽培パーティ第1回全国フォーラムに、3日目は、自然栽培パーティが行った米づくり講座・田植え会に参加しました。塾生たちは、フォーラムに出席した瀬戸理事長と一緒に、泥田に入り1本1本疎植えする自然栽培独自の方法を体験。最後に熊田塾長は「自然栽培、有機栽培などいろいろと学ぶ中から、自分たちに合ったやり方を選択することが大事です」と塾生に呼びかけました。

■ 第３回研修会の内容

日　程	プログラム
5月19日	■ 塾生近況報告・宿題発表（安城市民交流センター） ■ 塾長講話
5月20日	■ 自然栽培パーティ　第１回全国フォーラム （豊田市福祉センター）
5月21日	■ 自然栽培パーティ　米づくり講座・田植え会 （四郷町千田の田んぼ）

合同研修会（第４回研修会）

※合同研修会（第４回研修会）の
プログラム・内容は、P18-19を参照ください。

● 日 時：平成28年９月２・３日
● 場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

9月2・3日、晴海グランドホテルで合同研修会を開催。初日は修了式を迎え2年間の成果発表を行う楠元塾の塾生に続き、熊田塾の塾生も1年間の中間報告を行いました。

翌日の分科会では、残り1年で目標の売上・給料を達成するための事業計画を発表。入塾前から計画していた水耕栽培を軌道に乗せはじめた塾生、多すぎた野菜の種類を生産効率の良いものだけに絞り込んでいる塾生、従来の農法に加え水稲自然栽培も開始した塾生、消費者への直売所を検討している塾生、農業を行っていない塾生も地元農家や他塾生と連携し、農産物の販売を手がけ、売上拡大を計画しています。

熊田塾長は「店舗や売り場の確保が難しければ移動販売も良いでしょう。有機栽培、自然栽培など難しい農法は、地元にある農林事務所などの専門家に相談することも大切です。みなさんが1年間築いてきた塾生間、地域の方とのネットワークを活かせば、多くの問題を解決できると思います」とアドバイスしました。さらに、今回の研修会で熊田塾のオリジナルブランドを立ち上げることを決定。熊田塾長は、自分たちの手でブランドを立ち上げることで、全員の売上拡大の弾みになると期待しています。

塾生施設の見学・勉強会

● 日 時：平成28年９月９・10日
● 場 所：（社福）恵泉会（山形県鶴岡市）

9月9日は、山形県鶴岡市にある塾生施設（社福）恵泉会の『愛光園』で見学・勉強会を開催しました。愛光園は、民芸品の製作、受託作業の電子部品の組立てや箱折り、食品加工などを主事業にしていましたが、遊休農地を活用し、だだ茶豆などの栽培を開始。規格外の果物の加工や水耕栽培も検討しています。

他塾生からは「農地が施設内にあることは魅力的」「設備も充実している」「もっと遊休農地や耕作放棄地を確保し規模を拡大すること」「農業生産者として利用者さんを育てていくこと」などの意見が出ました。熊田塾長は「農業を柱にするなら受託作業は食品加工一つに絞り込んだ方がいい。加工品をはじめるのは、農業を軌道に乗せ、販売先を確保できてからでいいでしょう。周辺に直売所がありませんし、敷地に余裕もあるので直売所をつくり、周辺の農家から仕入れて販売してみては」とアドバイスしています。

さらに熊田塾のオリジナルブランド商品のプロジェクト会議も開き、塾生たちの企画した各商品について検討。販売先、価格設定などをどうしていくかを検討し合いました。翌日には、短角牛や地鶏の飼育など畜産事業を中心にだだ茶豆の栽培も行う（社福）月山福祉会を見学し、今後の参考としました。

■ 塾生施設の見学・勉強会の内容

日　程	プログラム
9月9日	■（社福）恵泉会・愛光園見学 ■ 勉強会 ■ 熊田塾オリジナルブランドプロジェクト会議
9月10日	■（社福）月山福祉会見学

第５回研修会

● 日 時：平成28年12月22・23日
● 場 所：（社福）有田つくし福祉会（和歌山県有田郡）

12月22・23日の第５回研修会は、和歌山県でミカンの栽培を事業の柱にする塾生施設（社福）有田つくし福祉会の『早月農園』で行いました。初日は、施設内を見学後、勉強会へ。早月農園では、ミカン畑の拡張とともに、マーマレードなどの加工・販売なども計画しています。「味噌加工品、野菜の半加工品、漬物、梅干しなども含めて商品開発、販売できるよう惣菜製造業の営業許可証も取得しました」と報告。他の塾生も「自然栽培のタマネギを定植した」「地元の施設と連携し、私たちのだだ茶豆を使った新しい豆腐を試作した」「酒米を使ってお酒をつくる計画を検討」などを報告しました。

早月農園のミカンは、塾生間での評価も高く仕入れ販売する塾生もいます。勉強会では、塾生のつくる農作物や商品を仕入れ販売する相互販売をテスト的に行った結果も報告。今後、実績が上がれば継続も検討することにしました。熊田塾長は「塾生商品の仕入れ販売で売上を伸ばしている塾生がいますが、チラシやＰＯＰなど宣伝方法が上手で驚きました。農業のプロ、加工のプロ、販売のプロと塾生同士でノウハウを共有し、新しい取り組みを成功させてください」と激励しました。

翌日は、ミカンの収穫に塾生も参加。「このミカンを自分ならどうやって売り出すか」と改めて仕入れ販売への意欲を高めていました。

■ 第５回研修会の内容

日　程	プログラム
12月22日	■（社福）有田つくし福祉会・早月農園見学／施設長説明 ■ 第２回プロジェクト会議
12月23日	■ みかん収穫体験

熊田塾 塾生の変化　**（社福）ゆずりは会『菜の花』**　農業・パソコン解体・販売軽作業・委託作業

●目　標　平成27年度の利用者さんの固定月給26,000円を4万円へ。

●課　題　受託作業を減らし、農業を柱に売上を拡大。
単価の高い自然栽培による農作物や6次加工の計画など。

●改善点
・休耕地などを借り受け、作付け面積を拡大、
農業に参加する利用者さんを育成。
・自然栽培パーティに参加し、栽培法を学ぶ。
・自然栽培によるタマネギの定植。水稲自然栽培の田んぼを拓く。
・お米の乾燥、籾すりなどを行える機械をJAライスセンターから買い取り、
近隣の農家と共同使用。

●成　果
・**平成28年4月：**
売上34,645円／
平均月額給料30,000円
（固定給・利用者11名）
・**平成29年3月：**
売上571,694円／
平均月額給料30,000円
※特別賞与を含めると
66,000円
（固定給・利用者13名）

熊田塾 塾生の変化　**（NPO）青ねこくらぶ『青ねこ広場』**　再生自転車販売・不要自転車の引き取りや修理など

●目　標　利用者さん８名に平均月額給料３万円を。

●課　題　自転車の販売単価を上げる、自主製品、仕入れ商品の
販路拡大・販売数アップなど。

●改善点
・自転車安全整備店の看板を出し、販売単価を上げる。
・ミニショップ「にゃーにゃー舎」開設、道の市に出店。
・エコバッグなど新しい自主製品を開発、
・他の塾生施設の農作物・商品の仕入れ販売。
・商品ＰＯＰで目立つ、関心を引くディスプレイへ。

●成　果
・**平成28年4月：**
売上275,837円／
平均月額給料27,445円
（利用者10名）
・**平成29年3月：**
売上231,236円／
平均月額給料32,206円
（利用者８名）

■熊田塾・平成29年度中間報告

単位：円（売上金額、平均給料）　単位：人（支払い人数）

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
青ねこ広場	売上金額	275,837	226,878	193,428	219,243	148,360	249,814	346,375	174,513	228,549	166,907	180,281	231,236
	支払人数	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	8	8
	平均給料（一人当たり）	27,445	24,980	22,145	19,660	19,960	23,180	27,172	27,200	26,167	26,967	30,644	32,206
八身共同印刷	売上金額	643,348	860,040	557,901	475,004	254,978	893,154	268,065	350,675	657,153	632,014	780,526	530,854
	支払人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	平均給料（一人当たり）	30,493	32,406	33,162	35,750	31,876	35,851	34,150	24,624	68,484	34,081	24,637	27,435
早月農園	売上金額	357,522	428,924	485,586	562,490	629,524	568,579	786,643	1,148,556	2,404,553	1,262,482	1,014,056	1,496,952
	支払人数	20	20	20	20	20	21	22	22	22	22	22	22
	平均給料（一人当たり）	29,068	27,347	32,838	28,827	29,034	31,173	28,732	29,957	30,354	30,538	29,474	77,385
ワークセンターひびき	売上金額	721,895	1,030,690	2,646,291	811,117	895,509	781,521	1,140,155	1,273,853	2,556,061	1,294,927	933,494	1,061,922
	支払人数	7	7	6	6	7	6	5	6	6	6	6	6
	平均給料（一人当たり）	24,662	20,645	25,082	21,074	16,984	19,663	20,856	20,071	22,339	30,276	22,363	33,345
ぽぷら	売上金額	418,314	543,696	377,483	546,429	287,738	229,971	969,465	502,763	563,138	260,873	471,456	357,247
	支払人数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9
	平均給料（一人当たり）	73,806	79,661	61,325	71,606	62,979	65,215	63,545	65,892	61,447	61,447	69,225	67,884
菜の花	売上金額	34,645	219,075	740,368	1,236,884	268,099	47,055	71,324	865,977	989,335	703,288	642,180	571,694
	支払人数	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13
	平均給料（一人当たり）	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	66,000
赤城の家	売上金額	473,567	146,430	389,994	811,671	709,487	582,668	684,297	1,159,148	942,101	615,834	649,063	544,781
	支払人数	13	13	12	12	13	14	14	13	13	14	14	14
	平均給料（一人当たり）	29,256	27,003	26,546	28,948	28,373	28,867	29,429	31,067	32,926	34,806	33,747	32,028
愛光園	売上金額	146,642	68,355	108,071	124,001	169,226	98,998	150,267	319,288	91,347	52,509	78,203	106,749
	支払人数	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13
	平均給料（一人当たり）	9,000	8,000	8,500	9,000	9,500	8,500	9,000	10,000	8,300	7,452	8,384	8,692
ショップ&カフェみつば	売上金額	189,076	333,601	399,681	179,220	381,288	469,564	290,782	594,332	668,929	283,625	348,778	531,934
	支払人数	14	14	15	15	13	13	13	12	12	12	14	13
	平均給料（一人当たり）	42,374	41,630	45,816	44,313	46,966	47,074	47,476	45,385	46,927	42,497	43,467	48,457

新堂塾（第３期）

新堂塾は、生産効率を高めるライン化の実現で給料増額を目指しています。塾長である（社福）武蔵野千川福祉会新堂常務理事は「ライン化とは、いままで一人で行っていた仕事を、いくつかの工程に分け、複数人で分担作業することで生産性を上げ、売り上げを伸ばすこと」と伝え、塾生は、働く環境の改善、ビジネスマナー、お客様へのアプローチなど総合的な改善に取り組んでいます。

●塾　長：（社福）武蔵野千川福祉会　常務理事　新堂　薫 氏

○略歴

1985年、千川作業所に指導員として就職。1987年のチャレンジャー設立とともに異動し、1999年に同施設長に就任。社会福祉士。2010年9月～2013年3月『障がい者の働くちから革新塾』塾長。2014年9月～2016年9月『夢へのかけ橋実践塾　新堂塾』塾長。第9回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（2008年度）。

塾長の名言

「なにをつくっているのか、利用者さんは見えていますか?」

「よい仕事とは、なにをつくっているのか、自分たちが社会に役立つことをできているのかが、目に見えるものです。その上で利用者さんの給料増額につながる事業を創出する、利用者さんの職業能力を伸ばしていくことが、私たちの果たす本当の支援です」。

新堂塾：11 施設（平成 28 年９月スタート時）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】	【取り組みたい事業（要旨）】
（NPO）ウイング	ウイングデイ	就労継続Ｂ型・生活介護	100 円ショップ商品の組み立て・袋詰め、DM 封入	ネットショップ
（社福）福成会	チャレンジ・コヤリバ	就労継続Ｂ型・就労移行・生活介護	事業所内外での軽作業、清掃など	軽作業の単価アップ、施設外就労の給料向上、作業ラインの見直し、環境整備
（社福）大阪聴覚障害者協会	あいらぶ工房	就労継続Ｂ型・生活介護	製パン、製菓、施設内外販売、下請け作業（ねじ加工、100 円ショップ商品封入など）	軽作業の単価アップ、定期的下請け受注
（社福）三木市社会福祉協議会	はばたきの丘	生活介護・自立訓練	施設内で安全用具部品（ヘルメット、マスクなど）や自動車部品の組み立て、施設外で検品作業など	ヘルメット部品製造などで給料を向上、縫製機械導入で生産性向上
（合同）ａｉｄ	結び事業所	就労継続Ｂ型	軽作業（エプロン折加工、砂糖検品袋詰め）、施設外清掃	DM 作業
（社福）きのかわ福祉会	きのかわふるさと村きずな福祉作業場	就労継続Ｂ型	下請け（箱折、資源分別）、物品販売、清掃委託業務	新規事業立ち上げ
（NPO）こうろ	もろぐち支援センター	生活介護・就労移行	内職、企業会実習	小売業（共同購入事業、乳製品販売）
（社福）白いキャンバス福祉会	白いキャンバス	就労継続Ｂ型・就労移行	さをり織り・クッキーとパンの製造販売・受託作業	受託作業
（社福）ゆずりは会	エール	就労継続Ｂ型・就労移行	クリーニング事業・農業	クリーニング事業
（社福）武蔵野千川福祉会	ワークイン関前	就労継続Ｂ型・就労移行	DM 封入封かん作業、ボールペン詰め、施設外就労（清掃作業）	DM の封入封かん作業による収益向上
（社福）武蔵野千川福祉会	武蔵境ワーキングセンター	就労継続Ｂ型・就労移行	DM の封入封かん作業	DM の封入封かん作業による収益向上

新堂塾活動報告

合同研修会（開講式・第1回研修会）

※合同研修会（開校式・第1回研修会）の
プログラム・内容は、P18-19を参照ください。

● 日 時：平成28年９月２・３日
● 場 所：晴海グランドホテル（東京都中央区）

９月２・３日、晴海グランドホテルで行われた合同研修会で、新堂塾が開講式・第１回研修会を開催しました。瀬戸理事長は「いまの商品で、対応でお客様は本当に満足しているのでしょうか。お客様の声に耳を傾け、一生懸命に向き合うことで新しいビジネスチャンスも、感動も生まれます」と講話。11名の新塾生たちは、楠元塾、亀井塾、熊田塾の塾生と並んで熱心に聞き入っていました。

その後、新堂塾は他塾と分かれて開講式・第１回研修会へ。塾生は、それぞれの事業内容、作業環境、売上、利用者さんの平均月額給料などを自己紹介として発表しました。新堂塾長とアドバイザーである東京学芸大学の菅野教授は、どのような仕事をどういった手順で進めているのか、１日の生産量、施設としてどのように今後取り組んでいきたいのかなどを質問。各塾生の現状と課題を把握していきました。

菅野教授は、工程分析とライン化の根底にある「利用者さんの職業能力を高めるとはどういうことか」といった基本的な考え方から講義。「いまの仕事量をただ増やしても職員がこなしているのでは意味がありません。利用者さんにとって働きやすい環境とは、生きがいを感じる仕事とはなにか。利用者さんが職場の主役として活躍できるように支援する方法を考え、実践してほしい」と伝えました。

新堂塾長は「材料費が高く仕事も年間を通して安定していないなど、なにを事業の柱にすべきかから考え直すべき施設もありましたね。今日見えた課題を持ち帰り、現場の職員と一緒に考え意識を変えていくことから、早速、取り組んでください」と挨拶。次回は、新堂塾長の施設を訪ね、利用者さんにわかりやすい職場づくり、５Ｓなどをどう現場で実践しているのかを見学し、事業改革を具体的に進めるヒントとすることになりました。

第２回研修会

● 日 時：平成28年10月７・８日
● 場 所：（社福）武蔵野千川福祉会（東京都武蔵野市）／
かたらいの道・会議室（東京都三鷹市）／
晴海グランドホテル（東京都中央区）

第２回研修会の初日は、新堂塾長の施設である（社福）武蔵野千川福祉会の『チャレンジャー』を見学。また、同法人の塾生施設の『ワークイン関前、武蔵境ワーキングセンター』の現場も訪ねました。

「（社福）武蔵野千川福祉会には、六つの事業所があり、機能分化という仕組みを取っています。利用者さんは、職業能力が向上するとそれに合わせて事業所をステップアップしていき、最終的にチャレンジャーで働きながら社会的自立や一般企業への就労などを目指します。すべての事業所が、ＤＭの封入封かんという同じ仕事を行っているので、利用者さんは事業所が変わっても

戸惑うことはありません」と新堂塾長が解説しました。塾生は、作業台を色分けし「仕事の手順を見える化」していることや、仕事で使う道具などがわかりやすく整理整頓され、「利用者さんが5Sの徹底を実践」している点などに注目。見学後は、三鷹市のかたらいの道・会議室で見学会の振り返りを行いました。

翌日は、晴海グランドホテルで塾生が1ヵ月間の取り組みを報告。ライン化をはじめ、効果が売上数字に現れはじめた塾生もいます。菅野教授は「チャレンジャーでは、利用者さんが休憩時間になると仕事道具を片付け、再開するときにまた取り出していましたね。これは自然にできたわけではなく、一人ひとりにわかりやすく目標、手順を示し指導してきた結果です。チャレンジャーから学んでほしいのは、利用者さんにできることを一つでも増やしていく、そのための支援をどのように進めているかであり、こうした働く環境づくりがあって工程分析、ライン化もはじめることができるのです」と解説しました。塾生には、今回の見学での気づきを活かし、今後の事業計画を立て直すことが課題となりました。

■ 第２回研修会の内容

日　程	プログラム
10月７日	■（社福）武蔵野千川福祉会／ ワークイン関前見学／ チャレンジャー見学／ 武蔵境ワーキングセンター見学 ■ 見学の振り返り（新堂塾長・菅野教授） （かたらいの道・会議室）
10月８日	■ 塾生１ヵ月の取り組み発表 （晴海グランドホテル） ■ 菅野教授講義 ■ 新堂塾長講義

第３回研修会

● 日 時：平成29年３月３・４日
● 場 所：（社福）三木市社会福祉協議会 はばたきの丘（兵庫県三木市）

３月３・４日の第３回研修会は、兵庫県三木市にある（社福）三木市社会福祉協議会の『はばたきの丘』で開催しました。初日はヘルメットなどの組み立てを行うはばたきの丘の作業現場を見学。はばたきの丘では、学校の教室のような作業机の配置になっています。「後ろの机から前の机へと作業が流れていますが、これでは自分の前の作業の進み具合が見えません。人の動き、つくっている物の動きが同時に見える流れをつくること。作業する利用者さん同士の関係性をつくることがライン化には必要です」と新堂塾長。菅野教授も「私たちのような外来者がこの様子を見て、なにをしている、なにをつくっているのかがわからないということは、利用者さんも見えていないということです。なにをつくっているのかがわからなければ仕事の喜びも、意欲もわきません」と指導しました。

見学後と２日目は、塾生が前回の課題を反映し事業改革をどう進めているかを報告。仕事の流れや1日の仕事量を目に見えるようにマニュアルやカードをつくり生産性が上がってきたと話す塾生、元証券マンの営業職員を雇い新規取引先の獲得に動いている塾生、顧客拡大にDMを取り扱う企業200社ぐらいにメールで営業をかけた塾生など、各人が工夫をはじめています。メール営業した塾生のメール文は、他の塾生の営業活動の参考になると全員に配布されました。

菅野教授は「主力となる仕事が決まると、なにに対してＰＤＣＡを行っていくかももはっきりしてきます。利用者さんへの作業の提供の仕方、配置、アセスメントの仕方、個別の目標設定、働く環境づくり、そして利用者さんの働く力を伸ばすアプローチを具体的に検討し、進めてください」と講義しました。

■ 第３回研修会の内容

日　程	プログラム
３月３日	■ はばたきの丘見学／ はばたきの丘 小松副施設長より説明 ■ 施設見学振り返り（新堂塾長・菅野教授） ■ 施設職員と座談会 ■ 課題発表
３月４日	■ 課題発表（続き） ■ 菅野教授・新堂塾長講義

新堂塾 塾生の変化　**（社福）武蔵野千川福祉会　武蔵境ワーキングセンター**　DMの封入封かん作業

●**目　標**　利用者さん23名全員に平均月額給料7万円を。

●**課　題**　利用者さんの職業能力向上へのアプローチ、新規顧客の獲得など。

●**改善点**
- 電話帳やインターネットからDMを取り扱っている企業を200社ほど選び、メールで営業。
- 何社か返答を得て、訪問営業を開始。
- 各工程に利用者さんのリーダーを設け、進捗報告を利用者さんに一任。
- 工程ごとのつながりをよりわかりやすくするためボード、カードを作成し見える化。

●**成　果**
- **平成28年4月：** 売上1,589,322円／平均月額給料51,384円（利用者23名）
- **平成29年3月：** 売上1,643,478円／平均月額給料62,249円（利用者23名）

新堂塾 塾生の変化　**（社福）ゆずりは会『エール』**　クリーニング事業

●**目　標**　クリーニング事業を柱に利用者さんの平均月額給料を5万円に。

●**課　題**　顧客の拡大、作業環境の改善、５Ｓの徹底、利用者さんへのアプローチなど。

●**改善点**
- ターゲットの絞り込みチラシを配布、職員は営業ノウハウを身につける。
- 以前指摘された動線を短く変え、スムーズに作業できるようにした。
- 作業工程を色分けし、治具もつくることで、生産効率をあげた。
- 仕事道具の置き場所を決め、利用者さん自ら５Ｓを実践できるようになった。

●**成　果**
- **平成28年4月：** 売上1,700,805円／平均月額給料30,351円（利用者27名）
- **平成29年3月：** 売上1,662,379円／平均月額給料30,350円（利用者28名）

■新堂塾・平成29年度中間報告

単位：円（売上金額、平均給料）　単位：人（支払い人数）

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
ウィングディ	売上金額	13,670	13,072	13,745	14,768	6,087	6,087	6,443	12,940	23,589	18,122	19,083	28,532
	支払人数	5	4	4	4	3	4	4	4	6	6	6	6
	平均給料（一人当たり）	3,170	3,675	3,113	3,113	3,850	2,663	2,800	2,775	3,932	3,020	3,181	4,755
チャレンジ・コヤリバ	売上金額	176,461	188,843	189,960	156,770	168,640	165,711	170,989	156,795	132,179	178,997	245,525	221,683
	支払人数	8	8	8	9	9	9	8	8	8	8	14	15
	平均給料（一人当たり）	20,175	21,769	21,726	15,369	15,369	16,217	17,377	17,504	14,198	19,993	27,025	25,276
あいらぶ工房	売上金額	142,948	167,825	192,432	148,859	206,125	160,033	190,373	170,719	197,023	148,356	177,636	211,690
	支払人数	11	11	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12
	平均給料（一人当たり）	12,948	13,603	13,658	12,625	13,140	9,930	11,827	12,476	12,745	11,973	12,633	14,047
はばたきの丘	売上金額	644,409	739,740	839,058	663,653	683,894	726,601	769,530	829,067	655,444	654,255	699,973	778,617
	支払人数	31	31	31	31	31	31	31	31	31	29	29	31
	平均給料（一人当たり）	11,788	12,286	18,954	16,479	11,942	38,591	14,075	17,065	15,678	15,340	16,680	45,879
きずな福祉作業所	売上金額	99,098	99,821	85,040	105,344	678,105	91,312	88,583	68,384	789,088	81,144	800,172	93,870
	支払人数	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	平均給料（一人当たり）	5,082	4,655	6,074	5,600	9,677	5,391	5,686	5,405	11,622	4,877	18,729	5,954
もろぐち支援センター	売上金額	0	0	0	0	11,693	16,719	20,460	24,353	25,013	25,043	30,992	26,243
	支払人数	0	0	0	0	2	1	1	2	2	3	3	3
	平均給料（一人当たり）	0	0	0	0	2,664	3,394	4,478	7,908	4,986	3,942	5,256	4,681
白いキャンバス	売上金額	287,830	244,846	244,978	291,725	247,752	388,317	398,246	364,524	551,155	239,921	377,649	452,665
	支払人数	18	18	18	18	19	19	19	19	18	17	17	17
	平均給料（一人当たり）	13,261	13,844	13,611	13,378	13,042	13,153	13,374	13,377	13,248	13,753	9,427	13,794
エール	売上金額	1,700,805	1,635,838	1,908,716	1,718,204	1,731,254	1,701,617	1,621,391	1,645,364	1,522,825	1,483,529	1,425,491	1,662,379
	支払人数	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28	29	28
	平均給料（一人当たり）	30,351	30,348	30,348	29,425	30,350	30,350	29,265	30,350	30,350	30,350	30,351	30,350
ワークイン関前	売上金額	1,156,946	1,432,964	1,276,720	1,458,951	1,193,278	1,526,105	1,131,962	1,453,922	1,125,678	987,289	1,363,561	1,663,729
	支払人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
	平均給料（一人当たり）	37,856	36,064	41,903	37,744	32,488	38,072	36,278	39,848	37,858	34,681	39,904	76,468
武蔵境ワーキングセンター	売上金額	1,589,322	1,659,309	1,727,068	1,943,145	1,637,025	1,809,747	1,660,679	1,670,495	1,360,831	1,386,935	1,280,169	1,643,478
	支払人数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	平均給料（一人当たり）	51,384	48,938	56,386	52,348	43,806	51,147	55,900	56,337	47,003	47,786	55,468	62,249

ステップアップセミナー

● 日 時：平成28年６月11日
● 場 所：京都私学会館（京都府京都市）

「新堂塾の活動を知り、多くの施設が利用者さんの給料増額に取り組めるように」。平成28年２月の大阪に続き、６月11日に京都で『第２回ステップアップセミナー』を開催しました。新堂塾のアドバイザーである東京学芸大学の菅野教授が「利用者さんの能力を高めるアプローチと現場づくり」について講演。新堂塾長は「職員には、新しい仕事を獲得する営業努力も必要です。利用者さんのためになにができるかを考えましょう」と伝えました。お二人に学び実績を上げた元塾生３人は「給料が増えると利用者さんの仕事振りも表情も変わってきます」と体験談を報告。「この喜びをみなさんも新堂塾の同窓生となって共有してほしい」と約150名の参加者に呼びかけました。

フォローアップ研修

■ フォローアップ研修運営員会

● 日 時：平成28年11月11日
● 場 所：TKP有楽町会議室（東京都中央区）

新堂塾（障がい者の働くちから革新塾も含む）の卒業者が中心となって開催しているフォローアップ研修。その目的は「塾で学んだことを活かし給料増額に向けて、いま卒業者たちは、どのような取り組みを進めているのかを報告し合い、アイデアを共有する」ことです。より多くの卒業者に参加してもらいたいと６名の卒業者が実行委員となり「フォローアップ研修運営員会」を結成。平成29年２月開催予定の「第２回フォローアップ研修会」の事前準備で委員が発表する内容を報告し、新堂塾長、菅野教授、瀬戸理事長の講評を受けました。

■ フォローアップ研修運営員会の内容

日　程	プログラム
11月11日	■ 実行委員実践報告（６名） ■ 講評（菅野教授・新堂塾長・瀬戸理事長） ■ 質疑応答／今後の運営について

■ 第２回フォローアップ研修会

● 日 時：平成29年２月３・４日
● 場 所：（社福）新潟市中央福祉会（新潟県新潟市）

（社福）新潟市中央福祉会の『ワークセンター日和山』で開催した第２回フォローアップ研修会に９施設が参加しました。初日は、ワークセンター日和山のクリーニング作業現場を見学。「乾燥機が故障し新しい機械を購入しました。いまの課題は、プレス作業ができる利用者さんを育てること。新規のお客様の獲得や経費削減も進めています」と報告しました。他にも、プラスチックダンボールの組立てに売上が偏り過ぎていたため、営業をかけ新しいDMの取引先を増やし全体の売上も伸ばした塾生など、２日間にわたり参加者たちが成果を報告。菅野教授と新堂塾長よりそれぞれアドバイスをもらいました。

■ 第２回フォローアップ研修会の内容

日　程	プログラム
２月３日	■ ワークセンター日和山の作業見学 ■ 卒業者報告／新堂塾長・菅野教授による質疑
２月４日	■ 卒業者報告／新堂塾長・菅野教授による質疑 ■ 菅野教授講評／新堂塾長の最新の取り組み報告 ■ 次回へ向けて

全Aネットへの緊急助成について

全Aネット※は、全国の就労継続支援A型事業所の実態調査を進めています

近年、障がい者の就労形態は多様化しています。その一つである「就労継続支援A型事業」は、障がい者と雇用契約を結び、労働者として身分保障をする制度です。近年、急激に事業所が増加する中、労働契約と福祉サービスを両立する上で現場には戸惑いがあり、他にも短時間利用、最低賃金の減額特例（労働能力評価）、時給の給与体系、都道府県別の事業者数のバラツキなどの課題があるとされています。事業所のタイプも一般就労に近い形態を目指すところ、就労移行を主目的にするところ、B型とほとんど変わらないところなど違いがあります。そこで働く利用者さんにも、労働能力はあるが人間関係をうまく構築できない方、重度の障がいでも特定の作業なら行える方、短時間労働なら可能な精神障がいの方などさまざまです。

こうした状況から、A型事業所の実態は正確に把握されておらずいまだ推測の粋を出ていません。そこで「全Aネット」が進めている全国のA型事業所の実態調査の予備調査に対し、ヤマト福祉財団が緊急助成しました。

> ※『全Aネット＝（NPO）就労継続支援A型事業所全国協議会』は、障がい者の就労を支援する企業や福祉施設、NPO法人などが集い、障がい者が雇用契約を締結して働く「A型事業所」の「在るべき姿」を全国的な情報交換と論議を通じて検討し、政策提言につなげる全国組織です。

■ A型事業所全国実態調査・予備実態調査の実施について

●調査概要

○**目的：**就労継続支援A型事業の実態を調査し、事業を取り巻く現状と課題を把握。事業の継続・発展に向けての共通課題を明らかにし、事業および制度の改善を図ります。

○**位置付け：**予備調査は、今後予定する本格調査のプレ調査として実施。予備調査の結果を検証した上で、本格調査実施についての問題点・課題を明らかにします。

○**調査対象：**全Aネットの会員事業所180ヵ所および神奈川、千葉、福井、岡山、福岡、沖縄の非会員事業所525ヵ所の計705ヵ所へ平成28年2月に調査票を送付し、郵送で回答を依頼しました。

○**回答数：**平成28年3月までに、会員82ヵ所、非会員75ヵ所の計157ヵ所から回答を得ました。

※回収率：会員45.6%、非会員14.3%、全体22.3%

●調査報告

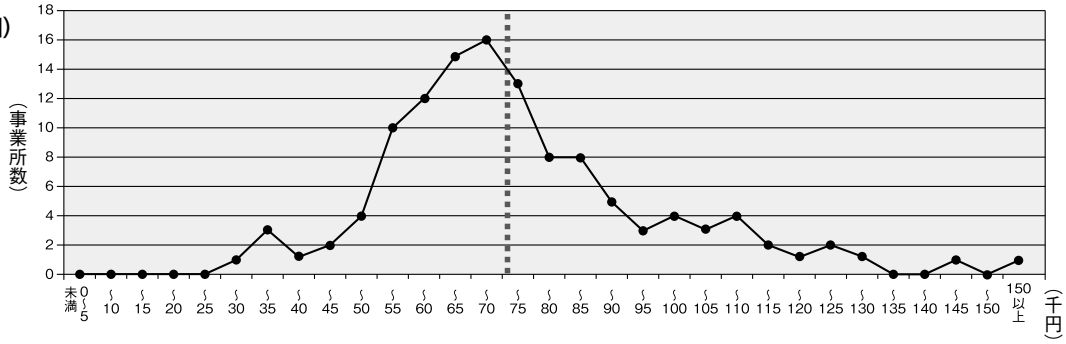
・34の設問からなるアンケートを会員・非会員に実施し、その集計結果をグラフ化し、そこから読み取れる内容をコメントしました。

・平成26年度決算状況とその他設問項目の集計結果のクロス集計を行い、事業経営状況と他項目の相関関係についてまとめました。

・平成26年度利用者平均月額給料の集計結果とその他設問項目の集計結果のクロス集計を行い、平均月額給料と他項目との相関関係についてまとめました。

●報告データの例

（平均月額給料の分布図）



回答のあった120事業所の利用者1人あたりの平均給料月額は72,288円となっています。厚生労働省調査の平成25年度の平均月額給料は69,458円となっており、1年度異なるが金額では2,830円上回っています。

自然栽培パーティ第1回全国フォーラム

● 日 時：平成28年5月20・21日
● 場 所：豊田市福祉センター／四郷町千田の田んぼ（愛知県豊田市）

全国から約500名が参加したフォーラムを、ヤマト福祉財団が助成しました

5月20・21日、自然栽培パーティが愛知県の豊田市福祉センターで『自然栽培パーティ第1回全国フォーラム』を開催しました。フォーラムには、全国の福祉関係者、農業生産者、消費者など約500名が集い、夢へのかけ橋実践塾の熊田塾生たちも参加しました。

自然栽培パーティの佐伯康人代表は「加盟施設は、北海道から沖縄まで全国に広がってきました。無農薬・無肥料・無除草剤の自然栽培でつくったお米は付加価値が高く、利用者さんの給料増額につながります。安心・安全な食材を障がい者と一緒につくり、日本を健康にしていきましょう」と挨拶。瀬戸理事長は「日本には、富山県ぐらいの耕作放棄地があると言われています。この土地を障がいのある方の力で再生できたら、素晴らしいですね」と話しました。

記念講演は、「奇跡のリンゴ」で有名な木村秋則氏です。「誰もが無理だと言ったリンゴの自然栽培を、私は26年かけて実現しました。そんな私の栽培方法が、障がいのある方のために役立っていることを、誇らしく思います。私は、自然の力を借りて農作物が育つお手伝いをしているだけです。農薬も肥料も使っていないので、私のリンゴは、自然の栄養しか吸収していません。日本は医学先進国ですが、病気の多い国でもあります。それは、長年、食してきた食べ物に含まれる人工のなにかが影響しているせいかもしれません。安心・安全な食べ物を栽培し、供給することで、日本を健康的にリニューアルしていきたいですね」と木村氏は述べました。

木村氏の自然栽培は、多くの福祉施設に受け継がれ、米づくりを実践した施設が成果を発表しました。平成27年にヤマト福祉財団は、佐伯氏をリーダーとした「水稲自然栽培チャレンジ」を実施しましたが、参加施設の一つ（株）アップルファーム　大地の恵みは、報告した施設の中で最も平均給料が高く6万4000円の実績を上げています。各施設が数字には見えない苦労や喜びなどを報告すると、会場からは拍手が贈られました。

パネルトークでは、豊田市で水稲、野菜、果樹など幅広く自然栽培を行う農業生産法人みどりの里の野中慎吾氏が、農家の視点から農福連携の体験を紹介。「A型、B型の事業所の利用者さんに仕事を手伝っていただいています。工夫したのは、一つの仕事を細かな作業に分けることで、全員が参加できるようにすることです。最初は、無口だった利用者さんが、仕事を覚える度に明るくなり、いまではスタッフにイチゴの収穫方法を教えるまでになっています」と話しました。佐伯氏も「農業に従事する者のことを百姓と呼びますが、

文字通り百の仕事があり、それぞれに適した仕事がきっと見つかるはずです」と解説。最後に木村氏が「いま日本の農業は転換期を迎えています。障がいのある方と一緒に、日本から新しい食文化を、栽培方法を発信し、世界中に農業ルネサンスを起こしましょう」と呼びかけました。

会場の前で開催されたマルシェでは、自然栽培でつくられた野菜やお米を販売。飛ぶような売れ行きが、消費者の安心・安全な食べ物への関心と期待の高さを証明しています。

翌日は、佐伯氏の米作り講座として田植え会を開催。熊田塾塾生や瀬戸理事長が、多くの参加者とともに泥田に入り、水稲自然栽培独自の田植えを体験しました。この自然栽培パーティ第1回全国フォーラムをヤマト福祉財団が助成しています。

■ 自然栽培パーティ第１回全国フォーラムの内容

日　程	プログラム
5月20日	■ 開会挨拶　佐伯代表／瀬戸理事長 ■ 記念講演「奇跡のリンゴが生み出す新しい奇跡」木村氏 ■ 自然栽培パーティ活動報告 ■ パネルトーク「障がい者と食と地方から、日本を変えよう」
5月21日	■ 佐伯氏の米づくり講座・田植え会（四郷町千田の田んぼ）

受賞　自然栽培パーティが、環境省の第4回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞を受賞

自然栽培パーティは、第15回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞（平成26年度）の佐伯氏を代表として平成28年4月1日に「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」として法人化しました。なお、平成28年11月28日には、環境省の第4回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞を受賞しています。

● 自然栽培パーティ参加福祉施設一覧（53施設）

（平成29年3月10日現在）

地　域	事業所名
北海道	就労支援センターしずく／（株）SEED
東　北	はらから蔵王塾／鶴岡市立愛光園／六丁目農園／ナチュラルファームそらまめ／ふぁいん／こころんファーム
関　東	生きてる野菜畑／（社福）はる／報徳ワーカーズ／障害福祉サービス事業所 菜の花／すっぱぁふぁ～む／埼玉福興（株）／（NPO）多摩草むらの会 夢畑
中　部	むもんカンパニー／むもんカンパニー青い空／障がい者支援施設むもん／就労支援舞星 ジョブ長久手／くりのみ園／NATURAL GARDENくりのみ／きざはし／松代三アファーム／とものわ／（株）DAI／大垣市立かわなみ作業所／ふるぼ（びすた～り農園）／生活介護事業所　奏楽／ぽかぽかワークス／障害福祉サービス事業所 明日香／Feel／サンスマイルビレッジ 菜園'S／ゆい
関　西	おもや／こいしろの里／ウッディ伊香立
北信越	リハスファーム／就労支援事業所 米ライフ
中　国	ゆめサポート・バク／JOBプラスはんど／いずもえん／ゆめの森こども園
四　国	まるく（株）／メイドイン青空
九　州	樹樹／ほっとステーションおひより／国分地域福祉事業所 ほのぼの／さんすまいる伊都／楽しい職場（有）／ゴーマル／JOB陽だまり工房／特別養護老人ホーム さんすまいる唐原
沖　縄	就労継続支援A型 TEAM VILLAGE

● 最新データ

（平成29年3月10日現在）

○障　が　い　者　数：1,116人（農業に従事する障がい者数：487人）

○自然栽培の農地面積：364,191㎡（田んぼ：143,868㎡／畑：220,323㎡）

○2015年平均月額給料：29,942円（農業分野の平均月額給料：22,977円）
※就労継続支援A型、B型、生活介護事業所を含む

※上記データは53施設中、アンケートに参加した40施設の回答をもとに作成しています。

経済的自立力達成事業所紹介サイト「夢へのかけ橋」報告

■月額平均給料３万円以上を支給している事業所を先行事例として紹介

平成 26 年 11 月 27 日に開設した『経済的自立力達成事業所紹介サイト 夢へのかけ橋』では、「月額平均給料３万円以上を支給している事業所」を模範的な先行事例として紹介。平成 28 年度は、３事業所の紹介を加えました。

●（NPO）Creer

■事業所紹介（基本情報）

事業所紹介

基本情報　2015年度　　更新日：2016年08月04日

	対象事業売上総額（年間）	26,685,224 円	対象事業売上総額（月額）	2,223,769 円
	対象事業給料支給総額（年間）	5,216,898 円	対象事業給料支給総額（月額）	434,742 円
弁当販売・配食	対象事業月額平均給料	37,595 円	対象事業人数	13 人

（NPO）　Creer　　徳島県徳島市昭和町

実践塾

塾名・参加年／橋元塾　2014年～2016年

事業形態	就労継続B型	利用者種別	知的 精神 身体 混合
事業所のある環境	Creerは、徳島の中心地、徳島県庁すぐそばに位置し、市役所、県警本部、官公庁、事業所が多い環境にあり、通勤通学等の交通量も多い場所で、住宅も多い。同業他社も多い。		
利用者合計人数（事業所全体）	13人	年度月額平均給料（事業所全体）	37,595円
ホームページ・連絡先等	http://www.creer.or.jp/ 徳島県徳島市昭和町3丁目35-1　徳島県労働福祉会館1F		

アクセスマップ

売上・月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）

（単位：円）

		2016（H28）6月単月	2015（H27）年度	2014（H26）年度
売上（年間）	対象事業	2,388,770	26,685,224	22,886,221
	その他	0	2,490,040	759,098
	合　計	2,388,770	29,175,264	23,645,319
人数（期末）	対象事業	11	13	13
	その他	-	-	-
	合　計	11	13	13
給料支給総額	対象事業	550,339	5,216,898	5,112,585
	その他	-	-	-
	合　計	550,339	5,216,898	5,112,585
月額平均給料	対象事業	50,031	37,595	32,773
	その他	-	-	-
事業所全体月額平均給料		50,031	37,595	32,773

※期末総人数

対象事業に対する設備投資額

（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料・賃料
土地	賃貸		600,000
建物	賃貸		1,200,000
設備	購入	19,881,176	
備品	購入	1,723,485	
その他			
合計	-	21,604,661	1,800,000

資金内訳

（単位：千円）

自己資金	9,604,661
借入金	12,000,000
ヤマト助成金	
その他助成金	
合計	21,604,661

■事業所紹介（活動内容）

更新日：2016年08月04日

1日1桁だった弁当販売数を300個以上に

事業展開の経緯

■個じ続けているのは、利用者さんの可能性

2007年に徳島県徳島市で開所したNPO法人Creer（クレエール）。「障がいのある方の可能性を信じて、スペイン語で"信じる=Creer"という名前を付けました」と喜多條雅子理事長。現在、１日平均約300個の日替わり弁当を製造販売し、2016年6月の売上は238万3770円、利用者さんの平均給料は5万31円です。

Creerは、地元徳島特産の野菜を活かした手づくり料理の日替わり弁当とランチのレストランが事業の中心で、開所時の１日の弁当の販売数はわずか１桁。その後、営業努力を重ねて１日約150個と販売数を伸ばし、利用者さんの平均月額給料を2013年度は約２万3500円、2015年度には3万2000円、そして2016年6月、ついに5万円を超えました。

徳島県労働福祉会館別館内にオープンしたレストラン

■実践塾でエキスパートのノウハウを吸収

喜多條理事長は「もっと多くの利用者さんに働く場と高い給料を提供したい」と、弁当・配食サービス事業に特化した夢へのかけ橋実践塾・橋元塾に参加。橋元塾長より具体的なアドバイスを受けながら、メニューの改善、原価管理、在庫管理、そして利用者さんの能力向上に力を注ぎ、いまでは多い日で約300個の弁当を製造販売しています。

利用者さんの能力に合わせた作業で訓練を重ね、成果を上げる

給料増額への取り組み

■自己満足ではない、お客様目線でのメニュー改善

「福祉施設がつくるお弁当だから買ってみるのではなく、美味しいからまた買いたくなるお弁当を」。Creerは、女性客を中心に地元の食材を使用したヘルシー弁当を提供しています。しかし、思うようにリピーターを拡大できていないのが悩みでした。

入塾して約５ヵ月後、橋元塾の見学勉強会でCreerを訪れた橋元塾長は「なぜ結果につながっていないのか、自分たちの自己満足やこだわりで終っていないか、本当にお客様の求めているお弁当を提供できているのかを見直してほしい」とアドバイスします。

事業所の側には県庁や企業ビルもあり、そこで働く多くの男性が来店しているとわかり、唐揚げやハンバーグ、トンカツなどのボリュームある弁当もメニューに加えることにしました。また「お弁当は見た目も大事」との橋元塾長の意見に、女性が喜ぶ華やかさ、男性にうけるガッツリ感などをアピールする詰め方や彩りも工夫。塾で学んだ弁当の記録写真や受注表を保存する方法も取り入れ、顧客管理や販売促進、次のメニュー改善に役立てていきました。すると次第にリピーターが増えはじめ、お客様目線でつくる重要性を実感します。

盛りつけ技術も上がり、1日に300個製造へ

●（NPO）夢・さぽーと　就労継続支援Ａ型事業所　お弁当のかず味

■事業所紹介（基本情報）

事業所紹介

基本情報　2015年度　　更新日：2016年07月12日

	対象事業売上総額（年間）	475,025 円	対象事業売上総額（月額）	59,378 円
	対象事業給料支給総額（年間）	262,105 円	対象事業給料支給総額（月額）	32,763 円
弁当販売・配食	対象事業月額平均給料	51,760 円	対象事業人数	5 人

（NPO）夢・さぽーと　就労継続支援Ａ型事業所お弁当のかず味　　熊本県宇城市松橋町

実践塾

助成金種類・金額／27年度「夢へのかけ橋」モデル化資金　300万円
助成内容／弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ資金
塾名・参加年／横元塾　2014年～2016年

事業形態	就労継続A型　就労移行支援	利用者種別	精神　その他
事業所のある環境	熊本県中南部に位置する地域、天草に抜ける分岐点。		
利用者合計人数（事業所全体）	15人	年度月額平均給料（事業所全体）	6,856円
ホームページ・連絡先等	熊本県宇城市松橋町402-4		

アクセスマップ

売上・月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）　（単位：円）

		2016（H28）4月単月	2015（H27）年度	2014（H26）年度
売上（年間）	対象事業	660,920	475,025	0
	その他	206,130	211,850	255,247
	合　計	857,050	686,875	255,247
人数（期末）	対象事業	5	5	0
	その他	9	10	17
	合　計	14	15	17
給料支給総額	対象事業	302,843	262,105	0
	その他	521,760	560,717	1,033,075
	合　計	824,603	822,822	1,033,075
月額平均給料	対象事業	60,569	51,760	-
	その他			
事業所全体月額平均給料		58,900	6,856	5,064

※対象事業は2015年8月からスタートしているので、2015年度の数字は8月～2016年3月になります。

対象事業に対する設備投資額　（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料・賃料
土地	賃貸		4,476
建物	賃貸		
設備	賃貸	10,500	1,332
備品	購入		
その他			
合計	-	10,500	5,808

資金内訳　（単位：千円）

自己資金	
借入金	7,500
ヤマト助成金	3,000
その他助成金	
合計	10,500

■事業所紹介（活動内容）

更新日：2016年07月12日

新規弁当事業で月給６万円を超える月も

事業展開の経緯

※2015年８月、待望の弁当事業「かず味」を開所

夢へのかけ橋実践塾 横元塾で、初めて手がける弁当・配食サービス事業に挑戦しているNPO法人夢・さぽーと。2015年８月には、塾生を対象にした事業改革モデル化資金を活用することで、厨房の改装、設備や配送車の購入などを行い、弁当事業部「かず味」を開所しました。

ところが１年も経たない2016年４月14日に熊本地震が発生。本棚などが倒れ事業所は大変な状況でしたが、利用者さん、職員全員の安否を確認できました。電気や水道なども３日後には復旧し、19日にはおにぎり弁当などの販売から再開。現在は、通常通り営業でき、避難所暮らしから解放された利用者さんも元気に仕事に就いています。

オープンに際しての正式の神事

※横元塾で学び、未経験の弁当・配食サービスに挑戦

それまで夢・さぽーとでは、味噌と関連商品の製造・販売、アクセサリーの製作、地元農家の手伝いなどを行っていましたが、売上は伸び悩んでいました。"お金がなくて買えないから、ほしいという気持ちもなくなった"と話す利用者さんの声を聞いた福原和美理事長は「利用者さんの生活を給料アップでおす改善してみせる」と決意し、横元塾に入塾。ところが、横元塾で弁当・配食サービス事業の経験がなかったのは夢・さぽーとだけでした。

「実績がないため、塾での成果発表などでは肩身が狭かった」と言いながらも「一番最後を走っているおかげで、先行している塾生の成功や失敗を見聞きし、たくさんのノウハウを吸収できたのはラッキーでした」と福原さん。実践塾で学んだ弁当・配食サービス事業の知識やノウハウを活かすとともに、PDCAサイクルで明確な目標数字を出し、全職員でアイデアを出し合いしながら売上拡大に取り組んでいます。弁当・配食サービス事業をはじめる前の2014年の月額平均給料約４万8000円に対し、2016年４月には６万円を超える給料を支給しました。

お弁当づくりを行う利用者さん

給料増額への取り組み

※塾長の施設へ、職員を連れて利用者さんの姿を見学

「まったくのゼロというより、むしろマイナスからのスタートでした」と話す福原さん。右も左も分からない新しい事業を成功させるには、まずは職員全員の理解と協力を得ることが必要です。そこで百聞は一見に如かずと、横元塾長の施設へ職員と見学に伺いました。

「料理長とはメニューづくりの考え方にズレがありましたが、塾長の施設で利用者さんの働く姿を見た後、じっくりと話し合い、なにを目的にお弁当事業をはじめるのかをしっかり理解してもらいました」。こうしてでき上がった弁当を地域の方に試食・評価いただき、彩りや味を改善。「毎日食べても飽きがこない栄養バランスを考えた・健康弁当」として方向性を固めます。開所準備にあたっては「最初は無理をせずに毎日200個つくれる規模で」との塾長の助言を受けて計画を立て、一つひとつ確実に形にしました。

毎日食べても飽きのこないメニューの開発

●（社福）武蔵野千川福祉会　チャレンジャー

■事業所紹介（基本情報）

事業所紹介

基本情報　2015年度　　更新日：2016年09月16日

	対象事業売上総額（年間）	88,849,614 円	対象事業売上総額（月額）	7,404,135 円
	対象事業給料支給総額（年間）	25,245,000 円	対象事業給料支給総額（月額）	2,103,750 円
封入・封緘	対象事業月額平均給料	77,917 円	対象事業人数	27 人

（社福）武蔵野千川福祉会　チャレンジャー　　東京都武蔵野市境南

小倉昌男賞

第9回ヤマト福祉財団小倉昌男賞

事業形態	就労継続B型　就労移行	利用者種別	知的
事業所のある環境	東京都の武蔵野市は東京駅から快速で約30分。大学や学校が多くあり、緑の多いところです。事業所は住宅が建ち並ぶ、さびれた商店街にあります。		
利用者合計人数（事業所全体）	27人	年度月額平均給料（事業所全体）	77,917円
ホームページ・連絡先等	http://www.musashino-senkawa.com/ 東京都武蔵野市境南4-20-5		

アクセスマップ

売上・月額平均給料実績の推移（人数は事業に関わる人数です）　（単位：円）

		2016（H28）7月単月	2015（H27）年度	2014（H26）年度
売上（年間）	対象事業	8,114,755	88,671,295	65,696,201
	その他	19,250	178,319	145,103
	合　計	8,134,005	88,849,614	65,841,304
人数（期末）	対象事業	30	27	25
	その他	-	-	-
	合　計	30	27	25
給料支給総額	対象事業	2,441,600	25,245,000	21,276,075
	その他	-	-	-
	合　計	2,441,600	25,245,000	21,276,075
月額平均給料	対象事業	81,387	77,917	70,920
	その他	-	-	-
事業所全体月額平均給料		81,387	77,917	70,920

※期末処人数

対象事業に対する設備投資額　（単位：千円）

項目	購入/賃貸	投資額	リース料・賃料
土地			
建物	賃貸		12,124
設備	購入	1,336	
備品			
その他			
合計	-	1,336	12,124

資金内訳　（単位：千円）

自己資金	
借入金	
ヤマト助成金	
その他助成金	
合計	0

■事業所紹介（活動内容）

更新日：2016年09月16日

約７万8000円の給料も１つの通過点

事業展開の経緯

※チャレンジを繰り返して、いまを築く

1987年に開所したチャレンジャーは、六つの事業所を持つ（社福）武蔵野千川福祉会の事業所の一つです。現在、DMの封入封緘を事業の柱に軽易印刷やリサイクル事業などを行い、2015年度は27名の利用者さんに平均月額給料7万7917円を支給しています。

全事業所でDMの封入封緘を行う（社福）武蔵野千川福祉会では、事業所により仕事の難易度や給料などを段階的に変えて『機能分化』という仕組みをつくりました。利用者さんは、働きながら仕事に対する姿勢・技術・コミュニケーション能力などを高め、成長レベルに合わせて次の事業所へとステップアップしていきます。

「能力を高めてきた利用者さんは、最終的にチャレンジャーで一般企業への就職を目指します。この機能分化というシステムも、一足飛びに実現できたわけではありません。よりよい仕事を、働きやすい仕事場をと模索を続け、一つひとつチャレンジし続けた結果、いまがあります」と話すのは、千川福祉会の常務理事であり、施設長の新堂薫さん。新堂さんは、ヤマト福祉財団が行う夢へのかけ橋実践塾で塾長も務めています。

立ちながら仕事をするなど、さまざまなアイデア、工夫で環境を整えてきたチャレンジャー

給料増額への取り組み

※多くの利用者さんが参加でき、生産性を上げる方法

「私が千川福祉会に勤めはじめた1985年当時行っていたのは、ホッチキスの組立てです。納期もなくのんびりとした仕事で、利用者さんの平均月額給料は1万円ほどでした。ところが、その取引先が倒産してしまい、慌てて新しい仕事を探していくことに。そこで出会ったのがDMの封入封緘です」。

DMの封入封緘が、それまでの仕事と大きく違うのは、たくさんこなすほど給料を増額できることにあります。「DMの封入封緘を事業の柱にし、単価の安い内職や利用者さんが力を発揮できない仕事、高い給料につながらない仕事などからは卒業していきました」と新堂さん。仕事を変えたことで、利用者さんは「もっと高い給料を」「私もこの仕事に参加したい」と意欲的に変わってきました。その気持ちに応え、生産性を上げ、受注量を増やしていくために取り入れたのが「ライン・工程方式」です。

「封入封緘作業を一人ですべて行うのではなく、細かい工程に分け、多人数で分担・連携できるようにしました」。これにより多くの利用者さんが仕事に参加でき、生産性も上げることに成功。新堂さんは、この"ライン・工程方式"を実践塾で指導しています。

丁合、封入、封緘等、作業を分担して一つの仕事を完成へ

障がい者のクロネコDM便配達事業　・進捗状況・

〈取り組み経過〉

平成28年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国２ヵ所の施設（山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
平成28年8月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」をリニューアル。 ヤマト運輸（株）品質向上推進部と連携をとり、社内に9,080部納品。
平成27年10月～11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国２ヵ所の施設（熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区）で開催。
平成27年4月	新サービス「クロネコDM便」開始。 「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へと変更。
平成27年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
平成26年10月 ～平成27年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国３ヵ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。
平成25年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国３ヵ所の施設（神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市）で開催。
平成24年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国４ヵ所の施設（岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市）で開催。
平成23年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国４ヵ所の施設（大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市）で開催。
平成22年12月12日	クロネコメール便配達　本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の９施設23人が発表を行った。また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。
平成22年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催のミニ報告会）を開催。 全国４ヵ所の施設（神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区）で開催。
平成22年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ。 全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。
平成22年6月19日	クロネコメール便配達　本人による特別報告会を大分で開催。大分県でメール便配達事業を行う９施設が参加。23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。

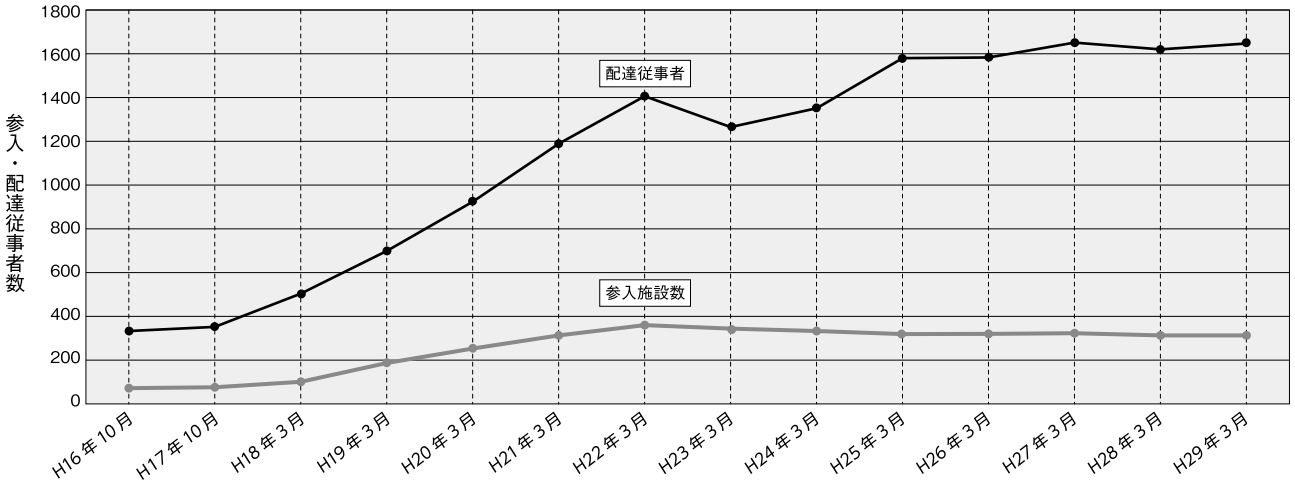
平成21年12月12日	当事者33名と仙台東北福祉大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名による第５回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。 知的…小学校にメール便を配達に行ったら、「頑張れよ」と声をかけてくれた校長先生は、昔僕の担任の先生でした。 知的…お客さんからの「ありがとう」に、「どういたしまして、仕事ですから」と挨拶します。 精神…仕事を初めてから５年間、「誤配ゼロ」です。もっともっとメールを配りたい。 精神…プロの自覚を持って働いている。アマチュアじゃない。これからも困難を乗り越えて配達していきたい。 等々、報告者の働く自信や誇り、そして喜びの声が、会場の皆さんの心に真っすぐ伝わってくる報告会でした。
平成21年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、関東地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。関東地区157名からなる参加者に、５都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
平成21年5月～6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版ＤＶＤ」の制作と社内外への配布（200枚）。本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を図るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸（株）全国支店長および主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
平成21年3月16日	全国47都道府県全参入。
平成20年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278ヵ所・配達従事者1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16％の障がいのある人達が一般の会社に就職。
平成20年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。さらに、実学臨床教育推進室の学生７名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。
平成20年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価をうける。
平成20年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10ヵ所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
平成20年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。
平成20年2月28日	（社団）日本フィランソロピー協会による第５回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業で取り組まれている活動として高い評価をうける。
平成20年1月	ヤマト運輸（株）木川　眞社長が福祉施設を訪問。　「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ＆ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』（町田市）を訪れ、メイトの皆さん（５名）との座談会参加と現場での配達状況を視察。

平成20年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。潜在能力および顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
平成19年12月 ～平成20年1月	12月26日時点での参入施設231ヵ所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。
平成19年12月	障害者週間事業イベントとして、（財）ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会（13名のメイトさんが発表）「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32ヵ所の施設・作業所（秋田・福島・宮城）から約100名が参加した。
平成19年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん８名を紹介。
平成19年8月	ヤマト運輸（株）が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
平成19年8月	（社団）日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介される。
平成19年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヵ月で1,000名を達成。
平成19年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部配布。
平成19年4月	月刊誌「マリ・クレール」５月号特別付録（企業のCSR活動に焦点をあてた特集）にメール便配達事業が紹介される。
平成19年3月	「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介。
平成19年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンケージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者５名とディレクター８名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。
平成18年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。障害者週間（12月３日～12月９日）期間中に、各地で開催されたシンポジュウム会場において配布された。（「障害者白書」テーマ、“共生する社会”について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子）
平成18年 10月10日～12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジュウムおよび東京都第三セクター企業２社とのコラボ企画展示を開催。（ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映）
平成17年12月	障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。 ・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。 ・施設・作業所のメイトさん８名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。 （2008年12月現在　14,000部配布）

平成17年10月	参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。
平成17年7月	啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。 （2008年12月現在　16,000部配布）
平成17年3月	社内外からの事業問合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。
平成17年2月	軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。
平成16年10月	民間支援四団体加盟の全施設・作業所（3,520ヵ所）に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。 WIJメール便委員会発足（日本セルプ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体）

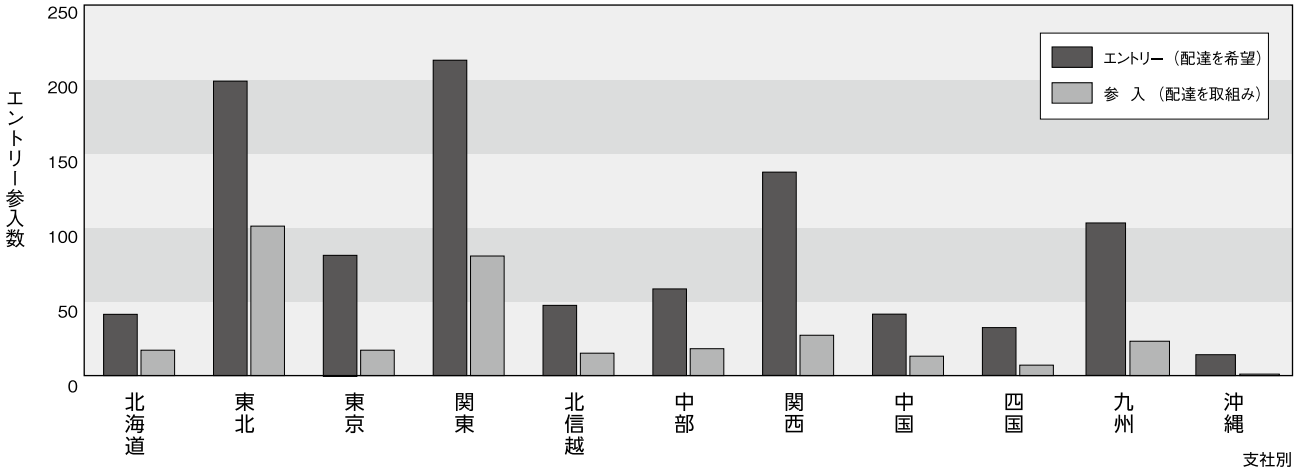
■進捗状況補足資料　平成 29 年 3 月 31 日 現在（図表 1・2・3）

図表 1.　参入施設数/配達従事者数推移　313施設/1,647名

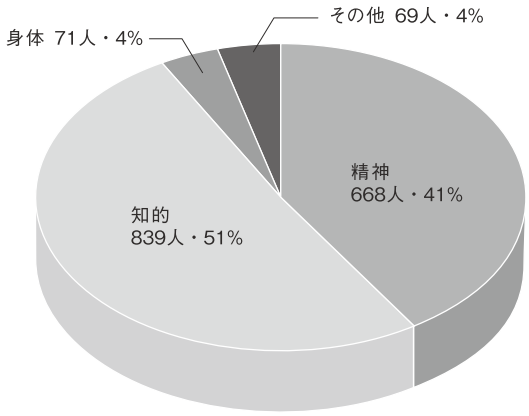


※平成 22 年 7 月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表 2.　全国支社別　エントリー/参入状況　1,021施設/313施設



図表 3.　障がい別配達従事者人数とその割合



『障がい者のクロネコDM便配達事業』参入施設一覧　313施設

施設・事業所名	住所
わーく・ひまわり	北海道札幌市豊平区
はんど&はんど	北海道札幌市手稲区
自由工房	北海道札幌市手稲区
いちもく神居	北海道旭川市
すまいる	北海道旭川市
ライフサポートQIRA	北海道虻田郡ニセコ町
ワークステーション輝	北海道虻田郡倶知安町
前田の家	北海道岩内郡共和町
オフィスきらり	北海道釧路市
はばたき	北海道釧路市
やまびこ	北海道恵庭市
マイウエイ	北海道小樽市
わーくさぽーと　のどか	北海道上川郡比布町
青空	北海道深川市
ハートフルネットワークほほえみ	北海道千歳市
ゆうび	北海道千歳市
きずな	北海道帯広市
クローバー	北海道帯広市
若草友の会共同作業所	北海道滝野川市
コミュニティハウスしずない	北海道日高郡新ひだか町
夕陽が丘	北海道函館市
おはよう	北海道函館市
美幌地域就労支援センター	北海道網走郡美幌町
青松園	青森県五所川原市
創	青森県五所川原市
しあわせ農園	青森県五所川原市
平成の家	青森県弘前市
ワークハウスとわだ	青森県十和田市
ベア・ハウス	青森県上北郡おいらせ町
夢香房すてっぷ	青森県青森市
ふうあの家	青森県青森市
青森うとうの園	青森県青森市

施設・事業所名	住所
柿の木苑	青森県八戸市
田面木の家	青森県八戸市
エンジェルハウス	青森県八戸市
NPO法人太陽の園	秋田県横手市
ひまわり社	秋田県横手市
出発の家	秋田県鹿角市
NPO法人鹿角親交会	秋田県鹿角市
いなほ作業所	秋田県秋田市
ドリームカンパニーあゆみ	秋田県秋田市
サンあんぐる	秋田県仙北郡美郷町
愛仙	秋田県仙北市
工房ＪＯＹさあくる	秋田県大館市
ふれあい作業所	秋田県大仙市
ほっぺ	秋田県大仙市
サンワーク大曲	秋田県大仙市
男鹿浜辺の里	秋田県男鹿市
コスモス	秋田県能代市
根分け会	秋田県由利本荘市
千厩ワークプラザ	岩手県一関市
えさしふれあい工房	岩手県奥州市江刺区
つくし共同作業所	岩手県釜石市
りんりん舎	岩手県岩手郡滝沢村
あすリード本舗	岩手県久慈市
さくら製作所	岩手県紫波郡紫波町
あさあけの園	岩手県紫波郡矢巾町
杜の家	岩手県盛岡市
盛岡杉生園	岩手県盛岡市
となんカナン	岩手県盛岡市
のびやか丸	岩手県盛岡市
生生学舎アダージョ	岩手県盛岡市
ゆうき社	岩手県大船渡市
ポパイの家	岩手県八幡平市

施設・事業所名	住所
いわて共生会あけぼの	岩手県北上市
はーとらんど	岩手県北上市
HOPE GARDEN 気仙沼	宮城県気仙沼市
とれいん	宮城県気仙沼市
七ヶ浜町あさひ園	宮城県宮城郡七ヶ浜町
ＮＰＯステップアップ	宮城県栗原市
コスモス	宮城県石巻市
こころ・さをり	宮城県石巻市
みんなの夢広場	宮城県石巻市
桜・さくら	宮城県石巻市
しじゅうからアットワーク	宮城県仙台市宮城野区
ハートライフせんだい　創働舎	宮城県仙台市宮城野区
ワークつるがや	宮城県仙台市宮城野区
わ・は・わ若林	宮城県仙台市若林区
わ・は・わ沖野	宮城県仙台市若林区
Ｌｉｎｋｓ　五橋	宮城県仙台市若林区
こころや	宮城県仙台市青葉区
わ・は・わ広瀬	宮城県仙台市青葉区
つなぎっこ	宮城県仙台市青葉区
ぱーとなー	宮城県仙台市青葉区
みんなの広場・工房きまち	宮城県仙台市青葉区
ほっとスペース歩歩	宮城県仙台市泉区
アトリエ・ソキウス	宮城県仙台市泉区
みどり工房永和台	宮城県仙台市泉区
ポッケの森	宮城県仙台市太白区
工房けやき	宮城県仙台市太白区
のぞみ園	宮城県多賀城市
工房パルコ	宮城県大崎市
てとて古川	宮城県大崎市
ビッグちゃお	山形県山形市
ステップアップ霞城	山形県山形市
メディアかがやき	山形県山形市
ハーモニー	山形県山形市
グループ未知	山形県山形市
ワークランドべにばな	山形県山形市

施設・事業所名	住所
あらた	山形県酒田市
さくらはうす	山形県新庄市
手づくりクッキーおからや	山形県鶴岡市
大けやきの家	山形県東根市
ひまわり園	山形県東田川郡庄内町
ひまわり南陽	山形県南陽市
フラワーコート米沢	山形県米沢市
すてっぷ	山形県米沢市
むすび	山形県寒河江市
チャオ	福島県いわき市
福祉ハウスボネール	福島県伊達市
ゆうゆうハウス	福島県河沼郡会津坂下町
レーベン	福島県会津若松市
ほっとハウスやすらぎ	福島県会津若松市
ペンギン東台	福島県郡山市
ペンギン村共同作業所	福島県郡山市
キャロット八山田	福島県郡山市
工房　アミーコ	福島県須賀川市
ひまわりの家	福島県相馬市
コラッジョ サテライトみはる工房	福島県田村郡三春町
ほっと悠 Ms	福島県南相馬市原町区
きぼうのあさがお	福島県南相馬市鹿島区
なごみの家	福島県白河市
ゆ～もあ～と	福島県福島市
SWELL・IN・FUKUSHIMA	福島県福島市
ワークショップろんど	福島県福島市
あさひスマイル	福島県福島市
Work － SCS 笹谷	福島県福島市
来夢	東京都北区
ことのは修義館	東京都江戸川区
Ｎａｖｉｏけやき	東京都世田谷区
しごとも	東京都世田谷区
千草企画	東京都世田谷区
ＳＵＮ	東京都目黒区
すきっぷ	東京都三鷹市

施設・事業所名	住所
れすと永山	東京都多摩市
結の会	東京都八王子市
千川作業所	東京都武蔵野市
ＭＥＩＭＩ・ＣＬＵＢ	東京都東久留米市
飛翔クラブ	東京都東村山市
共同作業所ふれあい	茨城県ひたちなか市
はあとぽっぽ	茨城県坂東市
らしん盤	茨城県取手市
ゆきわりそう	茨城県水戸市
やまびこ	茨城県水戸市
けやきの家	茨城県石岡市
第２けやき作業所	栃木県芳賀郡芳賀町
いっすんぼうし	栃木県小山市
県東ライフサポートセンター・真岡	栃木県真岡市
あざみ	群馬県前橋市
伊勢崎市桑の実福祉作業所	群馬県伊勢崎市
若草作業所	群馬県館林市
あゆみ舎	埼玉県さいたま市大宮区
つばさ共同作業所	埼玉県さいたま市中央区
生活支援センターこしがや	埼玉県越谷市
志木市精神保健福祉をすすめる会	埼玉県志木市
ゆりのき支援センター	埼玉県春日部市
オハナ	埼玉県春日部市
わっくす	埼玉県春日部市
ライトハウス	埼玉県ふじみ野市
熊谷たんぽぽ	埼玉県熊谷市
ひなたぼっこ	埼玉県熊谷市
コスモス共同作業所	埼玉県鴻巣市
ゆめきた工房	埼玉県坂戸市
あるこ	埼玉県所沢市
ジョブサポートはぶたえ	埼玉県深谷市
はぶたえ	埼玉県深谷市
フレンドリー	埼玉県深谷市
ワークセンターせんば	埼玉県川越市
鶴ケ島ゆめの園	埼玉県鶴ケ島市

施設・事業所名	住所
わかば	埼玉県加須市
ぽれぽれ	千葉県市原市
まぁぶるひろ	千葉県千葉市花見川区
ワークホーム海の実	千葉県千葉市中央区
フロンティア	千葉県千葉市中央区
ワークス未来千葉	千葉県千葉市美浜区
たけの子工房	千葉県千葉市緑区
就労サポートリーブ	千葉県袖ケ浦市
hana	千葉県木更津市
イエローハート	千葉県我孫子市
i 工房	千葉県我孫子市
かんぱす	千葉県船橋市
アーモ	千葉県船橋市
カレーサ	千葉県船橋市
生活工房こだま	千葉県柏市
皆来	千葉県柏市
ぽけっと	千葉県白井市
すずらん	千葉県八千代市
ハンディジャンプ	神奈川県横浜市磯子区
シャロームの家	神奈川県横浜市磯子区
エンジョイメント	神奈川県横浜市磯子区
いぶきの風	神奈川県横浜市戸塚区
りんごの木	神奈川県横浜市戸塚区
フラワーロード	神奈川県横浜市港南区
いろえんぴつ	神奈川県横浜市港北区
ひとつの芽	神奈川県横浜市泉区
エアリアル	神奈川県海老名市
青い麦の家	神奈川県鎌倉市
茅ケ崎第二ワーキングハウス	神奈川県茅ケ崎市
トライフィールドわーくあーつ	神奈川県厚木市
もいちど倶楽部	神奈川県秦野市
セルプきたかせ	神奈川県川崎市幸区
つばさ	神奈川県川崎市高津区
オリーブの木	神奈川県川崎市中原区
第２けやき作業所	神奈川県相模原市南区

施設・事業所名	住所
ありのまま舎	神奈川県相模原市緑区
ハートピア湘南	神奈川県藤沢市
第３藤沢ひまわり	神奈川県藤沢市
るる湘南	神奈川県藤沢市
ワークショップポトピ	神奈川県藤沢市
スイートベリー KATUYAMA	山梨県南都留郡
南アルプス市松の実作業所	山梨県南アルプス市
樫の実作業所	山梨県甲府市
すみよし生活支援センター	山梨県甲府市
むつみの家	山梨県都留市
阿賀野市さくらの会作業所	新潟県阿賀野市
手楽来家	新潟県新潟市江南区
和工房	新潟県新潟市西区
豆の木	新潟県新潟市西区
就労支援事務所きまま舎	新潟県新潟市中央区
希望の家	新潟県長岡市
希望の里つばさ	長野県岡谷市
ワンステップ	長野県松本市
エコーンファミリー	長野県長野市
くろべ工房	富山県黒部市
ゆめさぽーとらいちょう	富山県富山市
ネットワークひこばえ	静岡県静岡市葵区
ウィン作業所	静岡県静岡市葵区
ラポール・チャクラ	静岡県静岡市駿河区
交流広場ライフアート	愛知県名古屋中村区
アネモネ	愛知県名古屋市緑区
おちゃや	愛知県名古屋市天白区
さくらんぼ	愛知県名古屋市中川区
ファンタジスタ名古屋	愛知県名古屋市西区
就労・コミュニティセンター Abbey	愛知県名古屋市昭和区
のぞみ	愛知県名古屋市守山区
アーム	愛知県豊田市
トレーニングスペース　リンク	愛知県半田市
ライム	愛知県大府市
やすらぎの家	愛知県新城市

施設・事業所名	住所
笑い太鼓岡崎	愛知県岡崎市
垂坂山ブルーミング	三重県四日市市
サポートセンターあいぷろ	三重県四日市市
グリンリーフ	岐阜県岐阜市
ワークセンターひびき	大阪府東大阪市
オリーブ	大阪府大阪市平野区
手琴堂	大阪府大阪市都島区
ニコサービス	大阪府大阪市城東区
のぞみ共同作業所	大阪府吹田市
第三工房ヒューマン	大阪府吹田市
ドルフィンハート・ドルフィンアイ	大阪府堺市堺区
高槻ワーク工房	大阪府高槻市
ステラ守口	大阪府守口市
交流広場ライフアート共同作業所	京都府京都市東山区
ＳＡＰふっとぷりんつ	京都府京田辺市
かがやきの杜	京都府京丹後市
たむたむ荘	奈良県奈良市
さわやぎ	奈良県奈良市
来夢 green	奈良県奈良市
もりの実事業所	奈良県北葛城郡広陵町
たんぽぽ作業所	和歌山県紀の川市
岩出サンワーク	和歌山県岩出市
すまいる・フレンズ	兵庫県神戸市須磨区
御影倶楽部	兵庫県神戸市東灘区
ＥｎＴｒｙ	兵庫県神戸市垂水区
ひまわり作業所	兵庫県淡路市
アミアミ	兵庫県洲本市
ぐろ～りあ	兵庫県尼崎市
共同作業所ふる－る	兵庫県尼崎市
雑居工房	兵庫県尼崎市
出愛いの里	兵庫県姫路市
しらさぎ作業所	兵庫県姫路市
自立の家きらら	兵庫県宝塚市
かるべの郷ドリームワークス	兵庫県養父市
ＴＯＤＡＹ	兵庫県三木市

施設・事業所名	住所
西宮作業所クローバー	兵庫県西宮市
てんとうか	兵庫県西宮市
手毬の里　虹	岡山県玉野市
ゆめの木・わかば	広島県福山市
三次共同作業所	広島県三次市
しまなみ瀬戸田夢工房	広島県尾道市
オレンジ作業所	広島県尾道市
あいあい作業所	広島県廿日市市
ジョブサポートぽかぽか	広島県呉市
さわやか工房	山口県周南市
ワークステーション大歳	山口県山口市
ステップあそかの園	山口県山口市
ボン・シャンス	鳥取県倉吉市
コミュニティーハウス楽	鳥取県倉吉市
川本ワークス	島根県邑智郡川本町
かけはし	香川県坂出市
どんどこどん	徳島県坂野郡松茂町
ワークセンタースマイル	徳島県阿波市
第２あおぞら	高知県高知市
いろえんぴつ	愛媛県松山市
ワークハウス睦美	愛媛県伊予市
さるびあ作業所	福岡県筑紫野市
ケアポートがんぎだん	福岡県福岡市西区
夢ぽけっと	福岡県福岡市南区
コリアンダーの家	長崎県長崎市
どんぐり村	熊本県上天草市
そよかぜ福祉作業所	熊本県上益城郡益城町
らぷらんどカフェ	熊本県熊本市中央区
ピープルステーション	大分県大分市
どんぐりの家	大分県大分市
ワーク大分すみれ会	大分県大分市
ちちんぷいぷいあけぼの	大分県津久見市
べっぷ優ゆう作業所	大分県別府市
メロディー	大分県別府市
はまゆう園多機能型恒富事業所	宮崎県延岡市

施設・事業所名	住所
ななえ福祉作業所	宮崎県都城市
ひなこみち	宮崎県日南市
ＳＵＮはぁーと	宮崎県宮崎市
キャンプグリーンヒル	沖縄県うるま市

■ 2016 年度　支部別「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入施設数	月次報告入力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	実績	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2016 年 4 月	17	17	100.0%	93.8%	6.3%	68	51	17	25,222	22,049	114.4%	67.3	62.8	4.4
	5 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	65	51	14	23,772	20,445	116.3%	64.8	60.1	4.6
	6 月	17	17	100.0%	100.0%	0.0%	64	51	13	26,330	21,380	123.2%	67.3	58.9	8.4
	7 月	18	18	100.0%	100.0%	0.0%	69	55	14	23,024	19,679	117.0%	58.7	50.9	7.9
	8 月	18	18	100.0%	100.0%	0.0%	69	53	16	22,187	17,055	130.1%	55.5	46.7	8.7
	9 月	19	19	100.0%	100.0%	0.0%	86	56	30	31,499	19,567	161.0%	78.4	57.6	20.8
	10 月	19	19	100.0%	100.0%	0.0%	88	56	32	30,909	25,308	122.1%	77.1	64.6	12.5
	11 月	22	22	100.0%	100.0%	0.0%	93	58	35	24,777	21,561	114.9%	60.0	56.3	3.7
	12 月	22	22	100.0%	100.0%	0.0%	92	63	29	24,929	19,319	129.0%	55.9	51.0	4.9
	2017 年 1 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	107	60	47	27,596	19,386	142.4%	64.2	54.9	9.3
	2 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	105	58	47	29,668	21,132	140.4%	68.0	59.2	8.9
	3 月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	105	60	45	27,682	24,477	113.1%	59.0	61.8	-2.8
東北	2016 年 4 月	98	98	100.0%	100.0%	0.0%	520	472	48	112,400	113,471	99.1%	68.0	67.9	0.1
	5 月	98	98	100.0%	100.0%	0.0%	515	479	36	113,288	103,246	109.7%	72.0	66.8	5.2
	6 月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	509	491	18	126,536	119,524	105.9%	69.4	65.6	3.8
	7 月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	513	486	27	109,027	107,296	101.6%	65.3	58.7	6.6
	8 月	100	100	100.0%	100.0%	0.0%	500	496	4	102,149	90,046	113.4%	62.5	57.6	4.9
	9 月	101	101	100.0%	100.0%	0.0%	519	520	-1	126,541	105,826	119.6%	74.0	64.3	9.7
	10 月	102	102	100.0%	100.0%	0.0%	522	521	1	132,046	125,186	105.5%	78.2	69.7	8.5
	11 月	104	104	100.0%	100.0%	0.0%	537	517	20	128,223	117,396	109.2%	74.0	70.8	3.2
	12 月	104	104	100.0%	100.0%	0.0%	539	523	16	106,459	101,623	104.8%	62.7	62.0	0.7
	2017 年 1 月	103	103	100.0%	100.0%	0.0%	515	528	-13	115,375	102,687	112.4%	71.4	64.1	7.3
	2 月	104	104	100.0%	100.0%	0.0%	517	515	2	125,782	117,309	107.2%	72.6	68.9	3.7
	3 月	104	104	100.0%	100.0%	0.0%	507	511	-4	133,657	120,602	110.8%	70.2	65.4	4.8
東京	2016 年 4 月	16	14	87.5%	100.0%	-12.5%	62	92	-30	45,703	50,290	90.9%	213.6	168.8	44.8
	5 月	16	16	100.0%	100.0%	0.0%	86	98	-12	43,819	45,014	97.3%	184.1	175.2	9.0
	6 月	16	14	87.5%	100.0%	-12.5%	61	83	-22	44,191	47,146	93.7%	191.3	169.0	22.3
	7 月	14	13	92.9%	94.1%	-1.3%	66	82	-16	42,561	43,440	98.0%	188.3	156.3	32.1
	8 月	14	14	100.0%	88.2%	11.8%	87	70	17	40,445	39,272	103.0%	172.1	172.2	-0.1
	9 月	15	14	93.3%	100.0%	-6.7%	87	85	2	49,515	40,885	121.1%	208.9	161.0	48.0
	10 月	15	14	93.3%	100.0%	-6.7%	83	80	3	50,598	51,902	97.5%	222.9	198.9	24.0
	11 月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	77	81	-4	45,964	48,554	94.7%	201.6	191.2	10.4
	12 月	14	13	92.9%	100.0%	-7.1%	73	95	-22	43,699	44,759	97.6%	194.2	180.5	13.7
	2017 年 1 月	14	11	78.6%	100.0%	-21.4%	55	95	-40	41,424	42,920	96.5%	216.9	184.2	32.7
	2 月	14	12	85.7%	100.0%	-14.3%	71	99	-28	41,203	46,737	88.2%	209.2	181.2	28.0
	3 月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	87	88	-1	52,211	52,966	98.6%	208.8	191.2	17.6
関東	2016 年 4 月	77	77	100.0%	100.0%	0.0%	526	543	-17	93,272	91,364	102.1%	69.8	60.3	9.4
	5 月	77	77	100.0%	98.8%	1.2%	523	532	-9	88,627	77,060	115.0%	70.6	57.2	13.4
	6 月	77	76	98.7%	97.6%	-1.3%	506	512	-6	100,915	98,577	102.4%	71.5	65.5	5.9
	7 月	76	75	98.7%	100.0%	-1.3%	498	536	-38	77,977	85,202	91.5%	61.0	55.6	5.4
	8 月	76	75	98.7%	96.3%	2.3%	497	504	-7	73,470	75,910	96.8%	59.3	58.9	0.4
	9 月	76	73	96.1%	96.3%	-0.3%	491	511	-20	83,393	76,889	108.5%	66.9	59.4	7.5
	10 月	74	73	98.6%	90.2%	8.4%	480	485	-5	92,036	87,460	105.2%	73.7	66.2	7.5
	11 月	74	73	98.6%	98.8%	-0.1%	489	526	-37	108,754	91,872	118.4%	85.9	70.1	15.8
	12 月	74	73	98.6%	95.0%	3.6%	492	437	55	78,986	87,553	90.2%	67.9	69.8	-2.0
	2017 年 1 月	74	74	100.0%	98.8%	1.3%	494	492	2	79,405	79,491	99.9%	67.4	63.8	3.6
	2 月	75	75	100.0%	98.8%	1.3%	505	505	0	106,013	92,144	115.1%	82.5	67.5	15.0
	3 月	74	69	93.2%	96.3%	-3.0%	442	498	-56	96,265	91,788	104.9%	76.0	64.4	11.7
北信越	2016 年 4 月	13	11	84.6%	80.0%	4.6%	34	53	-19	11,014	17,793	61.9%	62.9	79.1	-16.1
	5 月	13	12	92.3%	73.3%	19.0%	43	45	-2	17,283	13,757	125.6%	92.4	75.2	17.2
	6 月	13	12	92.3%	80.0%	12.3%	39	56	-17	21,003	17,540	119.7%	101.5	74.6	26.8
	7 月	13	11	84.6%	73.3%	11.3%	42	49	-7	15,238	12,169	125.2%	85.6	57.7	27.9
	8 月	13	10	76.9%	66.7%	10.3%	27	50	-23	13,877	11,438	121.3%	88.4	61.2	27.2
	9 月	13	10	76.9%	73.3%	3.6%	27	51	-24	18,614	13,165	141.4%	117.1	68.9	48.1
	10 月	13	13	100.0%	73.3%	26.7%	41	46	-5	21,139	14,933	141.6%	113.0	74.7	38.4
	11 月	12	11	91.7%	66.7%	25.0%	38	30	8	17,947	13,422	133.7%	102.6	79.9	22.7
	12 月	12	10	83.3%	80.0%	3.3%	26	55	-29	14,080	12,261	114.8%	94.5	60.7	33.8
	2017 年 1 月	12	12	100.0%	73.3%	26.7%	44	40	4	18,503	12,833	144.2%	103.9	72.5	31.4
	2 月	12	12	100.0%	73.3%	26.7%	35	36	-1	19,772	14,885	132.8%	102.4	77.1	25.3
	3 月	11	11	100.0%	92.3%	7.7%	41	37	4	20,978	17,677	118.7%	104.9	86.7	18.2
中部	2016 年 4 月	16	12	75.0%	82.4%	-7.4%	83	102	-19	15,577	15,680	99.3%	69.2	58.7	10.5
	5 月	16	12	75.0%	76.5%	-1.5%	88	78	10	15,594	14,048	111.0%	71.5	61.9	9.6
	6 月	16	13	81.3%	70.6%	6.3%	84	95	-11	15,943	16,072	99.2%	65.3	68.1	-2.8
	7 月	16	12	75.0%	76.5%	-1.5%	78	82	-4	15,412	16,139	95.5%	67.6	60.9	6.7
	8 月	16	11	68.8%	70.6%	-1.8%	73	72	1	11,579	13,643	84.9%	66.2	62.0	4.2
	9 月	16	11	68.8%	70.6%	-1.8%	75	59	16	14,201	13,912	102.1%	73.2	62.1	11.1
	10 月	16	11	68.8%	76.5%	-7.7%	76	70	6	13,390	20,789	64.4%	68.3	79.0	-10.7
	11 月	18	13	72.2%	76.5%	-4.2%	86	78	8	15,475	17,582	88.0%	64.5	73.9	-9.4
	12 月	18	12	66.7%	76.5%	-9.8%	84	79	5	12,873	16,383	78.6%	60.7	68.8	-8.1
	2017 年 1 月	18	12	66.7%	76.5%	-9.8%	69	84	-15	10,903	15,404	70.8%	51.7	71.3	-19.6
	2 月	18	12	66.7%	82.4%	-15.7%	68	84	-16	11,375	17,120	66.4%	50.8	67.7	-16.9
	3 月	18	15	83.3%	93.8%	-10.4%	105	98	7	17,450	18,037	96.7%	57.6	62.6	-5.0

■ 2016 年度　支部別「障がい者のクロネコ DM 便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入施設数	月次報告入力済施設数	入力率			クロネコ DM 便配達従事者人数			クロネコ DM 便配達冊数			1 施設 1 日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	実績	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
関西	2016 年 4 月	25	21	84.0%	84.0%	0.0%	127	126	1	32,772	43,214	75.8%	88.1	105.7	-17.6
	5 月	25	20	80.0%	96.0%	-16.0%	120	132	-12	30,572	31,364	97.5%	85.4	75.8	9.6
	6 月	25	21	84.0%	73.1%	4.0%	118	135	-17	34,739	32,981	105.3%	86.0	82.5	3.5
	7 月	25	21	84.0%	76.9%	7.1%	129	139	-10	31,830	30,935	102.9%	81.6	74.0	7.6
	8 月	25	20	80.0%	88.5%	-8.5%	119	148	-29	28,212	32,200	87.6%	76.9	76.3	0.6
	9 月	24	20	83.3%	80.8%	2.6%	115	119	-4	35,070	30,157	116.3%	104.7	77.5	27.2
	10 月	25	22	88.0%	80.8%	7.2%	134	113	21	39,293	34,534	113.8%	97.7	84.2	13.5
	11 月	26	22	84.6%	73.1%	11.5%	131	101	30	50,943	35,123	145.0%	126.4	100.6	25.8
	12 月	26	21	80.8%	80.8%	0.0%	110	112	-2	42,144	31,153	135.3%	115.5	84.9	30.6
	2017 年 1 月	26	19	73.1%	76.9%	-3.8%	127	110	17	42,495	31,836	133.5%	133.6	89.9	43.7
	2 月	26	22	84.6%	80.8%	3.8%	128	111	17	45,491	33,676	135.1%	115.8	86.1	29.6
	3 月	33	29	87.9%	100.0%	-12.1%	187	144	43	50,490	40,350	125.1%	93.0	84.1	8.9
中国	2016 年 4 月	13	11	84.6%	100.0%	-15.4%	67	71	-4	25,557	26,686	95.8%	148.6	108.0	40.5
	5 月	13	11	84.6%	100.0%	-15.4%	62	67	-5	28,647	24,087	118.9%	148.4	110.0	38.4
	6 月	13	12	92.3%	100.0%	7.7%	67	66	1	31,845	30,016	106.1%	127.9	118.6	9.3
	7 月	13	13	100.0%	92.3%	7.7%	67	59	8	29,056	27,275	106.5%	122.6	112.2	10.4
	8 月	13	13	100.0%	92.3%	7.7%	68	59	9	28,140	24,308	115.8%	118.2	116.3	1.9
	9 月	13	13	100.0%	92.3%	7.7%	71	57	14	33,431	28,436	117.6%	138.7	131.0	7.7
	10 月	13	12	92.3%	92.3%	0.0%	68	59	9	38,832	33,856	114.7%	175.7	149.1	26.6
	11 月	13	11	84.6%	100.0%	-15.4%	68	65	3	32,618	32,017	101.9%	163.1	151.0	12.1
	12 月	13	12	92.3%	84.6%	7.7%	68	53	15	28,244	23,118	122.2%	133.2	116.8	16.5
	2017 年 1 月	13	11	84.6%	91.7%	-7.1%	47	62	-15	33,372	29,235	114.2%	185.4	145.4	40.0
	2 月	13	13	100.0%	91.7%	8.3%	71	63	8	33,335	29,181	114.2%	147.5	143.0	4.5
	3 月	13	13	100.0%	100.0%	0.0%	71	65	6	33,486	27,524	121.7%	128.8	111.4	17.4
四国	2016 年 4 月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	14	24	-10	5,305	5,223	101.6%	51.0	44.3	6.7
	5 月	7	7	100.0%	85.7%	14.3%	15	13	2	4,427	3,385	130.8%	43.0	37.6	5.4
	6 月	7	7	100.0%	85.7%	0.0%	14	11	3	5,494	2,714	202.4%	47.0	27.1	19.8
	7 月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	12	14	-2	4,500	5,001	90.0%	45.9	42.4	3.5
	8 月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	13	14	-1	4,115	4,441	92.7%	37.4	43.1	-5.7
	9 月	7	7	100.0%	85.7%	14.3%	11	12	-1	5,353	2,331	229.6%	47.4	26.8	20.6
	10 月	7	5	71.4%	100.0%	-28.6%	10	15	-5	3,741	5,631	66.4%	51.2	47.7	3.5
	11 月	6	6	100.0%	57.1%	42.9%	13	8	5	4,784	972	492.2%	42.7	19.8	22.9
	12 月	6	6	100.0%	100.0%	0.0%	13	12	1	4,588	4,205	109.1%	40.6	37.5	3.1
	2017 年 1 月	6	5	83.3%	85.7%	-2.4%	9	12	-3	4,456	3,212	138.7%	46.9	38.7	8.2
	2 月	6	5	83.3%	85.7%	-2.4%	11	10	1	4,700	4,035	116.5%	52.2	48.6	3.6
	3 月	6	6	100.0%	100.0%	0.0%	11	10	1	4,969	4,600	108.0%	40.4	40.4	0.0
九州	2016 年 4 月	23	22	95.7%	96.4%	-0.8%	106	114	-8	49,082	62,490	78.5%	100.4	98.9	1.5
	5 月	22	20	90.9%	100.0%	-9.1%	94	113	-19	38,831	56,168	69.1%	92.0	95.7	-3.7
	6 月	22	22	100.0%	96.2%	9.1%	96	109	-13	49,518	61,043	81.1%	109.8	101.6	8.2
	7 月	21	21	100.0%	88.5%	11.5%	97	91	6	42,287	56,134	75.3%	95.2	101.3	-6.1
	8 月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	93	107	-14	40,278	49,047	82.1%	90.7	89.7	1.1
	9 月	20	19	95.0%	100.0%	-5.0%	88	108	-20	49,565	51,438	96.4%	122.1	90.7	31.4
	10 月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	92	110	-18	54,413	62,138	87.6%	125.1	108.1	17.0
	11 月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	90	112	-22	47,452	63,820	74.4%	109.1	113.2	-4.1
	12 月	19	19	100.0%	96.0%	4.0%	92	106	-14	46,410	46,729	99.3%	114.0	90.7	23.3
	2017 年 1 月	18	18	100.0%	96.0%	4.0%	89	107	-18	44,665	50,873	87.8%	123.0	102.4	20.7
	2 月	18	18	100.0%	100.0%	0.0%	89	117	-28	41,764	50,749	82.3%	116.7	96.1	20.5
	3 月	17	17	100.0%	95.8%	4.2%	89	107	-18	43,638	50,767	86.0%	109.6	92.8	16.8
沖縄	2016 年 4 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	113	0	−	5.7	−	−
	5 月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0	−	−	−	−
	6 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	113	0	−	5.9	−	−
	7 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	113	0	−	5.4	−	−
	8 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	115	0	−	5.2	−	−
	9 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	99	0	−	5.0	−	−
	10 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	111	0	−	5.8	−	−
	11 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	98	0	−	5.4	−	−
	12 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	161	0	−	8.9	−	−
	2017 年 1 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	160	0	−	8.4	−	−
	2 月	1	1	100.0%	0.0%	100.0%	2	0	2	134	0	−	7.1	−	−
	3 月	1	1	100.0%	100.0%	0.0%	2	2	0	134	117	114.5%	7.1	5.6	1.5
全国	2016 年 4 月	306	290	94.8%	95.9%	-1.1%	1,609	1,648	-39	416,017	448,260	92.8%	81.0	78.2	2.8
	5 月	305	290	95.1%	96.2%	-1.1%	1,611	1,608	3	404,860	388,574	104.2%	82.4	74.6	7.8
	6 月	307	295	96.1%	93.7%	2.4%	1,560	1,609	-49	456,627	446,993	102.2%	82.3	77.2	5.1
	7 月	304	291	95.7%	93.7%	2.0%	1,573	1,593	-20	391,025	403,270	97.0%	75.8	69.1	6.6
	8 月	303	289	95.4%	93.7%	1.7%	1,548	1,573	-25	364,567	357,360	102.0%	72.6	69.6	3.0
	9 月	305	288	94.4%	93.7%	0.7%	1,572	1,578	-6	447,281	382,606	116.9%	88.3	73.4	14.9
	10 月	305	292	95.7%	92.8%	2.9%	1,596	1,555	41	476,508	461,737	103.2%	93.5	83.0	10.5
	11 月	310	296	95.5%	93.4%	2.1%	1,624	1,576	48	477,035	442,319	107.8%	91.4	85.3	6.0
	12 月	309	293	94.8%	93.7%	1.1%	1,591	1,535	56	402,573	387,103	104.0%	80.4	75.1	5.2
	2017 年 1 月	308	289	93.8%	94.0%	-0.2%	1,558	1,590	-32	418,354	387,877	107.9%	87.5	78.2	9.3
	2 月	310	297	95.8%	94.9%	0.9%	1,602	1,598	4	459,237	426,968	107.6%	89.1	80.0	9.1
	3 月	313	301	96.2%	98.1%	-1.9%	1,647	1,620	27	480,960	448,905	107.1%	83.9	76.8	7.0

震災支援事業の取り組み

熊本地震緊急助成

平成28年4月14日に発生した熊本地震で、被災された障がい者施設、支援活動を行う団体に緊急助成を行いました。

	助成先		助成対象事業の内容および助成額
1	**熊本市吉野町** 社会福祉法人 わくわく		●助成内容：グループホームの修復 ●助 成 金：1,075,427円 グループホームの1棟が居住困難、グループホームの備品が損壊しました。損壊で居室が不足したため新しいグループホームを整備、損壊した備品を助成しました。
2	**阿蘇郡西原村** NPO法人 にしはら たんぽぽハウス		●助成内容：移動販売車両の購入 ●助 成 金：4,000,000円 にしはらたんぽぽハウスがあるのは、町の役場や避難所となった体育館の目の前。震災後すぐに、被災者の炊き出しの拠点となりました。動くことが困難な、高齢者や障がい者に温かい食べ物を提供するために移動販売車両を助成しました。
3	**熊本市中央区** **内坪井町** 株式会社 熊本地域協同 システム研究所 いこい計画		●助成内容：グループホームの修復 ●助 成 金：1,200,000円 グループホームの壁や通路にひびが入り、玄関前のスロープや手すりなどが破損、台所回りがゆがみでドアが閉まらなくなるなど、さまざまなダメージを受けました。グループホーム復旧工事をこの助成で完了しました。
4	**熊本市東区** **長嶺西** JDF熊本支援 センター		●助成内容：被災者支援活動費用 ●助 成 金：876,373円 日本障害フォーラム災害総合支援本部は、熊本地震の発生を受け「JDF熊本支援センター」を立ち上げ、障がい者の被災状況やニーズ把握の調査、相談受付、必要な個別支援など、様々な救援活動を行ってきました。この活動を助成しています。

ヤマト福祉財団NEWS 51号6ページ掲載
震災後の様子はこちらをご確認ください

熊本地震の被災地から報告

安心を取り戻すために動き出しています

戸別訪問する上村さん(にしはらたんぽぽハウス)

被災地で障がい者を支援(JDF)熊本支援センター

住まいを取り戻した利用者さん(ふれあいワーク)

被災施設をリサーチし必要なものを財団で助成

4月14日に発生した熊本地震は、深刻な被害を及ぼしました。2ヵ月経過の今(取材時)は、仮設入居もはじまり少しずつ復旧が進んでいます。

震源地の益城町と同じく震度7を超える地震に襲われた西原村にある(NPO)にしはらたんぽぽハウス。上村加代子施設長は「真夜中に体が飛び跳ねるほどドスンと強烈な地震が来ました。渦を巻くような揺れに家中の家具は倒れ、足の踏み場がないほどでした」と話します。翌朝、地割れを避けながら車で事業所へ向かうと、すぐに利用者さんの安否を確認。「25名全員が無事とわかったときは、ほっとしました」。食堂を兼ねた事業所は大変な状況になっていましたが、ボランティアの方の助力でなんとか使える状態になり、避難所への炊き出しを開始します。

「約1ヵ月半、1回約300食を朝昼晩とフル回転でつくり続けました。みなさんの笑顔を見ると疲れも吹き飛ぶのですが、避難所に入れず車中泊している方、被災した家の中で不安に過ごしている方もたくさんいます。そこで約2600戸ある地域の戸別訪問をはじめたのです。食事をとっていますか、物資は足りていますか、健康状態はいかがですかと一軒一軒巡っています」。温かい食べ物は人を勇気づけると話す上村さんに、財団は常温と保冷設備が整い、スープジャーなどで温かいものも運べる移動販売車を助成することにしました。上村さんは、この機会に障がいのある方との新しいつながりを築こうと決意。「いままで引きこもっていた方ともお話でき、彼らを受け入れできる新しい作業所も建設しています」。新事業所では弁当の製造を行い、事務所やグループホームも併設予定です。

被災した障がい者を支える福祉施設間のネットワーク

他にも震災で住まいを奪われた利用者さんを抱える(社福)わくわく障害者共同作業所ふれあいワークを支援します。「地震に襲われたとき、あるグループホームに電話がつながらず心配して訪ねると、倒れた本棚やTVの間で4人の利用者さんが身を寄せ合い震えていました」とサービス管理責任者の里﨑美香さん。他施設の利用者さんも含め、約50人が事業所で寝泊まりしていた時期もあります。「そんなとき、夢へのかけ橋実践塾の武田塾長や塾生が、食料、トイレットペーパーなどを送ってくれました」。ふれあいワークは、武田塾の卒業生です。実践塾の塾生たちは、いまもつながっています。

現在、利用者さんは無事に新しい住まいを確保。財団は、グループホームでの生活に必要な家具や家電などの費用を助成する予定です。

こうした被災地の応援に日本障害フォーラム(JDF)熊本支援センターも奔走しています。各施設の悩みを聞き、上村さんたちと協力して障がいのある方の自宅を訪問。地震で散乱した室内の片付けも行っています。「相談できる仲間がいると本当に心強い」と上村さん。JDFの活動は現地を支えています。

東日本大震災生活・産業基盤復興再生募金　最終報告

2011年３月11日に発生した東日本大震災は、人々から大切なものを奪い去りました。ヤマトグループは「宅急便１個につき10円の寄付」を行うことを発表し、さらにグループ以外の多くの方からも募金をいただき「東日本大震災生活・産業基盤復興再生募金」として計31件、総額142億1849万8102円の助成を行いました（募金活動は、2012年６月30日で終了）。本助成の最後の事業となったのが「福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業」です。

福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業（福島県相馬市）

● 申請団体：緑地創造研究会　● 助成金：130,000,000円

東日本大震災の津波により福島県相馬市の松川浦周辺で100ha以上の海岸防災林が流出しました。その中には、松川浦県立自然公園も入っています。松川浦周辺の海岸防災林は、干潟立地のためクロマツの根が浅く被害が大きくなりました。これを教訓に『緑地創造研究会』は、盛り土による築堤・植栽にあわせた地域適性苗木の育成と供給を行い、海岸防災林の再生支援を計画。クロマツの天敵であるマツノザイセンチュウ（松食い虫）に強い苗木の開発が必要なこと、海岸防災林の再生には長い年月と多大な費用・労力を要すことから、本助成に申請しました。緑地創造研究会は、相馬市などの地元の苗木生産業者、NPO法人や東京農業大学などと協力し、海岸防災林用のマツ苗種子採種園を整備。種子の開発、苗木の育苗を行い、支援団体や企業、地元の方とともに植樹を進めてきました。

平成28年７月11日、震災の傷跡を残しながらも辛うじて残った数本のクロマツと相馬市東日本大震災慰霊碑の前で、相馬市原釜地区植樹式が開かれました。立谷相馬市長が当財団と緑地創造研究会に感謝状を贈呈した後、クロマツとツバキの苗木23本を植樹しました。

11月11日には、相馬市磯部地区植樹式が執り行われ、近隣の保育園児などが参加してタブノキ105本とクロマツ110本の苗木を植樹しました。タブノキの苗木は、磯部地区の寄木神社の母樹から種子を採取して育てたものです。緑地創造研究会は、園児たちに苗を植える場所や植樹の仕方、今日植える苗はどんな木へと育ち、やがては自分たちの暮らしを守る防災林となることなどを伝えました。植樹式の後にはクラフト教室が行われ、園児たちからはお礼の挨拶も。松川浦には、最終的に約146万本（林野庁76万本、福島県70万本）の苗木を植樹する計画です。地元の方は、苗木と次代を担う子供たちの成長を楽しみにしています。

この植樹式を最後に、本助成による31件の復興事業はすべて完了しました。

■ 福島県立自然公園松川浦周辺の海岸防災林再生事業の記録

平成24年度	■ 苗木生産の開始		
平成25年度	■ 生産圃場の現地視察		
平成26年度	■ 採種園竣工記念植樹祭（４月11日）	■ 相馬光陽サッカー場植樹祭（９月15日）	■ 林野庁大洲地区植樹祭（11月10日）
平成27年度	■ NPO・企業の合同植樹式（６月６日）	■ 県議会連盟植樹式（８月22日）	■ 福島県知事苗木寄贈式（２月29日）
平成28年度	■ 相馬市原釜地区植樹式（７月11日）	■ 相馬市磯部地区植樹式（11月11日）	

２．平成 28 年度収支決算報告書

貸 借 対 照 表

平成 29 年 3 月 31 日現在
（平成 28 年度）

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	13,307,006	14,867,201	-1,560,195
現金	86,120	428,360	-342,240
普通預金	13,220,886	14,438,841	-1,217,955
未収金	0	301,901	-301,901
流 動 資 産 合 計	13,307,006	15,169,102	-1,862,096
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券（指定）	7,464,000,000	7,190,400,000	273,600,000
投資有価証券（一般）	876,786,750	844,647,300	32,139,450
計	8,340,786,750	8,035,047,300	305,739,450
基 本 財 産 合 計	8,340,786,750	8,035,047,300	305,739,450
固 定 資 産 合 計	8,340,786,750	8,035,047,300	305,739,450
資 産 合 計	8,354,093,756	8,050,216,402	303,877,354
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	5,511,352	7,089,312	-1,577,960
預り金	41,067	14,916	26,151
短期借入金	15,000,000	35,000,000	-20,000,000
流 動 負 債 合 計	20,552,419	42,104,228	-21,551,809
負 債 合 計	20,552,419	42,104,228	-21,551,809
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	7,464,000,000	7,190,400,000	273,600,000
（うち基本財産への充当額）	(7,464,000,000)	(7,190,400,000)	273,600,000
（うち特定財産への充当額）	(　　)	(　　)	(　　)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	869,541,337	817,712,174	51,829,163
（うち基本財産への充当額）	(869,541,337)	(817,712,174)	51,829,163
（うち特定財産への充当額）	(　　)	(　　)	(　　)
正 味 財 産 合 計	8,333,541,337	8,008,112,174	325,429,163
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	8,354,093,756	8,050,216,402	303,877,354

正味財産増減計算書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	100,125,200	92,973,400	7,151,800
基本財産株式配当	100,125,200	92,973,400	7,151,800
基本財産債券利息	0	0	0
受取会費	102,248,000	99,515,000	2,733,000
賛助会費収入	102,248,000	99,515,000	2,733,000
受取寄付金	56,413,180	56,977,856	△ 564,676
寄付金収入	56,413,180	56,977,856	△ 564,676
指定寄付金収入	0	0	0
雑収益	12,835	153,000	△ 140,165
雑収入	12,835	153,000	△ 140,165
経　常　収　益　計	258,799,215	249,619,256	9,179,959
（2）経常費用			
事業費	227,089,229	270,458,468	△ 43,369,239
給料手当	12,849,051	13,010,951	△ 161,900
旅費交通費	11,651,111	11,176,130	474,981
通信運搬費	25,544,393	22,200,533	3,343,860
備品消耗品費	589,079	592,752	△ 3,673
図書印刷費	9,745,365	9,622,212	123,153
事務室維持費	5,357,247	5,420,617	△ 63,370
会議費	2,639,669	1,591,211	1,048,458
支払手数料	742,320	647,572	94,748
雑費	444,589	106,145	338,444
奨学金支給	23,700,000	24,150,000	△ 450,000
助成金支給	61,990,000	122,635,293	△ 60,645,293
震災支援費	7,151,800	0	7,151,800
会場費	7,088,159	7,805,608	△ 717,449
運営費	1,589,948	900,188	689,760
講師諸費	5,561,229	5,189,612	371,617
ビデオ・パンフ作成費	6,241,890	9,350,049	△ 3,108,159
システム費用	13,474,767	4,699,237	8,775,530
就労支援費	4,480,000	4,470,000	10,000
委託費	14,106,288	16,696,046	△ 2,589,758
ホームページ運営費	907,200	1,177,200	△ 270,000
贈呈費	8,210,124	8,317,112	△ 106,988
共済分担金	3,025,000	700,000	2,325,000

科　　目	当年度	前年度	増　減
管理費	13,218,372	14,347,948	△ 1,129,576
給料手当	2,319,599	2,275,669	43,930
福利厚生費	274,245	260,032	14,213
会議費	786,748	878,573	△ 91,825
旅費交通費	1,462,604	1,276,551	186,053
通信運搬費	2,421,399	2,158,047	263,352
消耗什器備品費	317,302	232,481	84,821
図書印刷費	3,264,425	4,790,756	△ 1,526,331
事務室維持費	1,171,171	1,194,032	△ 22,861
事務機器賃借料	357,990	435,082	△ 77,092
賦課金	311,540	302,000	9,540
支払手数料	72,358	127,483	△ 55,125
支払利息	141,971	10,832	131,139
雑費	317,020	406,410	△ 89,390
経　常　費　用　計	240,307,601	284,806,416	△ 44,498,815
評価損益等調整前当期経常増減額	18,491,614	△ 35,187,160	53,678,774
基本財産評価損益等	32,139,450	△ 197,347,500	229,486,950
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	32,139,450	△ 197,347,500	229,486,950
当期経常増減額	50,631,064	△ 232,534,660	283,165,724
２．経常外増減の部			0
（１）経常外収益			0
前期経費振替	1,500,000	0	1,500,000
経常外収益計	1,500,000	0	1,500,000
（２）経常外費用			0
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	1,500,000	0	1,500,000
他会計振替額	△ 301,901	0	△ 301,901
当期一般正味財産増減額	51,829,163	△ 232,534,660	284,363,823
一般正味財産期首残高	817,712,174	1,050,246,834	△ 232,534,660
一般正味財産期末残高	869,541,337	817,712,174	51,829,163
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	273,600,000	△ 1,680,000,000	1,953,600,000
当期指定正味財産増減額	273,600,000	△ 1,680,000,000	1,953,600,000
指定正味財産期首残高	7,190,400,000	8,870,400,000	△ 1,680,000,000
指定正味財産期末残高	7,464,000,000	7,190,400,000	273,600,000
Ⅲ　正味財産期末残高	8,333,541,337	8,008,112,174	325,429,163

〈参考資料〉

正味財産増減計算書 内訳表

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公１ 助成事業	公２ 研修・育成	公３ 表彰事業	公４ 広報啓発等	公５ 震災助成	共通	小計		
Ⅰ　一般正味財産増減の部									
1．経常増減の部									
（1）経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	70,087,640	70,087,640	30,037,560	100,125,200
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	70,087,640	70,087,640	30,037,560	100,125,200
基本財産債券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	102,248,000	102,248,000	0	102,248,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	102,248,000	102,248,000	0	102,248,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	56,413,180	56,413,180	0	56,413,180
寄付金収入	0	0	0	0	0	56,413,180	56,413,180	0	56,413,180
指定寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	12,835	12,835	0	12,835
雑収入	0	0	0	0	0	12,835	12,835	0	12,835
経常収益計	0	0	0	0	0	228,761,655	228,761,655	30,037,560	258,799,215
（2）経常費用									
事業費	90,796,898	56,629,526	10,973,107	44,908,347	7,152,988	16,628,363	227,089,229		227,089,229
給料手当	2,762,006	6,320,740	1,749,272	2,017,033	0	0	12,849,051		12,849,051
旅費交通費	828,482	7,584,669	2,187,916	935,284	0	114,760	11,651,111		11,651,111
通信運搬費	57,390	1,460,291	354,910	23,671,802	0	0	25,544,393		25,544,393
備品消耗品費	2,527	8,587	545,003	32,962	0	0	589,079		589,079
図書印刷費	1,016,800	3,633,992	883,520	4,211,053	0	0	9,745,365		9,745,365
事務室維持費	0	0	0	0	0	5,357,247	5,357,247		5,357,247
会議費	231,434	2,236,454	171,781	0	0	0	2,639,669		2,639,669
支払手数料	132,192	567,036	11,448	28,080	1,188	2,376	742,320		742,320
雑費	0	81,275	13,114	350,200	0	0	444,589		444,589
奨学金支給	23,700,000	0	0	0	0	0	23,700,000		23,700,000
助成金支給	61,990,000	0	0	0	0	0	61,990,000		61,990,000
震災支援費	0	0	0	0	7,151,800	0	7,151,800		7,151,800
会場費	0	4,895,766	1,863,000	329,393	0	0	7,088,159		7,088,159
運営費	0	994,093	193,143	402,712	0	0	1,589,948		1,589,948
講師諸費	0	5,561,229	0	0	0	0	5,561,229		5,561,229
ビデオ・パンフ作成費	0	6,228,530	0	13,360	0	0	6,241,890		6,241,890
システム費用	76,067	5,269,720	0	0	0	8,128,980	13,474,767		13,474,767
システムリース料	0	0	0	0	0	0	0		0
就労支援費	0	4,480,000	0	0	0	0	4,480,000		4,480,000
委託費	0	2,097,020	0	12,009,268	0	0	14,106,288		14,106,288
ホームページ運営費	0	0	0	907,200	0	0	907,200		907,200
贈呈費	0	5,210,124	3,000,000	0	0	0	8,210,124		8,210,124
共済分担金	0	0	0	0	0	3,025,000	3,025,000		3,025,000
管理費								13,218,372	13,218,372
給料手当								2,319,599	2,319,599
福利厚生費								274,245	274,245
会議費								786,748	786,748
旅費交通費								1,462,604	1,462,604
通信運搬費								2,421,399	2,421,399
消耗什器備品費								317,302	317,302
図書印刷費								3,264,425	3,264,425
事務室維持費								1,171,171	1,171,171
事務機器賃借料								357,990	357,990
賦課金								311,540	311,540
支払手数料								72,358	72,358
支払利息								141,971	141,971
雑費								317,020	317,020
経常費用計	90,796,898	56,629,526	10,973,107	44,908,347	7,152,988	16,628,363	227,089,229	13,218,372	240,307,601

科　目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公１ 助成事業	公２ 研修・育成	公３ 表彰事業	公４ 広報啓発等	公５ 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	△90,796,898	△56,629,526	△10,973,107	△44,908,347	△7,152,988	212,133,292	1,672,426	16,819,188	18,491,614
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	32,139,450	32,139,450
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	32,139,450	32,139,450
当期経常増減額	△90,796,898	△56,629,526	△10,973,107	△44,908,347	△7,152,988	212,133,292	1,672,426	48,958,638	50,631,064
２．経常外増減の部									0
（1）経常外収益									
前期経費振替	0	0	0	0	0		0	1,500,000	1,500,000
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	1,500,000	1,500,000
（2）経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	1,500,000	1,500,000
他会計振替額						0	0	△301,901	△301,901
当期一般正味財産増減額	△90,796,898	△56,629,526	△10,973,107	△44,908,347	△7,152,988	212,133,292	1,672,426	50,156,737	51,829,163
一般正味財産期首残高	△264,863,266	△135,749,960	△20,387,136	△96,392,422	0	1,308,146,505	790,753,721	26,958,453	817,712,174
一般正味財産期末残高	△355,660,164	△192,379,486	△31,360,243	△141,300,769	△7,152,988	1,520,279,797	792,426,147	77,115,190	869,541,337
Ⅱ　指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	191,520,000	191,520,000	82,080,000	273,600,000
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	191,520,000	191,520,000	82,080,000	273,600,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	191,520,000	191,520,000	82,080,000	273,600,000
指定正味財産期首残高						7,190,400,000	7,190,400,000	0	7,190,400,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	7,381,920,000	7,381,920,000	82,080,000	7,464,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高	△355,660,164	△192,379,486	△31,360,243	△141,300,769	△7,152,988	8,902,199,797	8,174,346,147	159,195,190	8,333,541,337

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

（1）計算書類は公益法人会計基準（平成２０年４月１１日、改正平成２１年１０月１６日　内閣府公益認定等委員会）を適用している。

（2）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券・・・・・・償却原価法（定額法）

その他の有価証券

時価のあるもの・・・・・・決算日の市場価格等に基づく時価法

時価のないもの・・・・・・移動平均法による原価法

（3）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・・・定率法

（4）消費税の会計処理

税込み方式

2．会計方針の変更　該当なし

3．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（指定）	7,190,400,000	273,600,000	0	7,464,000,000
投資有価証券（一般）	844,647,300	32,139,450	0	876,786,750
小　　計	8,035,047,300	305,739,450	0	8,340,786,750
特定資産	—	—	—	—
小　　計	—	—	—	—
合　　計	8,035,047,300	305,739,450	0	8,340,786,750

4．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
投資有価証券（指定）	7,464,000,000	7,464,000,000		—
投資有価証券（一般）	876,786,750		869,541,337	7,245,413
小　　計	8,340,786,750	7,464,000,000	869,541,337	7,245,413
特定資産	—	—	—	—
小　　計	—	—	—	—
合　　計	8,340,786,750	7,464,000,000	869,541,337	7,245,413

5．固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

該当なし　　重要性が希薄なため経費処理

6．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

7．担保に供している資産　　該当なし

8．保証債務等の偶発債務　　該当なし

9．関連当事者との取引の内容　　該当なし

10．重要な後発事象　　該当なし

財　産　目　録

平成 29 年 3 月 31 日　現在

（平成 28 年度）

（単位：円）

科　　目	金　　額	使用目的等
Ⅰ 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	13,307,006	
現金	86,120	運転資金
普通預金	13,220,886	
みずほ銀行銀座中央支店	13,220,886	運転資金
流 動 資 産 合 計	13,307,006	
2 固定資産		
（1）基本財産		
投資有価証券　3,575,900 株	8,340,786,750	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社（株式）		うち 70％を公益保有財産として運
株数　取得価額		用益を公益目的事業に使用し、30％
3,200,000 株　5,568,000,000 円	7,464,000,000	を管理業務のための財産として運用
375,200 株　821,519,900 円	875,154,000	益を法人会計に使用している。
700 株　1,963,727 円	1,632,750	
固 定 資 産 合 計	8,340,786,750	
資　産　合　計	8,354,093,756	
Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	5,511,352	3 月経費等未払分
預り金	41,067	謝礼金に対する源泉所得税
短期借入金	15,000,000	みずほ銀行銀座中央支店
流 動 負 債 合 計	15,552,419	
負　債　合　計	20,552,419	
正　味　財　産	8,333,541,337	

附　属　明　細　書

１．基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
２．引当金の明細　　該当なし

以　　上

平成 29 年 5 月
公益財団法人ヤマト福祉財団

平成 28 年度事業報告　附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以　　上

平成 29 年 5 月

公益財団法人ヤマト福祉財団

〈参考資料〉

収 支 決 算 書

（平成２８年４月１日～平成２９年３月３１日）

（単位：円）

科　　目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
Ⅰ　事業活動収支の部					
1．事業活動収入					
（1）基本財産運用収入	65,079,000	27,891,000	92,970,000	100,125,200	-7,155,200
①基本財産株式配当	65,079,000	27,891,000	92,970,000	100,125,200	-7,155,200
（2）寄付金収入	56,000,000	—	56,000,000	56,413,180	-413,180
①運用財産	56,000,000	—	56,000,000	56,413,180	-413,180
②基本財産指定・（繰入増加）	0	—	0	0	0
（3）賛助会費収入	98,000,000	—	98,000,000	102,248,000	-4,248,000
（4）雑収入				12,835	-12,835
事　業　活　動　収　入　計	219,079,000	27,891,000	246,970,000	258,799,215	-11,829,215
2．事業活動支出					
事業費支出	202,700,000	—	202,700,000	227,089,229	-24,389,229
（公１）助成事業	92,000,000	—	92,000,000	90,796,898	1,203,102
①奨学金支給	24,000,000	—	24,000,000	23,700,000	300,000
②助成金	65,000,000	—	65,000,000	61,990,000	3,010,000
ⅰ福祉助成金	5,000,000	—	5,000,000	4,130,000	870,000
ⅱ給料増額支援助成金	60,000,000	—	60,000,000	57,860,000	2,140,000
③諸経費	3,000,000	—	3,000,000	5,106,898	-2,106,898
（公２）研修・育成事業	56,600,000	—	56,600,000	57,032,238	-432,238
①セミナー事業	21,500,000	—	21,500,000	18,768,231	2,731,769
ⅰ会場費	4,000,000	—	4,000,000	2,924,938	1,075,062
ⅱ運営費	8,000,000	—	8,000,000	7,920,360	79,640
ⅲビデオ作成費	3,500,000	—	3,500,000	2,516,400	983,600
ⅳ諸経費	6,000,000	—	6,000,000	5,406,533	593,467
②雇用促進事業	7,100,000	—	7,100,000	7,521,637	-421,637
ⅰシステム費	600,000	—	600,000	517,752	82,248
ⅱ就労支援費	4,500,000	—	4,500,000	4,480,000	20,000
ⅲ諸経費	2,000,000	—	2,000,000	2,523,885	-523,885
③育成プロジェクト	28,000,000	—	28,000,000	30,742,370	-2,742,370
ⅰ会場費	3,000,000	—	3,000,000	1,970,828	1,029,172
ⅱ講師諸費	1,500,000	—	1,500,000	4,418,757	-2,918,757
ⅲ事業改革モデル化資金	5,000,000	—	5,000,000	0	5,000,000
ⅳ管理会計ソフト運用費	3,000,000	—	3,000,000	4,026,208	-1,026,208
ⅴ諸経費	5,500,000	—	5,500,000	7,630,283	-2,130,283
ⅵ水稲自然栽培検証プロジェクト	8,000,000	—	8,000,000	9,940,568	-1,940,568
ⅶ水稲自然栽培ビデオ制作費等	2,000,000	—	2,000,000	2,755,726	-755,726
（公３）表彰事業	9,000,000	—	9,000,000	10,973,107	-1,973,107
①贈呈費	3,000,000	—	3,000,000	3,000,000	0
②会場費	2,000,000	—	2,000,000	1,863,000	137,000
③経費	4,000,000	—	4,000,000	6,110,107	-2,110,107

科　　目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
（公４）広報・啓発等事業	40,100,000		40,100,000	55,661,127	-15,561,127
①広報事業	37,400,000	—	37,400,000	43,732,133	-6,332,133
ⅰホームページ運営費	2,000,000	—	2,000,000	907,200	1,092,800
ⅱ委託費	10,000,000	—	10,000,000	12,009,268	-2,009,268
ⅲ諸経費	25,400,000	—	25,400,000	30,815,665	-5,415,665
②啓発事業	700,000	—	700,000	773,502	-73,502
ⅰ会場費	400,000	—	400,000	329,393	70,607
ⅱ運営費	100,000	—	100,000	150,282	-50,282
ⅲ諸経費	200,000	—	200,000	293,827	-93,827
③その他事業	2,000,000	—	2,000,000	11,155,492	-9,155,492
ⅰ共催分担金	2,000,000	—	2,000,000	3,025,000	-1,025,000
ⅱ賛助会キャンペーン	0	—	0	8,128,980	-8,128,980
ⅲ諸経費	0	—	0	1,512	-1,512
（公５）復興・再生支援事業	0	—	0	7,154,500	-7,154,500
①震災支援費	0	—	0	7,151,800	-7,151,800
②諸経費	0	—	0	2,700	-2,700
共通	5,000,000	—	5,000,000	5,471,359	-471,359
①諸経費	5,000,000	—	5,000,000	5,471,359	-471,359
管理費支出	—	13,270,000	13,270,000	13,218,372	51,628
①人件費	—	2,000,000	2,000,000	2,319,599	-319,599
②福利厚生費	—	250,000	250,000	274,245	-24,245
③旅費	—	1,300,000	1,300,000	1,462,604	-162,604
④通信運搬費	—	1,800,000	1,800,000	2,421,399	-621,399
⑤備品消耗品費	—	300,000	300,000	317,302	-17,302
⑥図書印刷費	—	4,000,000	4,000,000	3,264,425	735,575
⑦事務室維持費	—	1,200,000	1,200,000	1,171,171	28,829
⑧事務機器賃借料	—	470,000	470,000	357,990	112,010
⑨会議費	—	700,000	700,000	786,748	-86,748
⑩賦課金	—	200,000	200,000	311,540	-111,540
⑪支払手数料	—	150,000	150,000	72,358	77,642
⑫支払利息	—	500,000	500,000	141,971	358,029
⑬雑費	—	400,000	400,000	317,020	82,980
事　業　活　動　支　出　計	202,700,000	13,270,000	215,970,000	240,307,601	-24,337,601
Ⅰ　事業活動収支の部	16,379,000	14,621,000	31,000,000	18,491,614	12,508,386
Ⅱ　投資活動収支の部	0	0	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部	-24,500,000	-10,500,000	-35,000,000	-20,000,000	-15,000,000
Ⅳ　予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	-8,121,000	4,121,000	-4,000,000	-1,508,386	-2,491,614

〈参考資料〉

勘　定　明　細　表

平成 29 年 3 月 31 日現在

Ⅰ 資産の部

1 流動資産　　（単位：円）

科目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
現金	86,120	428,360	-342,240	手持現金
計	86,120	428,360	-342,240	

科目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
普通預金	13,220,886	14,438,841	-1,217,955	みずほ銀行銀座中央支店 1
計	13,220,886	14,438,841	-1,217,955	

科目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
未収金	0	301,901	-301,901	YHD
計	0	301,901	-301,901	

2 固定資産

基本財産

科目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
投資有価証券（指定）	7,464,000,000	7,190,400,000	273,600,000	ＹＨＤ株式　320 万株
投資有価証券（一般）	875,154,000	843,074,400	32,079,600	ＹＨＤ株式　375,200 株
投資有価証券（一般）	1,632,750	1,572,900	59,850	ＹＨＤ株式　700 株
小計	876,786,750	844,647,300	32,139,450	
合計	8,340,786,750	8,035,047,300	305,739,450	ＹＨＤ株式　3,575,900 株

II 負債の部

1　流動負債

科　　目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	相手先
未　払　金	5,000,000	0	5,000,000	MotherKitchen
	312,795	328,217	-15,422	ヤマトシステム開発㈱
	94,070	101,934	-7,864	ヤマトホールディングス㈱
	50,760	47,000	3,760	シナジーマーケティング㈱
	14,295	10,267	4,028	㈱クレディセゾン
	13,827	10,256	3,571	リコー販売㈱
	10,851	19,712	-8,861	ヤマト運輸㈱
	5,596	8,861	-3,265	㈱イーエスシー
	4,500	4,500	0	（社福）東京コロニー
	2,498	12,493	-9,995	㈱スワン
	2,160	8,640	-6,480	ヤマトロジスティクス㈱
	0	6,000,000	-6,000,000	楠元塾モデル化資金引当
	0	219,250	-219,250	市川レンコンの会
	0	143,420	-143,420	佐伯康人
	0	120,880	-120,880	松塚しのぶ
	0	34,442	-34,442	ニッポンレンタカーサービス㈱
	0	9,720	-9,720	チャレンジャー
	0	9,720	-9,720	日比谷花壇
計	5,511,352	7,089,312	-1,577,960	

科　　目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
預　り　金	41,067	14,916	26,151	源泉所得税
計	41,067	14,916	26,151	

科　　目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
短 期 借 入 金	15,000,000	35,000,000	-20,000,000	みずほ銀行銀座中央支店
計	15,000,000	35,000,000	-20,000,000	

III 正味財産の部

1　指定正味財産

科　　目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
投資有価証券（指定）	7,464,000,000	7,190,400,000	273,600,000	ヤマトホールディングス株式
計	7,464,000,000	7,190,400,000	273,600,000	

2　一般正味財産

科　　目	平成 29 年 3 月	平成 28 年 3 月	差　　額	備考
投資有価証券（一般）	876,786,750	844,647,300	32,139,450	ヤマトホールディングス株式
流 動 資 産	13,307,006	15,169,102	-1,862,096	現金預金ほか
流 動 負 債	20,552,419	42,104,228	-21,551,809	未払金ほか
計	869,541,337	817,712,174	51,829,163	

監査報告書

公益財団法人　ヤマト福祉財団
理事長　瀬戸 薫　殿

平成 29 年 5 月 10 日

監事　新里智弘

監事　神保清一

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

1　監査の方法及びその内容

理事及び職員と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2　監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一　事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

３．財団主催の諸会議

４．平成 28 年度寄付金寄贈者名簿
賛助会員数一覧

５．役員名簿

財団主催の諸会議

会　議　名	開　催　日	議　　題
理事会		
第１回理事会	H28.　6.　8	（１）代表理事及び常務理事業務執行報告 （２）短期借入金実行報告 （３）平成 28 年２月以降事業報告 （１）熊本地震障がい者施設被災支援承認の件 （２）平成 27 年度事業報告の承認について （３）平成 27 年度収支決算書類承認について
第２回理事会	H28. 11. 18	（１）代表理事及び常務理事業務執行報告 （２）平成 28 年６月以降事業報告 （３）熊本地震緊急助成実施報告 （４）第 17 回小倉昌男賞受賞者決定について （５）全Ａネット全国調査本調査に対する助成について （６）自然栽培パーティ活動状況について （７）平成 28 年度奨学生決定並びに平成 29 年度助成金募集について （８）賛助会員の状況と新規加入キャンペーンについて
第３回理事会	H29.　3.　6	（１）代表理事及び常務理事業務執行報告 （２）ネパール小児白内障医療プロジェクトについて （１）短期運転資金借入の件 （２）平成 29 年度事業計画承認の件 （３）平成 29 年度収支計画承認の件
第４回理事会	H29.　3. 31	（１）平成 29 年度助成事業の助成先決定の件
評議員会		
第１回評議員会	H28.　6. 23	（１）短期借入金実行報告 （２）平成 28 年度助成金選考委員会結果報告の件 （３）熊本地震障がい者施設被災支援の件 （４）代表理事及び常務理事業務執行報告 （５）平成 27 年度事業報告の件 （１）平成 27 年度収支決算書類承認の件
福祉助成金選考委員会	H28.　6.　9	平成 28 年度障がいのある大学生への奨学金選考の件
第 17 回小倉昌男賞選考委員会	H28. 10. 18	第 17 回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の選考について
福祉助成金選考委員会	H29.　3. 23	平成 29 年度福祉助成金の選考について

寄付金寄贈者名簿

（敬称略：順不同）

寄付者名	寄付者名	寄付者名
町　田　　武	野　村　　信　弘	広 島 ケ ナ フ の 会
㈱　ポ　ピ　ン　ズ	ヤマトホールディングス㈱	

夏季カンパ

寄　付　者　名
ヤマトグループ企業労働組合連合会

賛助会員数一覧

平成 29 年 3 月 31 日現在

	会員数
ヤマトホールディングス㈱	172
ヤマト運輸㈱	59,692
沖縄ヤマト運輸㈱	248
ヤマトグローバルエキスプレス㈱	1,011
エキスプレスネットワーク㈱	10
ヤマトダイアログ＆メディア㈱	13
ヤマトコンタクトサービス㈱	291
ヤマト・スタッフ・サプライ㈱	850
ヤマトロジスティクス㈱	821
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン㈱	340
ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ㈱	240
ヤマトパッキングサービス㈱	140
ヤマト包装技術研究所㈱	27
湖南工業㈱	312
ヤマトホームコンビニエンス㈱	1,533
ヤマトシステム開発㈱	2,067
ヤマトＷｅｂソリューションズ㈱	12

	会員数
ヤマトフィナンシャル㈱	339
ヤマトリース㈱	90
ヤマトクレジットファイナンス㈱	91
ヤマトオートワークス㈱	1,440
ヤマトオートワークス北信越㈱	11
ヤマトオートワークス岩手㈱	26
ヤマトオートワークス沖縄㈱	1
ボックスチャーター㈱	21
ヤマトボックスチャーター㈱	1,051
ヤマトマネージメントサービス㈱	159
ヤマトマルチチャーター㈱	377
神戸ヤマト運輸㈱	49
㈱スワン	12
ヤマトグループ健康保険組合	23
社会福祉法人ヤマト自立センター	16
ヤマト運輸労働組合	43
合　　計	71,528

役　員　名　簿

理事　　平成 29 年 3 月 31 日現在

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	理事長	瀬戸　　薫	ヤマトホールディングス株式会社　相談役
2	理事	渡辺　　修	元環境事務次官
3	同	吉村　久夫	株式会社日経ＢＰ　参与
4	同	町田　　武	元三郷市教育委員会　教育委員長
5	同	池田　輝彦	みずほ信託銀行株式会社　顧問
6	同	藤掛　稔子	
7	同	森下　明利	ヤマト運輸労働組合　中央執行委員長
8	同	早川　雅人	ヤマト福祉財団常務理事

監事

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	監事	神保　清一	元ヤマト運輸株式会社　代表取締役専務執行役員
2	同	新里　智弘	公認会計士

評議員

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	評議員	嘩道　永一	鎌倉市建築等紛争調停委員
2	同	今野　由梨	ダイヤル・サービス株式会社　代表取締役社長
3	同	藤井　克徳	きょうされん　専務理事
4	同	遠藤　英男	元ヤマト運輸株式会社　監査役
5	同	内田　五郎	元ヤマトシステム開発株式会社　代表取締役社長
6	同	吉井　　毅	元新日本製鉄（現新日鉄住金）株式会社　代表取締役副社長
7	同	上杉　郷一	ヤマト運輸労働組合　副中央執行委員長
8	同	川田　　博	元ヤマトホールディングス株式会社　監査役

福祉助成金選考委員

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	選考委員	朝日　雅也	埼玉県立大学　保健医療福祉学部　社会福祉学科　教授
2	同	上杉　郷一	ヤマト運輸労働組合　副中央執行委員長
3	同	柴崎　憲二	元ヤマト運輸株式会社　監査役
4	同	大谷　友樹	ヤマトホールディングス株式会社　上席執行役員
5	同	瀬戸　　薫	ヤマトホールディングス株式会社　相談役

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

NO	役職名	氏　　名	役　　職
1	選考委員	藤井　克徳	きょうされん　専務理事
2	同	渡辺　　修	元環境事務次官
3	同	今野　由梨	ダイヤル・サービス株式会社　代表取締役社長
4	同	森下　明利	ヤマト運輸労働組合　中央執行委員長
5	同	瀬戸　　薫	ヤマトホールディングス株式会社　相談役

６．平成 29 年度事業計画書
同　　収支予算書

平成 29 年度　事業計画書

（自・平成 29 年 4 月 1 日～至・平成 30 年 3 月 31 日）

はじめに

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」、「夢へのかけ橋実践塾」、「自然栽培パーティ」など、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者の協力を得て、障がい者の働く場を幅広く応援していくしくみが広がってきています。今年度も、フォーラムの実施、実践塾の追加募集、塾の成果発表を行うセミナーの開催も行い、前年に引き続きより多くの人たちが行動を起すよう推進していきます。また、助成事業では、奨学金など重度障がい者に対する助成活動を引き続き行い、社会参加につながるようにいたします。ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者による発展途上国での小児眼科医療について事前調査と計画の策定を行います。

（公１）助成事業　　（９７，０００千円）

（１）奨学金　　（２４，０００千円）

（２）助成金　　（７０，０００千円）

給料増額支援助成金（障がい者の給料増額につながる設備・備品購入）　　（６５，０００千円）

障がい者福祉に関する助成（講演会・研修・文化・スポーツ等）　　（５，０００千円）

（３）諸経費（調査費・贈呈式他費用）　　（３，０００千円）

（公２）研修・育成事業　　（６１，６００千円）

（１）セミナー事業　　（２２，０００千円）

「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」を東京、大阪、金沢、福岡の４ヵ所で開催します。本年度は、会場ごとのサブテーマを「重い障がいのある人の仕事づくり」（東京）・「『食』で広がる障がいのある人の働く場」（大阪）・「農業と福祉の連携に取り組む障がい者の働く場」（金沢）・「就労継続支援Ａ型事業所の未来」（福岡）として、開催地の状況に沿った構成とします。

（２）雇用促進事業　　（７，１００千円）

ＤＭ便配達施設の事例報告やヤマト自立センターの活動支援により障がい者就労の拡大を図ります。

（３）育成プロジェクト　　（３２，５００千円）

より高い工賃を達成することに特に強い意欲のある施設職員を集め、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者による実践塾を開講します。また、修了した塾生に対するフォローアップ研修を行い、工賃向上に対する意欲の持続を促します。前年に引き続き、先行的・先駆的な取り組みを支援しモデル化するための資金を塾参加施設の申請に応じて提供します。また、休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動を支援します。

会場費　　（３，０００千円）
講師諸費　　（３，０００千円）
事業改革モデル化資金　　（５，０００千円）
管理会計ソフト運用・改善費　　（３，０００千円）
諸経費（交通費等）　　（６，５００千円）
「自然栽培パーティ」プロジェクト　　（１０，０００千円）
水稲自然栽培ビデオ制作費　　（２，０００千円）

（公３）表彰事業　　（９，０００千円）

（１）小倉昌男賞の贈呈　　（９，０００千円）

障がい者就労施設や一般企業等にあって、障がい者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団　小倉昌男賞」を贈呈します。

（公４）広報・啓発等事業　　（５７，７００千円）

（１）広報事業　　（４４，０００千円）

財団ニュースを年４回発行し、ヤマトグループ賛助会員の家庭に直接送付することで活動の浸透を図ります。また、インターネット等を通じて広く一般に啓発広報を行います。

（２）啓発事業　　（７００千円）

障がい者本人によるクロネコＤＭ便配達報告会の開催や障がい者団体の主催する大会の共催･後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。

（３）その他事業　　（１３，０００千円）

・全Ａネットによる就労継続支援Ａ型事業所実態調査　　（１，４００千円）

雇用契約を結ぶ障がい者の働く場として始まったＡ型事業所は、新規参入の増加により３０００ヵ所を越えました。しかし、相互の情報共有の場の不足により、その実態が十分に知られていません。そのため、全国の就労継続支援Ａ型事業所を対象とした実態調査を実施して実情を明らかにし、Ａ型事業所の健全な発展のため、事業者自身による啓発や施策提言に資するほか、財団の活動に幅広く役立てます。

・日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業　　（１，０００千円）

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するＮＧＯレポートの準備活動と国内啓発活動に対し公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。

・きょうされん障害者アーカイブセンター事業　　（３，０００千円）

ヤマト福祉財団が支援していた無認可小規模共同作業所の記録や花田春兆氏をはじめとする障がい者運動や文化に功績のあった方々が創作・収集した資料を収蔵する障害者アーカイブセンターを立ち上げるため、収蔵用什器・備品および収蔵資料検索システムの整備に助成します。

・ネパール小児白内障眼科医療に対する協力事業　　（３，０００千円）

第 17 回ヤマト福祉財団小倉昌男賞を受賞した竹内昌彦氏が立ち上げた基金と共同でネパールで貧困のため治療を諦めている小児白内障患者の医療事業について、現地事前調査とカウンターパートの選定ならびに現地医療スキームの策定を行います。医療の実施については次年度を予定しています。

・パラリンピック開催への協力　　（１，０００千円）

パラリンピックの選手に障がい者が生産した農産物を食材として提供し、地方の障がい者もパラリンピックに協力できるようにします。

・その他（予備費）　　（３，６００千円）

以上

平成 29 年度収支予算書

（平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日）

（単位 : 千円）

科　　目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
Ⅰ　事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
（1）基本財産運用収入	85,930	10,620	96,550	92,970
①基本財産株式配当	85,930	10,620	96,550	92,970
（2）寄付金収入	49,840	6,160	56,000	56,000
①運用財産	49,840	6,160	56,000	56,000
②基本財産指定・（繰入増加）	0	0	0	0
（3）賛助会費収入	94,340	11,660	106,000	98,000
（4）雑収入	0	0	0	0
①受取利息	0	0	0	0
②雑収入	0	0	0	0
事　業　活　動　収　入　計	230,110	28,440	258,550	246,970
2. 事業活動支出				
事業費支出	230,300	－	230,300	202,700
（公 1）助成事業	97,000	－	97,000	92,000
①奨学金支給	24,000	－	24,000	24,000
②助成金	70,000	－	70,000	65,000
ⅰ福祉助成金	5,000	－	5,000	5,000
ⅱ給料増額支援助成金	65,000	－	65,000	60,000
③諸経費	3,000	－	3,000	3,000
（公 2）研修・育成事業	61,600	－	61,600	56,600
①セミナー事業	22,000	－	22,000	21,500
ⅰ会場費	4,000	－	4,000	4,000
ⅱ運営費	8,500	－	8,500	8,000
ⅲビデオ作成費	3,500	－	3,500	3,500
ⅳ諸経費	6,000	－	6,000	6,000
②雇用促進事業	7,100	－	7,100	7,100
ⅰシステム費	600	－	600	600
ⅱ就労支援費	4,500	－	4,500	4,500
ⅲ諸経費	2,000	－	2,000	2,000
③育成プロジェクト	32,500	－	32,500	28,000
ⅰ会場費	3,000	－	3,000	3,000
ⅱ講師諸費	3,000	－	3,000	1,500
ⅲ事業改革モデル化資金	5,000	－	5,000	5,000
ⅳ管理会計ソフト運用・改善費	3,000	－	3,000	3,000
ⅴ諸経費	6,500	－	6,500	5,500
ⅵ自然栽培パーティプロジェクト	10,000	－	10,000	8,000
ⅶ水稲自然栽培ビデオ制作費等	2,000	－	2,000	2,000
（公 3）表彰事業	9,000	－	9,000	9,000
①贈呈費	3,000	－	3,000	3,000
②会場費	2,000	－	2,000	2,000
③経費	4,000	－	4,000	4,000

（単位：千円）

科　　目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
（公 4）広報・啓発等事業	57,700	－	57,700	40,100
①広報事業	44,000	－	44,000	37,400
ⅰホームページ運営費	2,000	－	2,000	2,000
ⅱ委託費	13,000	－	13,000	10,000
ⅲ諸経費	29,000	－	29,000	25,400
②啓発事業	700	－	700	700
ⅰ会場費	400	－	400	400
ⅱ運営費	100	－	100	100
ⅲ共催・講演費	0	－	0	0
ⅳ経費	200	－	200	200
③その他事業	13,000	－	13,000	2,000
ⅰ全Ａネット調査費等	1,400	－	1,400	0
ⅱ JDF ほか	1,000	－	1,000	0
ⅲきょうされんアーカイブ	3,000	－	3,000	0
ⅳネパール小児白内障医療 PJ	3,000	－	3,000	0
ⅴパラリンピック関連	1,000	－	1,000	0
ⅵその他	3,600	－	3,600	2,000
（公 5）復興・再生支援事業	0	－	0	0
①震災支援費	0	－	0	0
②諸経費	0	－	0	0
共通	5,000	－	5,000	5,000
①諸経費	5,000	－	5,000	5,000
管理費支出	－	28,250	28,250	13,270
①人件費	－	2,200	2,200	2,000
②福利厚生費	－	250	250	250
③旅費	－	1,300	1,300	1,300
④通信運搬費	－	1,800	1,800	1,800
⑤備品消耗品費	－	350	350	300
⑥図書印刷費	－	4,000	4,000	4,000
⑦事務室維持費	－	1,200	1,200	1,200
⑧事務機器賃借料	－	400	400	470
⑨会議費	－	850	850	700
⑩賦課金	－	200	200	200
⑪支払手数料	－	100	100	150
⑫支払利息	－	100	100	500
⑬雑費	－	500	500	400
⑭予備費	－	15,000	15,000	0
事　業　活　動　支　出　計	230,300	28,250	258,550	215,970
Ⅰ　事業活動収支の部	-190	190	0	31,000
Ⅱ　投資活動収支の部	0	0	0	0
Ⅲ　財務活動収支の部	0	0	0	-35,000
Ⅳ　予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	-190	190	0	-4,000

※やむを得ぬ場合は、理事長は科目間の流用を行うことができる。